

茨城県
地域日本語教育実態調査
報告書

令和 2 (2020) 年 12 月

茨城県

目次

第1章 アンケート調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象及び調査方法, 調査期間	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	2
5. 用語の解説	2
第2章 調査結果のまとめ	3
第3章 市町村国際化推進主管課アンケート結果	10
(1) 日本語教育についての事業実施状況	10
(2) 日本語教育における市町村の役割	10
(3) 日本語教育の課題等	11
(4) 地域の日本語教室の役割	11
(5) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと	12
(6) 日本語教育事業に関する意見・提案等	12
第4章 市町村国際交流協会等アンケート結果	13
(1) 日本語教育についての事業実施状況	13
(2) 地域の日本語教室の運営者からの相談	13
(3) 外国人住民からの相談内容	14
(4) 日本語教育の課題等	14
(5) 日本語教育における国際交流協会等の役割	15
(6) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと	16
(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等	16
第5章 市町村教育委員会アンケート結果	17
(1) 日本語指導が必要な児童生徒の有無	17
(2) 学校の教員等からの, 保護者との日本語での意思疎通が困難との意見有無	17
(3) 在籍児童生徒の保護者からの, 学校の教員等との日本語での意思疎通が困難との意見有無	17
(4) 教育委員会で実施している施策(国・県の施策も含む)	18
(5) 日本語教育における学校の役割	19
(6) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと	19
(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等	20
第6章 大学アンケート結果	21
(1) 日本語教師を養成するための講座の実施有無	21
(2) 日本語教育における大学の役割	21
(3) 地域の日本語教育の実施にあたり県に望むこと	21
(4) 日本語教育事業に関する意見・提案等	21
第7章 日本語学校アンケート結果	22
(1) 一般外国人住民等が受講できる日本語講座の実施	22
(2) 一般外国人住民等が受講できる日本語講座の内容	22
(3) 日本語教師を養成するための講座の実施有無	22

(4) 他の団体との連携や交流, 協力	22
(5) 日本語教育における日本語学校の役割	23
(6) 日本語教育事業に関する意見・提案等	23
第8章 日本語教室アンケート結果	24
(1) 教室活動の目的	24
(2) 地域の日本語教室の役割	24
(3) 日本語学習支援者のスキルアップに必要なもの	25
(4) 日本語学習支援者に求める能力や姿	25
(5) 日本語教室の運営で困っていること	26
(6) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと	27
(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等	27
第9章 外国人雇用企業アンケート結果	28
(1) 日本語能力が足りない外国人労働者の割合	28
(2) 外国人労働者に対する日本語学習支援	28
(3) 日本語教育を充実させるために必要な学習形態	29
(4) 「茨城県外国人向け日本語学習支援eラーニングシステム」の無償提供の認知	29
(5) 日本語教育における事業所の役割	30
(6) 「日本語教育推進法」における企業の責務についての認知	30
(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等	31
第10章 県内在住外国人アンケート結果	32
1. 調査対象者の属性	32
2. 日本語の勉強について	35
(1) 日本語の勉強経験の有無	35
(2) 現在の日本語の勉強の有無	37
(3) 現在の日本語の勉強方法	39
(4) 日本語の勉強を始めた理由	41
(5) 日本語の勉強意向	43
(6) 日本語を勉強していない理由	45
(7) 日本語を勉強したいと思える環境	47
(8) 日本語を使う場面	49
(9) 日本語ができなくて困ったこと	51
(10) 日本語の勉強をする良い時間	53
(11) 生活するために知りたいことの入手方法	55
(12) 日本語学習に関する要望・意見等	57
第11章 調査票及び単純集計結果	58
1. 市町村国際化推進主管課アンケート	58
2. 市町村国際交流協会等アンケート	63
3. 市町村教育委員会アンケート	68
4. 大学アンケート	72
5. 日本語学校アンケート	78
6. 日本語教室アンケート	83
7. 外国人雇用企業アンケート	93
8. 県内在住外国人アンケート	100

第1章 アンケート調査概要

1. 調査目的

茨城県における地域日本語教育の体制づくりを効果的に推進するため、県内の日本語教育の実態及び外国人県民の日本語教育に対するニーズ等を調査した。

2. 調査対象及び調査方法、調査期間

調査名	調査方法	調査期間
①市町村国際化推進主管課	メール配布 メール回収	令和2年7月31日～令和2年8月31日
②市町村国際交流協会等		
③市町村教育委員会		
④大学		
⑤日本語学校		
⑥地域日本語教室	郵送配布 郵送回収	令和2年9月6日～令和2年9月20日
⑦企業		
⑧県内在住外国人	調査員による面接調査	

3. 回収状況

調査名	配布件数	回収数	回収率
①市町村国際化推進主管課	44件	44件	100.0%
②市町村国際交流協会等	34件	21件	61.8%
③市町村教育委員会	44件	44件	100.0%
④大学	14件	7件	50.0%
⑤日本語学校	16件	4件	25.0%
⑥地域日本語教室	58件	31件	53.4%
⑦企業	192件	124件	64.6%

⑧県内在住外国人

調査地域	調査場所	調査日	調査件数
県北	ファッションクルーズ	9月6日(日)	22件
県央	東京出入国管理局水戸出張所	9月11日(金), 14日(月), 16日(水)	207件
県南	常総市役所, ハローワーク常総	9月8日(火)	22件
県西	イーアスつくば	9月20日(日)	63件
鹿行	セイミヤ銚田舟木店	9月19日(土)	45件
合 計			359件

4. 報告書の見方

- 第3章～第10章では、調査結果を抜粋して図化している。すべての設問の結果に関しては、第11章の「調査票及び単純集計結果」を参照されたい。
- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- 複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- クロス集計において、基数となるべき実数(n)が極端に少なくなる場合は正確に分析できないため、本文中では触れていない。ただし、参考のためにグラフ中には掲載している。
- クロス集計の図表では、分析軸となる設問に「無回答」がある場合は表示していない。よって、分析軸の「n」が、全体の合計と一致しない場合がある。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言や5.0%未満の数値を一部簡略化している場合がある。
- 複数回答のクロス集計表において、下記の色分けは、「全体」との割合の差を表している。

10ポイント以上

5ポイント以上

5. 用語の解説

- 本報告書において、用語の定義は以下のとおりとする。

用語	定義
日本語教師	日本語学習者に直接日本語を指導する者
日本語学習支援者	日本語教師や日本語教育コーディネーターと共に日本語学習者の日本語学習を支援し、促進する者
日本語教育コーディネーター	地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語教師、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者
地域の日本語教育	外国人等が日本語を習得するために行われる教育その他の活動(外国人等に対して行われる日本語の普及を図るための活動を含む)
日本語教育有資格者	(日本語教育機関の告示基準「出入国在留管理庁」より抜粋) 下記①～⑤のいずれかに該当する人 ①大学(短期大学を除く。以下この号において同じ。)又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者 ②大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者 ③公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者 ④学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420単位時間以上受講し、これを修了した者 ⑤その他①～④までに掲げる者と同等以上の能力があると認められる者

第2章 調査結果のまとめ

1 市町村国際化主管課アンケート

調査結果

- 日本語教育についての事業実施状況について、「国際交流協会等が実施する日本語教育関連事業への補助金交付」が45.5%で最も高くなっている。
- 日本語教育における市町村の役割として、「教室を設置する団体等への運営サポート」と考えている市町村は86.4%となっている。
- 日本語教育の課題として、「外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない」が61.4%で最も高く、「日本語教室がない」は22.7%、「日本語教育コーディネーターがない」は20.5%となっている。
- 県への要望として、「関係団体等とのネットワーキング」が47.7%で最も高く、「日本語学習ニーズの把握方法」は45.5%、「日本語指導者の募集・育成」、「他教室等の先行事例等の紹介」、「自然災害や感染症発症時の情報提供の方法」は43.2%となっている。

見えてきた課題

- 日本語教育に係る情報の伝達や情報交換の場の不足
- 関係機関との連携体制構築・強化
- 日本語教室空白地域の解消
- 各自治体における外国人住民のニーズ把握
- 日本語教育コーディネーターの活用

2 市町村国際交流協会等アンケート

調査結果

- 日本語教育についての事業実施状況では、「日本語教室の開催」が57.1%で最も高くなっている。
- 日本語教室の運営者からの相談内容について、「日本語教師や日本語学習支援者が不足している」が66.7%で圧倒的に高くなっている。また、「広報をしてほしい」は28.6%となっている。
- 外国人住民から日本語教育について、「日本語の読み書きを学びたい」という声がある一方で、「日本語教室に通いたいが、どこに、どんな教室があるのか分からない」といった相談がある。
- 地域の日本語教育における課題として、「外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない」が47.6%で最も多く、次いで、「日本語教室が不足している」、「日本語教育コーディネーターがない」、「市町村、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会・学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない」といった回答が多く挙げられている。

見えてきた課題

- 地域の日本語教室に関する広報不足
- 日本語教育を担う人材の確保
- ニーズに応じた日本語教室の設置・運営
- 日本語教師や学習支援者の養成や人材育成
- 外国人住民への日本語教育に関する情報提供
- 日本語教育コーディネーターの養成・活用
- 各自治体における外国人住民のニーズ把握
- 関係機関の役割分担の明確化

3 市町村教育委員会アンケート

調査結果

- 日本語指導が必要な児童生徒が在籍しているすべての学校で、保護者とのコミュニケーションにおいて、日本語での意思疎通に困った経験があると回答があった。
- 教育委員会独自に行っている施策については、「支援員（報酬を得て教員の補助者として日本語指導に協力する者）の配置」が35.1%で最も多く、「日本語・通訳ボランティア（報酬なしで日本語指導等に協力する者）の配置」は24.3%となっている。日本語・通訳ボランティアの依頼先では、教育委員会で公募・登録した人、国際交流協会、学校独自の依頼が挙げられている。
- 日本語指導が必要な児童生徒の日本語学習支援に関する施策の実施状況について、「加配教員（日本語指導が必要な児童生徒が一定数在籍する学校に配置される）の配置」が48.6%で最も高くなっている。
- 県に期待する支援として、「学校内での児童生徒への日本語教育の充実（専門家・支援者の派遣等）」が90.9%で最も高くなっている。

見えてきた課題

- 日本語教育に関する専門家や支援者の派遣等による支援
- 日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語教育
- 保護者に対する日本語学習支援
- 日本語・通訳ボランティアについて、地域の日本語教室や民間の日本語学校との連携促進

4 大学アンケート

調査結果

- 一般の外国人住民が受講できる日本語講座について、すべての大学が「実施していない」と回答した。
- 日本語教師を養成するための講座の実施状況について、「実施している」は3件、「今後、実施を検討する」については1件回答があった。
- 地域の日本語教育に係る県に望む施策として、7件の回答中、「外国人等を雇用する企業への啓発」が5件、「日本語教室への経済的支援」、「日本語教師、日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実」、「日本語教室の広報、PR」、「他団体等との連携の橋渡し（コーディネート）」がそれぞれ4件となっている。

見えてきた課題

- 一般の外国人も受講できる日本語講座の開設
- 日本語教師養成講座実施の促進
- 日本語教師や学習支援者の養成、人材育成
- 日本語教室への経済的支援
- 外国人等を雇用する企業への啓発
- 他団体との連携・交流促進や他団体からの協力依頼への対応

5 日本語学校アンケート

調査結果

- 日本語課程の対象者について、すべての学校が「留学生」と回答した。また、2件は「定住者・永住者」も対象としていることが分かった。
- 日本語教師を養成するための講座の実施状況について、実施している日本語学校はなかったが、「今後、実施を検討する」については1件回答があった。
- 今後、県や市町村等、他の団体から連携や交流、何らかの協力依頼があった場合、すべての日本語学校が、内容によっては応じることが可能と回答している。
- 地域の日本語教育における日本語学校の役割として、4件の回答中、「外国人が日本の文化を理解する場」が4件、「外国人が日常生活に必要な日本語を身につける場」が3件となっている。

見えてきた課題

- 日本語教育に係る情報の伝達や情報交換の場の不足
- 関係機関との連携体制構築・強化
- 日本語教師養成講座について、未実施の学校が多い

6 日本語教室アンケート

調査結果

- 日本語学習支援者の年代別人数をみると、60代が42.3%で最も多くなっており、年代が上がるにつれて、支援者の割合も概ね高くなっていることがわかった。また、経験年数別にみると、2～5年が24.9%で最も多く、経験年数が長くなるにつれて支援者の割合は概ね低くなっている。
- 9割以上の日本語学習支援者は無償で活動している。
- 日本語教室の運営費（財源）は、「会員会費」が54.8%で最も多く、次いで、「市町村からの補助金」が41.9%、「学習者からの授業料徴収」が35.5%となっている。
- 学習者の募集方法は、「自治体の広報やHP」、「学習者からの紹介」がそれぞれ74.2%で最も多く、次いで、「口コミ」が61.3%となっている。
- 教室活動の目的として、半数以上の教室が「外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得」（100.0%）だけでなく、「外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得」（71.0%）や、「外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得」、「日本人住民と外国人住民の交流」（58.1%）と回答している。
- 日本語学習支援者のスキルアップのために必要なものとして、「スタッフ研修用の教材、マニュアル」が64.5%で最も多く、「行政又は国際交流協会主催の研修」、「他団体等（他日本語教室、大学、日本語学校、専門家等）との連携や他団体等からの支援」を求める声も多く挙げられている。
- 日本語教室の運営で困っていることについて、「日本語学習支援者の不足、確保が困難」が61.3%で最も高く、次いで、「日本語学習支援者等の人材育成ができない」が41.9%となっている。
- 教室の今後の展望として、「日本語学習支援者を増やしたい」が90.5%で最も多く、次いで、「日本語学習支援者のレベルアップを図りたい」が66.7%となっている。
- 県に求める施策として、「日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実」が67.7%で最も高く、「外国人等を雇用する企業への啓発」も51.7%と多く挙げられている。

見えてきた課題

- 日本語学習を支援する人材の高齢化
- 経験豊富な学習支援者の不足
- 日本語教室への経済的負担の軽減、運営費の確保
- 学習者の確保は、学習者からの紹介や口コミが多い
- 日本語教師や学習支援者の養成や人材育成（研修用教材、マニュアルの提供、研修会等の開催）といった教室運営上の負担軽減
- 日本語学習支援者の確保
- 日本語教室を実施するための場所の確保
- 日本語教育に係る情報の伝達や情報交換の場の不足
- 関係機関との連携体制構築・強化
- 外国人を雇用する企業に対する日本語教育への理解・協力促進

7 企業アンケート

調査結果

- 「現在、外国人が働いている」と回答した企業は66.1%（82件）だった。外国人労働者の雇用形態をみると、技能実習，正社員，パート・アルバイト，派遣労働者がいずれも2割台となっている。国籍をみると、ベトナムが圧倒的に多くなっている。在留資格では、技能実習，専門的・技術的分野の在留資格，永住者が多くなっている。
- 外国人を雇用している企業のうち、日本語能力が足りない外国人労働者がいると回答した企業は半数程度だった。
- 外国人労働者に対して、「事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している」企業が28.0%だった。事業所内で日本語教室を実施する方法として「社員が日本語を教えている」が52.2%，「外部に委託し，事業所内の会議室等で実施」が39.1%となっている。社内で日本語教室を実施した際に苦労したことや問題になったこととして、「学習者個人によって，レベルや意欲に差があること」，「時間や費用の確保」，「コロナ渦で対面式が不可能となった際の対応」が挙げられている。
- 外国人労働者の日本語学習支援について、「特に何もしていない」企業は37.8%だった。していない理由については，人材・予算の確保が厳しいといった声がある。また，既に十分コミュニケーションがとれている，業務上は支障がないため実施していないといった声もあった。
- 企業が日本語教育において果たすべき役割として，「事業所で働く外国人への日本語学習に関する情報提供」が56.1%で最も高く，次いで，「事業所で働く外国人への日本語学習の奨励」が46.3%となっている。
- 外国人労働者向けの日本語教育を充実させていくために，「専用ウェブサイトやアプリ等，eラーニングの活用」があればよいと回答した企業は5割あった。
- 今回調査を行ったのは，茨城県外国人人材支援センターに登録済みの企業であり，茨城県外国人向け日本語学習支援eラーニングシステムのリーフレット郵送やセンターのメールマガジン送付などにより，本eラーニングシステムの周知を既に行っていたが，「茨城県外国人向け日本語学習支援eラーニングシステム」の無償提供を「知らなかった」と回答した企業が75.6%あった。
- 「日本語教育推進法」において，企業には雇用する外国人やその家族に対する日本語学習の機会の提供その他の日本語学習に関する支援に努める責務があると定められていることを「知らなかった」と回答した企業は70.7%となっている。

見えてきた課題

- 日本語能力が足りない外国人労働者の減少
- 日本語学習を実施している企業への支援
- 「茨城県外国人向け日本語学習支援eラーニングシステム」の更なる周知，企業内部での共有，利用促進
- 企業に対して，外国人労働者の日本語学習に関する関心度の向上
- 「日本語教育推進法」における企業の責務についての周知
- 企業や事業所と，行政とのネットワークづくり

8 県内在住外国人アンケート

調査結果

- 「日本語の勉強経験がある」と回答した人（291件）の中で、現在、日本語を「勉強している」のは39.5%だった。在留資格別で見ると、留学で「勉強している」と回答した人が多かった。
- 勉強方法については、「自分で（インターネットやアプリ等）」（47.0%）、「自分で（教科書やテレビ等）」（45.2%）が多く挙げられており、独学で勉強している外国人が多いことが分かった。特に、居住年数が短い人ほど独学で勉強している割合が高かった。
- 日本語の勉強を始めた理由として、「仕事で言われたことを分かるようにするため」が44.3%で最も高く、在留資格別では、技能実習が73.1%と最も高くなっている。
- 「日本語の勉強経験がない」または「現在、日本語を勉強していない」と回答した人（240件）に日本語の勉強意向を聞いたところ、「勉強したい」は60.0%だった。在留資格別で見ると、「勉強したい」は留学で65.5%と高くなっている。
- 日本語を勉強していない理由として、「日本語を勉強する時間がないから」が57.1%で最も高くなっている。仕事の有無別にみると現在仕事をしている人の60.1%が、在留資格別では技能実習生の78.9%が「日本語を勉強する時間がないから」と回答した。
- 日本語を勉強するための環境として、「時間があれば勉強したい」は65.4%となっている。また、「お金を払わなくていい日本語教室があれば勉強したい」、「日本語教室が近くにあれば勉強したい」はそれぞれ16.3%となっている。地域別にみると、県西地域では「お金を払わなくていい日本語教室があれば勉強したい」が23.2%、県北地域では「日本語教室が近くにあれば勉強したい」が29.4%と多くなっている。
- 日本語を使う場面としては、「仕事で」が66.0%で最も高く、「いつもの生活や買い物で」（43.2%）、「日本人の友達と話すとき」（42.3%）、「役所の手続で」（41.2%）と続いている。在留資格別で見ると、「仕事で」は、技能実習で90.6%、技術・人文知識・国際業務で92.9%となっている。
- 日本語ができなくて困ったことは「ない」が最も多いが、困った経験では「病院で医者と話すと」（26.5%）、「仕事で」（22.3%）との回答が多くなっている。在留資格別で見ると、技能実習と技術・人文知識・国際業務で「仕事で」と回答した人が3割以上となった。また、仕事の有無別にみると、現在仕事をしていない（今、見つけている）人の約3割が「仕事を探すとき」と回答した。
- 日本語を勉強するのに良い時間は「平日 夜」が24.5%で一番多かった。地域別にみると、鹿行地域で32.0%と多く、在留資格では、留学、技能実習、技術・人文知識・国際業務でいずれも3割台と多くなっている。
- 生活するために知りたい情報の入手方法をみると、インターネットや外国人の友だち、職場の人が多い一方で、日本人の近所の人はずか7.5%だった。

見えてきた課題

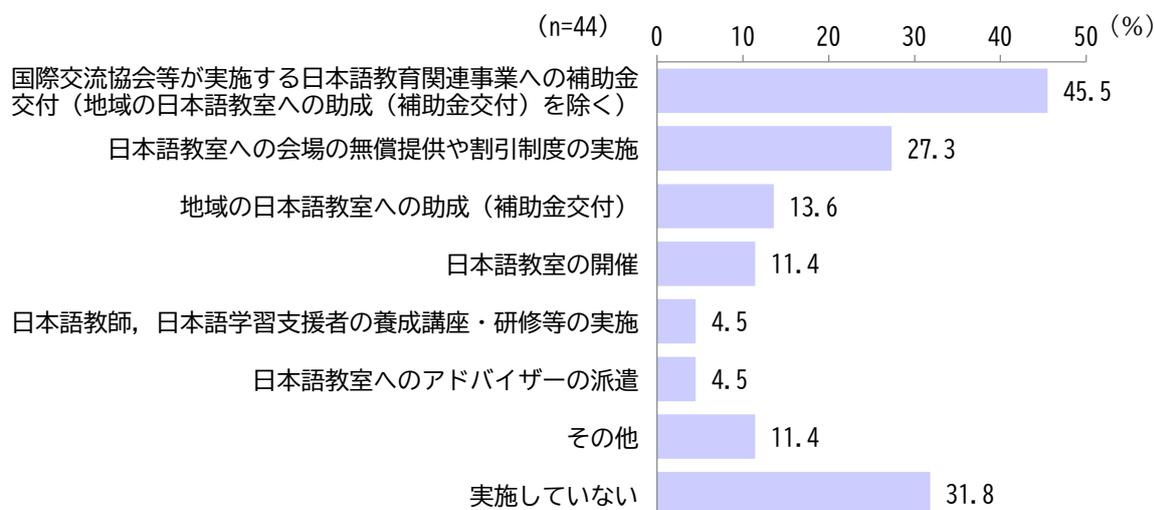
- 時間があるときに自由に学べるアプリ等の提供
- 企業等における日本語教育への理解・協力促進
- 就労している人も日本語学習ができる環境づくり
- 日本語を学びたい人のニーズに合った学習の場、学習方法の検討及び情報提供
- 県内在住外国人のニーズに応じた日本語教室の設置
- 学んだ日本語を活用できる場（交流の場）の提供、日本人住民との交流促進

第3章 市町村国際化推進主管課アンケート結果

(1) 日本語教育についての事業実施状況

問1 貴団体では令和2年度に、日本語教育に関し、どのような事業（市町村教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く）を実施（予定を含む）しますか。（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

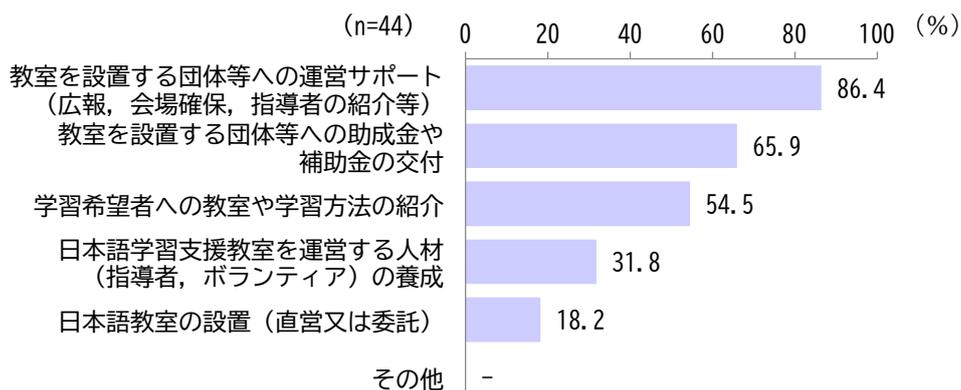
「国際交流協会等が実施する日本語教育関連事業への補助金交付（地域の日本語教室への助成（補助金交付）を除く）」が45.5%で最も多く、次いで、「日本語教室への会場の無償提供や割引制度の実施」が27.3%となっている。一方、「実施していない」は31.8%だった。



(2) 日本語教育における市町村の役割

問5 在住外国人に対する日本語教育における市町村の役割にはどのようなものがあると考えますか。（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

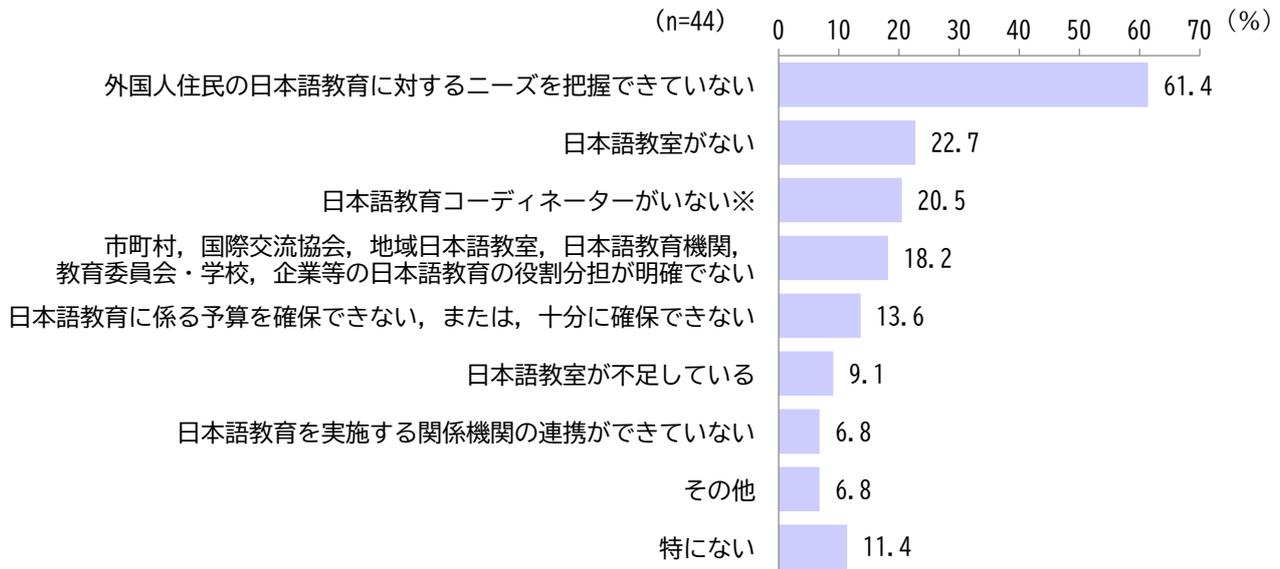
「教室を設置する団体等への運営サポート（広報，会場確保，指導者の紹介等）」が86.4%で最も多く、次いで、「教室を設置する団体等への助成金や補助金の交付」が65.9%，「学習希望者への教室や学習方法の紹介」が54.5%となっている。



(3) 日本語教育の課題等

問6 貴市町村における日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあると考えますか。
(あてはまる番号すべてをExcelに入力)

「外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない」が61.4%で最も多く、次いで、「日本語教室がない」が22.7%、「日本語教育コーディネーターがない」が20.5%となっている。

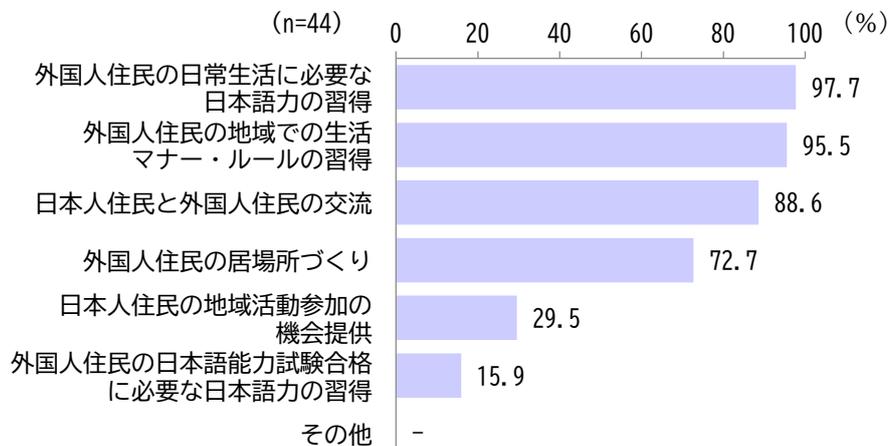


※ 日本語教育について施策立案できる人材がないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない

(4) 地域の日本語教室の役割

問8 地域の日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。重要だと考えているものを4つ、優先順位が高い順にExcelに入力してください。

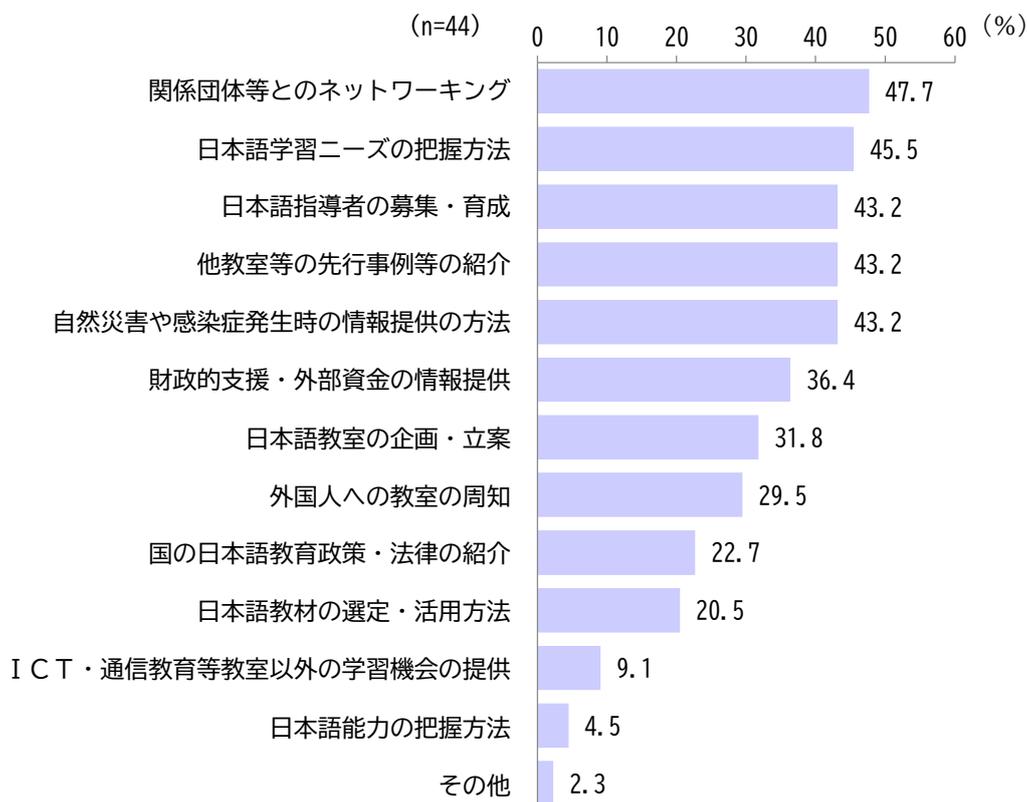
「外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得」が97.7%で最も多く、次いで、「外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得」が95.5%、「日本人住民と外国人住民の交流」が88.6%となっている。



(5) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと

問9 今後の貴市町村における日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのような支援があるとよいと考えていますか。(あてはまる番号すべてをExcelに入力)

「関係団体等とのネットワーキング」が47.7%で最も多く、次いで、「日本語学習ニーズの把握方法」が45.5%、「日本語指導者の募集・育成」、「他教室等の先行事例等の紹介」、「自然災害や感染症発生時の情報提供の方法」が43.2%となっている。



(6) 日本語教育事業に関する意見・提案等

問10 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にExcelに入力してください。(自由記述)

[記載内容の一部抜粋]

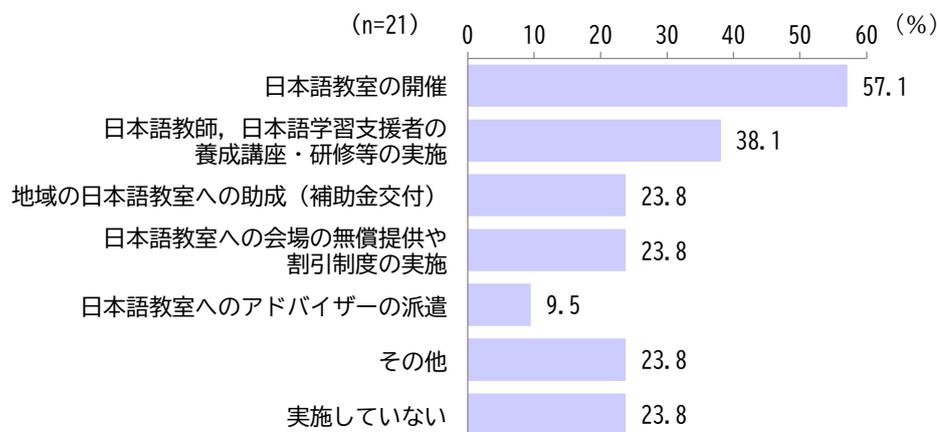
- ◇外国人の子どもに対する小中学校での日本語教育の支援に関して、対象の外国人児童、生徒が少人数であっても、日本語教育をサポートできる人材を派遣する制度などを整備して欲しい。
- ◇コロナ禍の中で他の地域の事業者は日本語教室をどのように実施しているか知りたい。また、講師はボランティアで高齢者が多いため、デジタル的な方法は難しい。他の地域でアナログ的に実施している事例があれば知りたい。また、県より Zoom 法人アカウントの付与をいただければ活用できるのでその場合、利用方法等の研修会開催を希望する。

第4章 市町村国際交流協会等アンケート結果

(1) 日本語教育についての事業実施状況

問1 貴団体では令和2年度に、日本語教育に関し、どのような事業（市町村教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く）を実施（予定を含む）しますか。
（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

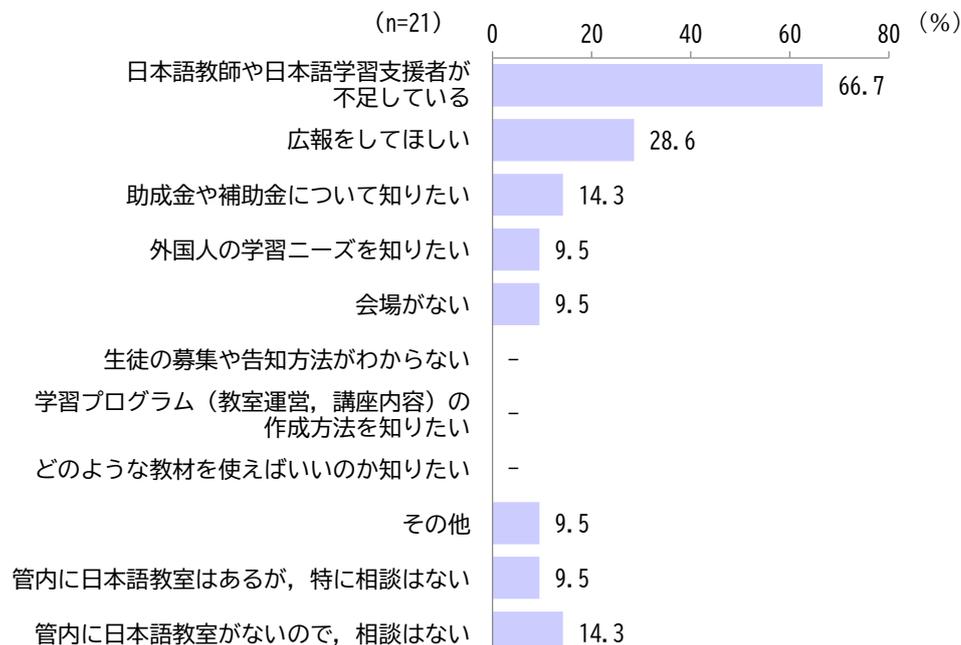
「日本語教室の開催」が57.1%で最も多く、次いで、「日本語教師、日本語学習支援者の養成講座・研修等の実施」が38.1%、「地域の日本語教室への助成（補助金交付）」、「日本語教室への会場の無償提供や割引制度の実施」は23.8%となっている。一方、「実施していない」は23.8%だった。



(2) 地域の日本語教室の運営者からの相談

問3 地域の日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。
（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

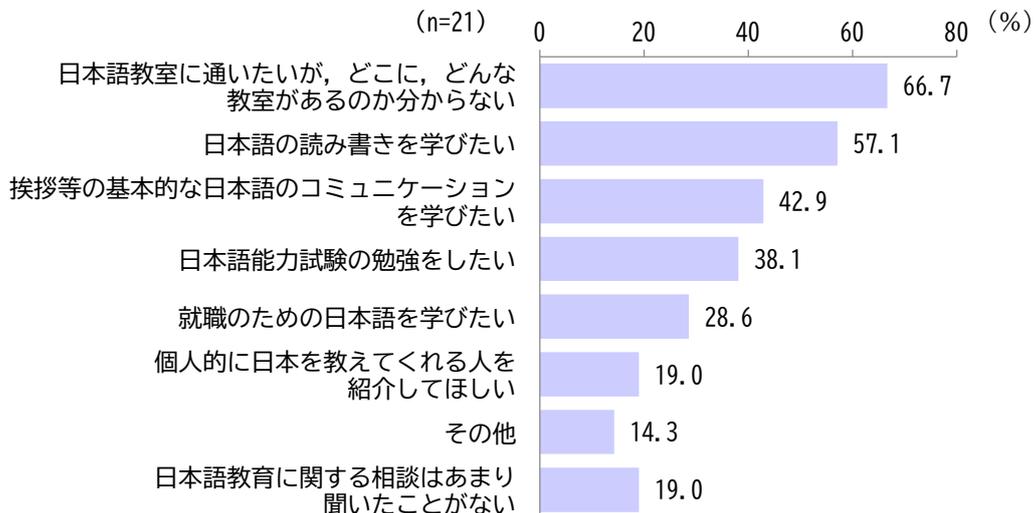
「日本語教師や日本語学習支援者が不足している」が66.7%で最も多く、次いで、「広報をしてほしい」が28.6%、「助成金や補助金について知りたい」が14.3%となっている。



(3) 外国人住民からの相談内容

問4 外国人住民（大人）からの日本語教育に関する相談には、どのようなものがありますか。
（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

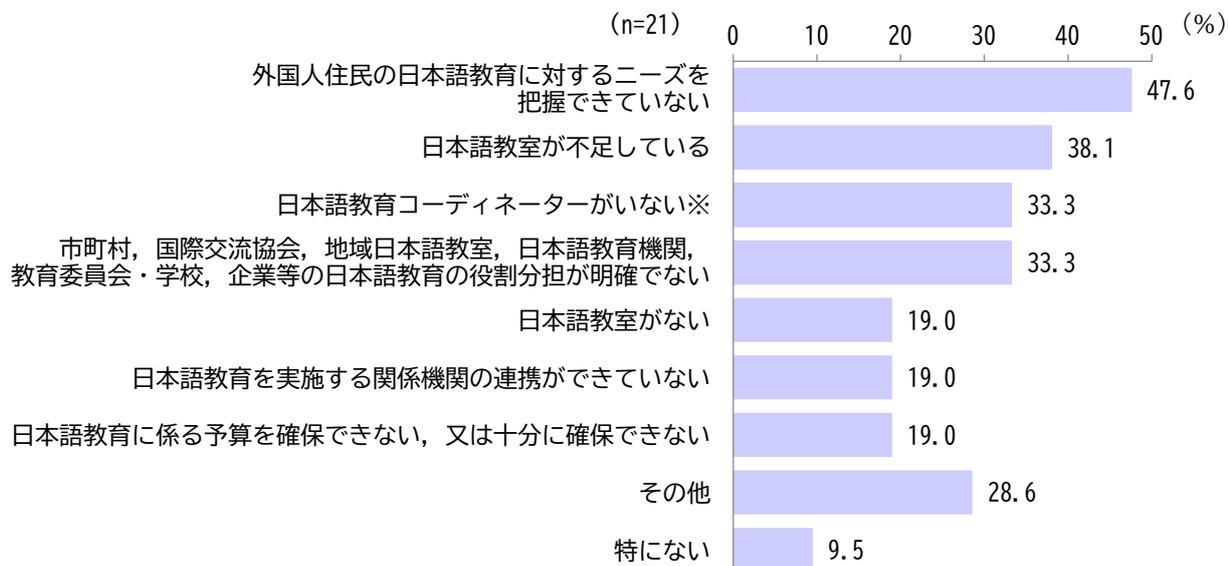
「日本語教室に通いたいが、どこに、どんな教室があるのか分からない」が66.7%で最も多く、次いで、「日本語の読み書きを学びたい」が57.1%、「挨拶等の基本的な日本語のコミュニケーションを学びたい」が42.9%となっている。



(4) 日本語教育の課題等

問6 地域における日本語教育の課題等にはどのようなものがあると認識されていますか。
（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

「外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない」が47.6%で最も多く、次いで、「日本語教室が不足している」が38.1%、「日本語教育コーディネーターがいない」、「市町村、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会・学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない」が33.3%となっている。

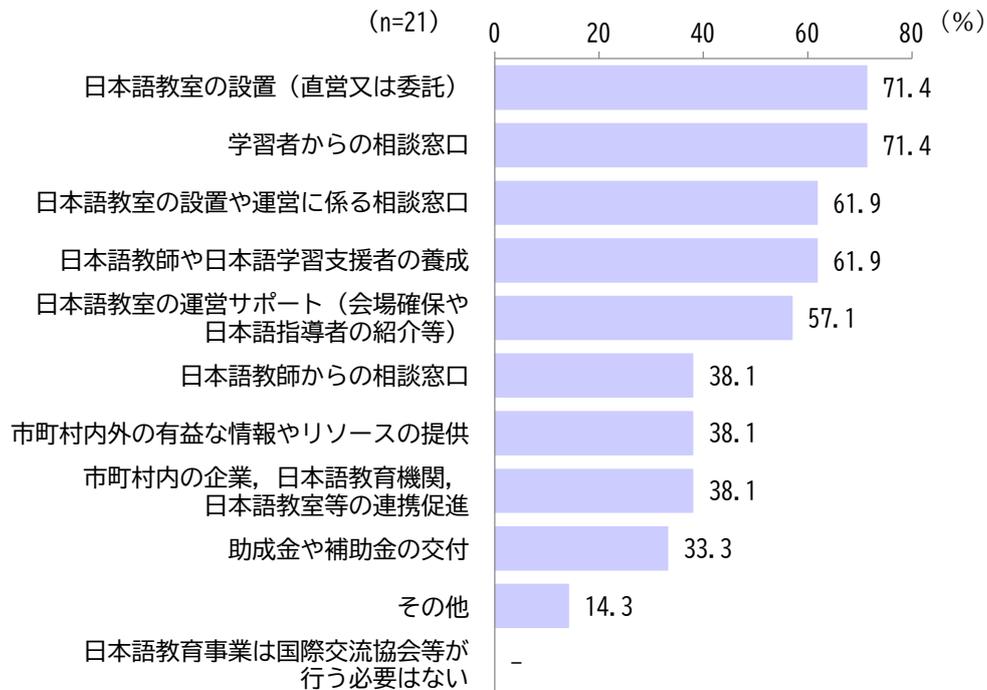


※ 日本語教育について施策立案できる人材がいないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない

(5) 日本語教育における国際交流協会等の役割

問8 地域の日本語教育における国際交流協会等の役割にはどのようなものがあると思われますか。(あてはまる番号すべてをExcelに入力)

「日本語教室の設置（直営又は委託）」、「学習者からの相談窓口」が71.4%で最も多く、次いで、「日本語教室の設置や運営に係る相談窓口」、「日本語教師や日本語学習支援者の養成」が61.9%となっている。

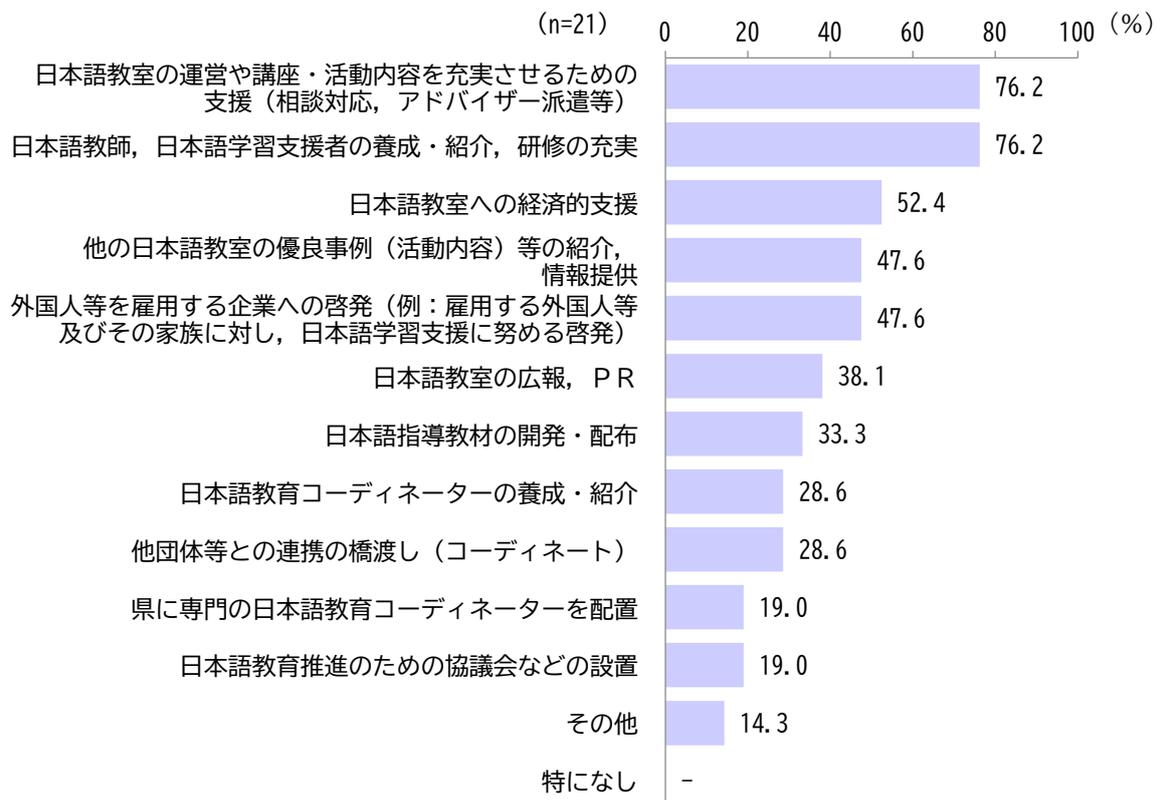


(6) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと

問9 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと思いますか。

(あてはまる番号すべてをExcelに入力)

「日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援（相談対応，アドバイザー派遣等）」、「日本語教師，日本語学習支援者の養成・紹介，研修の充実」が76.2%で最も多く，次いで，「日本語教室への経済的支援」が52.4%となっている。



(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等

問11 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にExcelに入力してください。（自由記述）

[記載内容の一部抜粋]

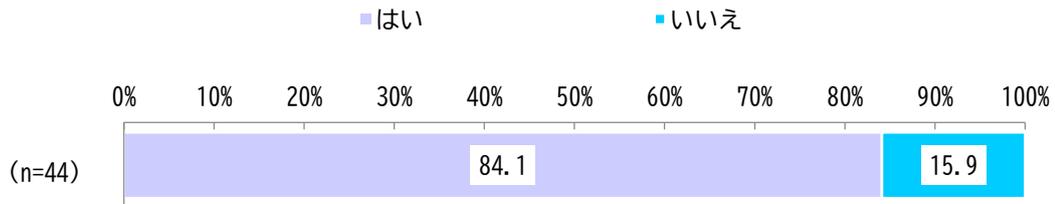
- ◇日本語教育の充実は日本に住む外国人にとって、有益なことであると思うが、日本語を学ぶための学校（日本語学校）と地域の日本語教室との住み分けも必要であると思う。地域の日本語教室は主にボランティアの日本語学習支援者が、教室での活動をとおして、日本語を使った交流の場の提供をしているため、地域の日本語教室へ日本語学校のような学習効果を求めたり、日本語教育の責任を押し付けたりすることがないように事業を進めていただきたい。
- ◇ボランティア養成講座を終えた新しいボランティアや一般市民が、日本語教室を立ち上げたくてもノウハウがなく開設できない状態にある。日本語教室開設のための講座等があるとよい。
- ◇コロナ禍において、これから先を見据えても、オンライン授業の必要性がどんどん高くなると思われるので、オンライン授業のやり方や普及に特化したコーディネーターの育成、派遣、講座開催に力を入れて頂ければ助かります。

第5章 市町村教育委員会アンケート結果

(1) 日本語指導が必要な児童生徒の有無

問1 貴教育委員会が管轄する小・中学校に、令和2年7月1日時点で、日本語指導が必要な児童生徒（以下：在籍児童生徒）が在籍していますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力）

「はい」が84.1%、「いいえ」が15.9%となっている。



(2) 学校の教員等からの、保護者との日本語での意思疎通が困難との意見有無

問2-1 学校の教員等から、在籍児童生徒の保護者とのコミュニケーションにおいて、日本語が伝わらず意思疎通に困っているという声を聞いたことがありますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力）

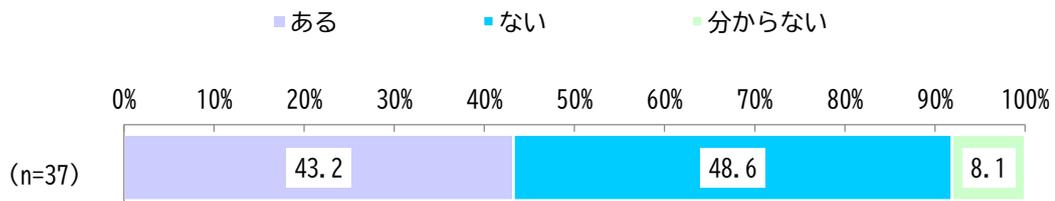
「ある」が100.0%となっている。



(3) 在籍児童生徒の保護者からの、学校の教員等との日本語での意思疎通が困難との意見有無

問2-2 在籍児童生徒の保護者から、学校の教員や保護者間でのコミュニケーションにおいて、日本語が分からず意思疎通に困っているという声を聞いたことがありますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力）

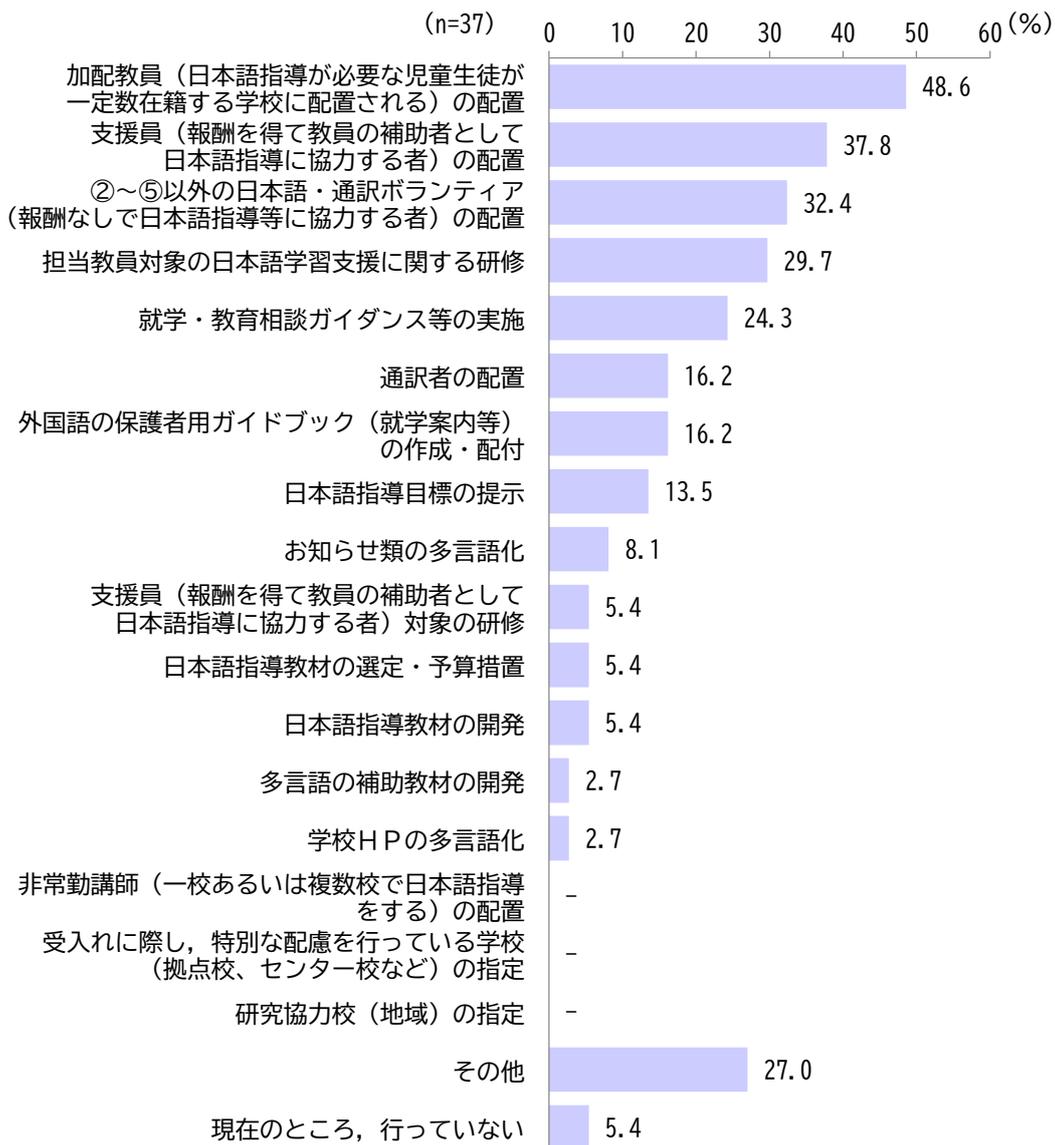
「ある」が43.2%、「ない」が48.6%となっている。



(4) 教育委員会で実施している施策（国・県の施策も含む）

問3-1 貴教育委員会で実施している日本語指導が必要な児童生徒の日本語学習支援に関する全ての施策（国・県の施策も含む）について、下表の選択肢から当てはまる番号を回答欄にご記入ください。（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

「加配教員（日本語指導が必要な児童生徒が一定数在籍する学校に配置される）の配置」が48.6%で最も多く、次いで、「支援員（報酬を得て教員の補助者として日本語指導に協力する者）の配置」が37.8%となっている。一方、「現在のところ、行っていない」は5.4%だった。

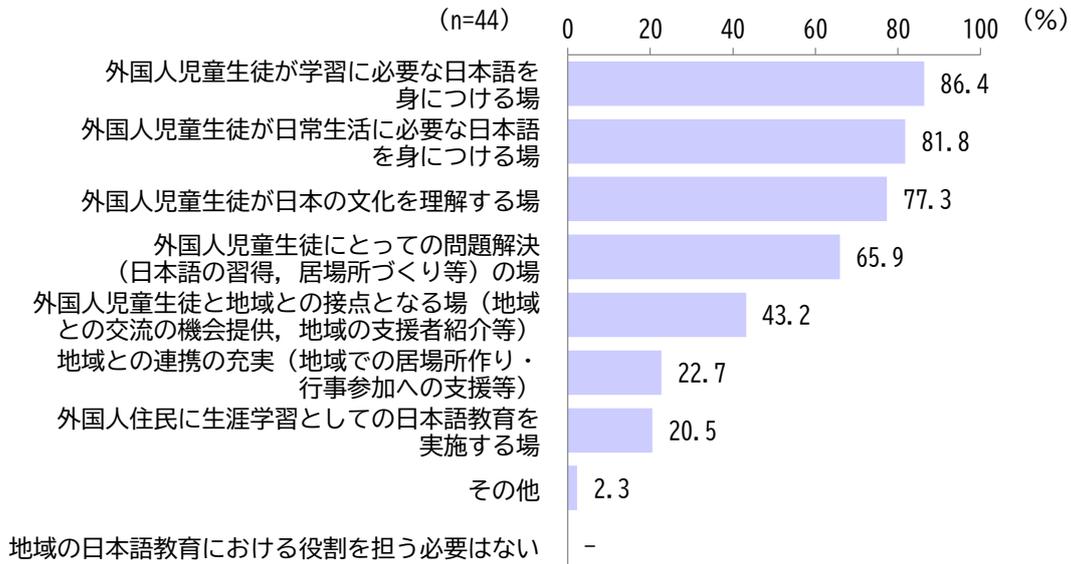


(5) 日本語教育における学校の役割

問6 地域の日本語教育における学校の役割はどのようなものだとお考えですか。

(あてはまる番号すべてをExcelに入力)

「外国人児童生徒が学習に必要な日本語を身につける場」が86.4%で最も多く、次いで、「外国人児童生徒が日常生活に必要な日本語を身につける場」が81.8%、「外国人児童生徒が日本の文化を理解する場」が77.3%となっている。

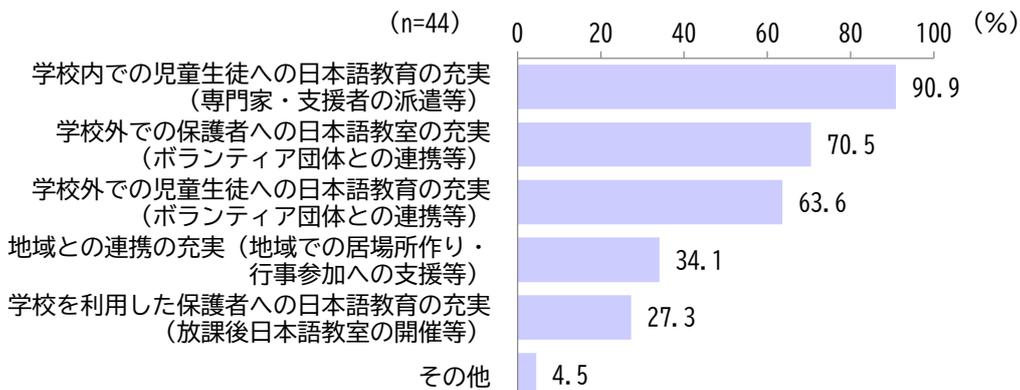


(6) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと

問7 今後、県が日本語教育の体制整備を進める上で、学校の教員等と児童生徒や保護者とのコミュニケーションを円滑にするために、県にどのような支援や連携・協力を期待しますか。

(あてはまる番号すべてをExcelに入力)

「学校内での児童生徒への日本語教育の充実（専門家・支援者の派遣等）」が90.9%で最も多く、次いで、「学校外での保護者への日本語教室の充実（ボランティア団体との連携等）」が70.5%、「学校外での児童生徒への日本語教育の充実（ボランティア団体との連携等）」が63.6%となっている。



(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等

問9 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にExcelに入力してください。(自由記述)

[記載内容の一部抜粋]

- ◇日本語教育事業と各家庭を繋げることが今後更に重要になってくると考える。
 - ◇日本語学級担当者等を対象とした、リモート研修等を実施していただきたい。
 - ◇学校等のニーズに応じて日本語教育の専門家を派遣するシステムを、県で構築していただきたい。
 - ◇日本語指導教室の開室に向けて、市内に拠点校を配置するための人(教員免許保有者)と予算を組んでほしい。日本語指導プログラムを提供してほしい。
-

第6章 大学アンケート結果

(1) 日本語教師を養成するための講座の実施有無

問5 貴大学において、現在（令和2年度）日本語教師を養成するための講座を実施していますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力）

7件の回答中、「実施している」、「今までも実施しておらず、今後も実施の予定はない」がそれぞれ3件、「現在実施していないが、今後、実施を検討する」が1件となっている。

(2) 日本語教育における大学の役割

問9 地域の日本語教育における大学の役割にどのようなものがあるとお考えですか。（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

7件の回答中、「留学生が確実に学習研究に必要な日本語能力を身につけることができる場」が6件、「留学生が日常生活に必要な日本語を身につける場」、「留学生と地域社会との接点となる場」がそれぞれ4件となっている。

※複数回答可のため、各件数の合計は回答者数を超える場合がある。

(3) 地域の日本語教育の実施にあたり県に望むこと

問10 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと考えますか。（あてはまる番号すべてをExcelに入力）

7件の回答中、「外国人等を雇用する企業への啓発」が5件、「日本語教室への経済的支援」、「日本語教師、日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実」、「日本語教室の広報、PR」、「他団体等との連携の橋渡し（コーディネート）」がそれぞれ4件となっている。

※複数回答可のため、各件数の合計は回答者数を超える場合がある。

(4) 日本語教育事業に関する意見・提案等

問12 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にExcelに入力してください。（自由記述）

[記載内容の一部抜粋]

◇本学では日本語教師養成講座を開講していますが、日本語教育に熱意のある学生でも、職業としての日本語教師を選択することが難しいことを知り、あきらめる学生がほとんどです。もちろんボランティアの活動は非常に重要ですが、日本語教育=ボランティアではなく、専門家としての日本語教師を必要な学校、地域に派遣するような仕組みを考えていただければと思います。安定した職業として成り立つポストを創生する必要があると思います。

第7章 日本語学校アンケート結果

(1) 一般外国人住民等が受講できる日本語講座の実施

問5 貴校では、令和元年度に、「留学」以外の在留資格を持つ外国人等が受講できる日本語講座を実施しましたか。(あてはまる番号1つをExcelに入力)

4件の回答中、「実施した(留学生と同じ講座を受講できる場合も含む)」が4件となっている。

(2) 一般外国人住民等が受講できる日本語講座の内容

【問5で「1 実施した」と回答した方は、「問5-1」「問5-2」をお答えください。】

問5-2 「留学」以外の在留資格を持つ外国人等が受講できる日本語講座にはどのような講座がありますか。Excelに入力してください。(留学生と同じ講座を受講できる場合は、その講座も入力願います。)

3校から、計4件の回答が得られた。

	内容	開催期間
1	留学生の授業に合流, グループレッスン, (応相談), プライベートレッスン (応相談)	6か月～2年
2	総合日本語(文法, 語彙, 漢字, 作文, 聴解, 読解, 会話)の教育, 日本語能力試験対策, 進学及び就職支援	3か月間ごと
3	進学2年コース	2年
4	進学1年6か月コース	1年6か月

(3) 日本語教師を養成するための講座の実施有無

問6 貴校において、現在(令和2年度)日本語教師を養成するための講座を実施していますか。(あてはまる番号1つをExcelに入力)

4件の回答中、「今までも実施しておらず、今後も実施の予定はない」が3件、「現在実施していないが、今後、実施を検討する」が1件となっている。

(4) 他の団体との連携や交流、協力

問9 日本語教育に関して、今後、他の団体(県, 市町村, 国際交流協会, 企業, 大学, NPO, 日本語学校, 日本語教室等)から連携や交流、もしくは何らかの協力依頼があった場合、応じることは可能ですか。(あてはまる番号1つをExcelに入力)

4件の回答中、「内容によっては可能」が4件となっている。

(5) 日本語教育における日本語学校の役割

問10 地域の日本語教育における日本語学校の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。

(あてはまる番号すべてをExcelに入力)

4件の回答中、「外国人が日本の文化を理解する場」が4件、「外国人が日常生活に必要な日本語を身につける場」が3件、「外国人が確実に日本語能力を身につけることができる場」、「外国人と地域社会との接点となる場」が2件となっている。

※複数回答可のため、各件数の合計は回答者数を超える場合がある。

(6) 日本語教育事業に関する意見・提案等

問12 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由に

Excelに入力してください。(自由記述)

[記載内容の一部抜粋]

◇プロの日本語教師が在籍している日本語学校を認知していただきたい。公立小中学校の外国人生徒に対して、プロの日本語教師の活用を考えていただきたい。

◇留学生が参加できる県のイベントがあれば参加したい。

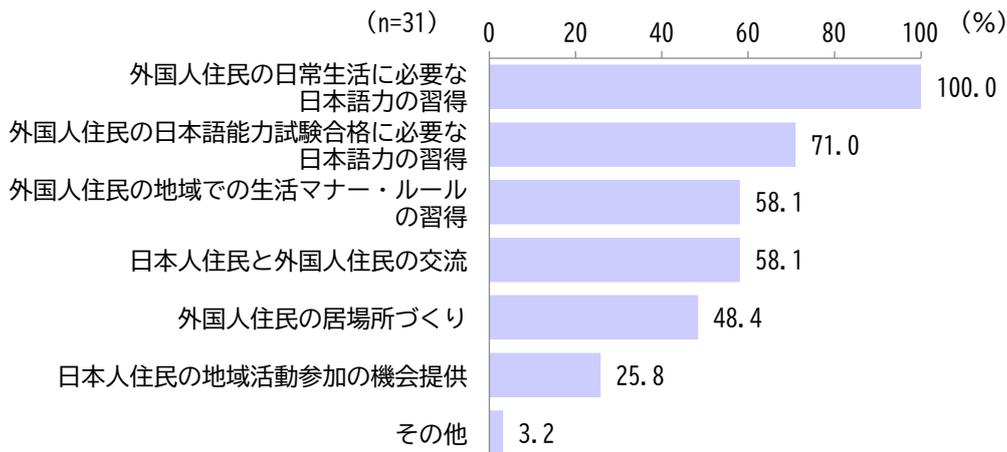
第8章 日本語教室アンケート結果

(1) 教室活動の目的

問1 教室活動の目的について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

※教室が複数ある場合は、() に該当する教室数を記入してください。

「外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得」が100.0%で最も多く、次いで、「外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得」が71.0%、「外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得」、「日本人住民と外国人住民の交流」が58.1%となっている。

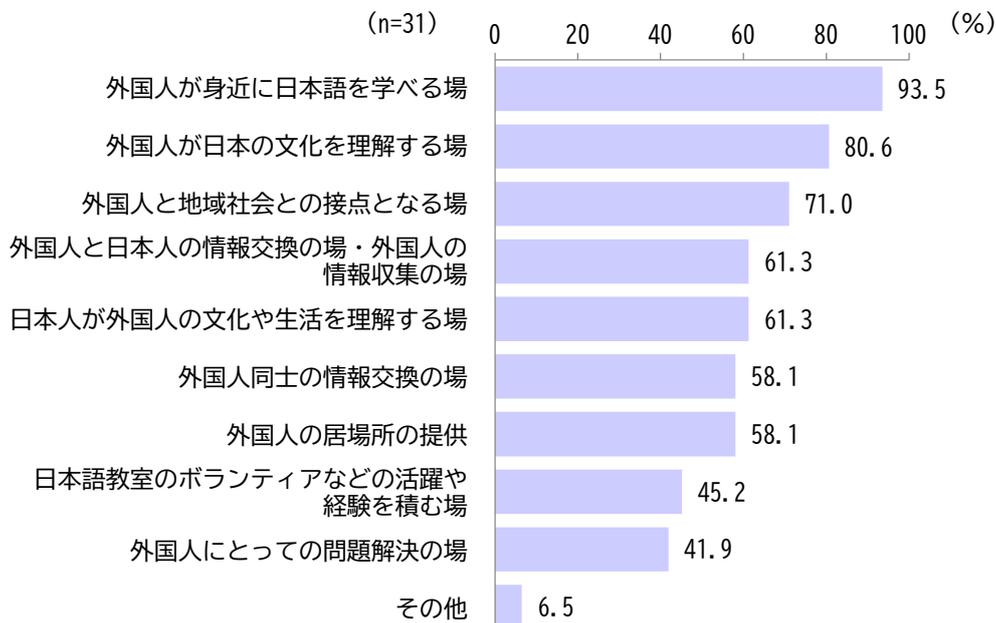


(2) 地域の日本語教室の役割

問2 地域の日本語教室に求められている役割とはどのようなものだと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

「外国人が身近に日本語を学べる場」が93.5%で最も多く、次いで、「外国人が日本の文化を理解する場」が80.6%、「外国人と地域社会との接点となる場」が71.0%となっている。

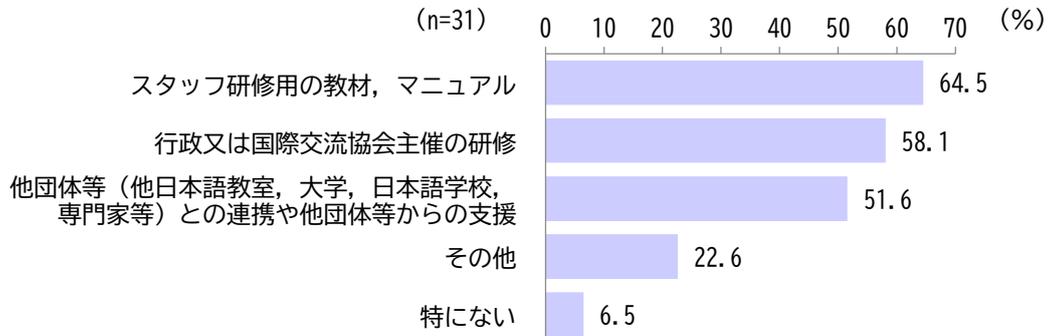


(3) 日本語学習支援者のスキルアップに必要なもの

問4 日本語学習支援者のスキルアップのためがあると望ましいと思うものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

「スタッフ研修用の教材，マニュアル」が64.5%で最も多く，次いで，「行政又は国際交流協会主催の研修」が58.1%，「他団体等（他日本語教室，大学，日本語学校，専門家等）との連携や他団体等からの支援」が51.6%となっている。

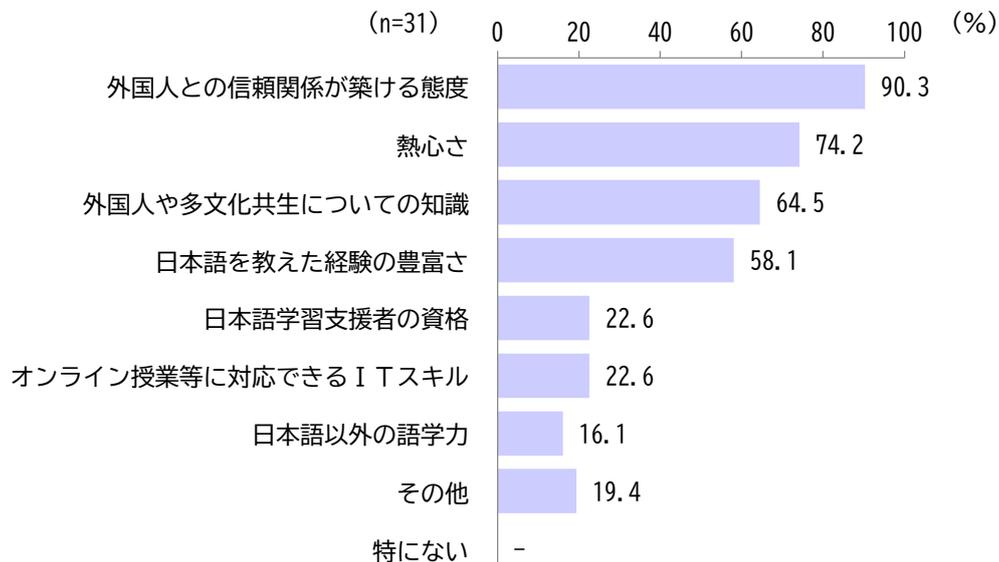


(4) 日本語学習支援者に求める能力や姿

問5 日本語学習支援者に求める能力や姿勢などについて教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

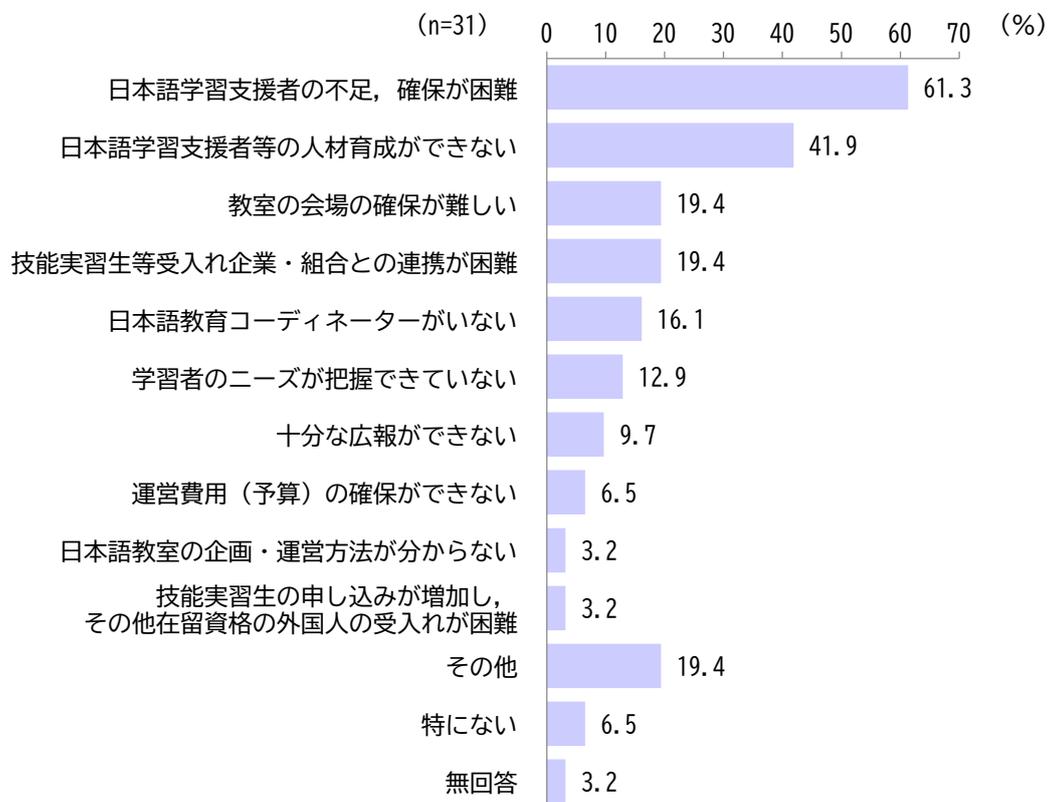
「外国人との信頼関係が築ける態度」が90.3%で最も多く，次いで，「熱心さ」が74.2%，「外国人や多文化共生についての知識」が64.5%となっている。



(5) 日本語教室の運営で困っていること

問7 日本語教室の運営で困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「日本語学習支援者の不足，確保が困難」が61.3%で最も多く，次いで，「日本語学習支援者等の人材育成ができない」が41.9%，「教室の会場の確保が難しい」，「技能実習生等受入れ企業・組合との連携が困難」が19.4%となっている。

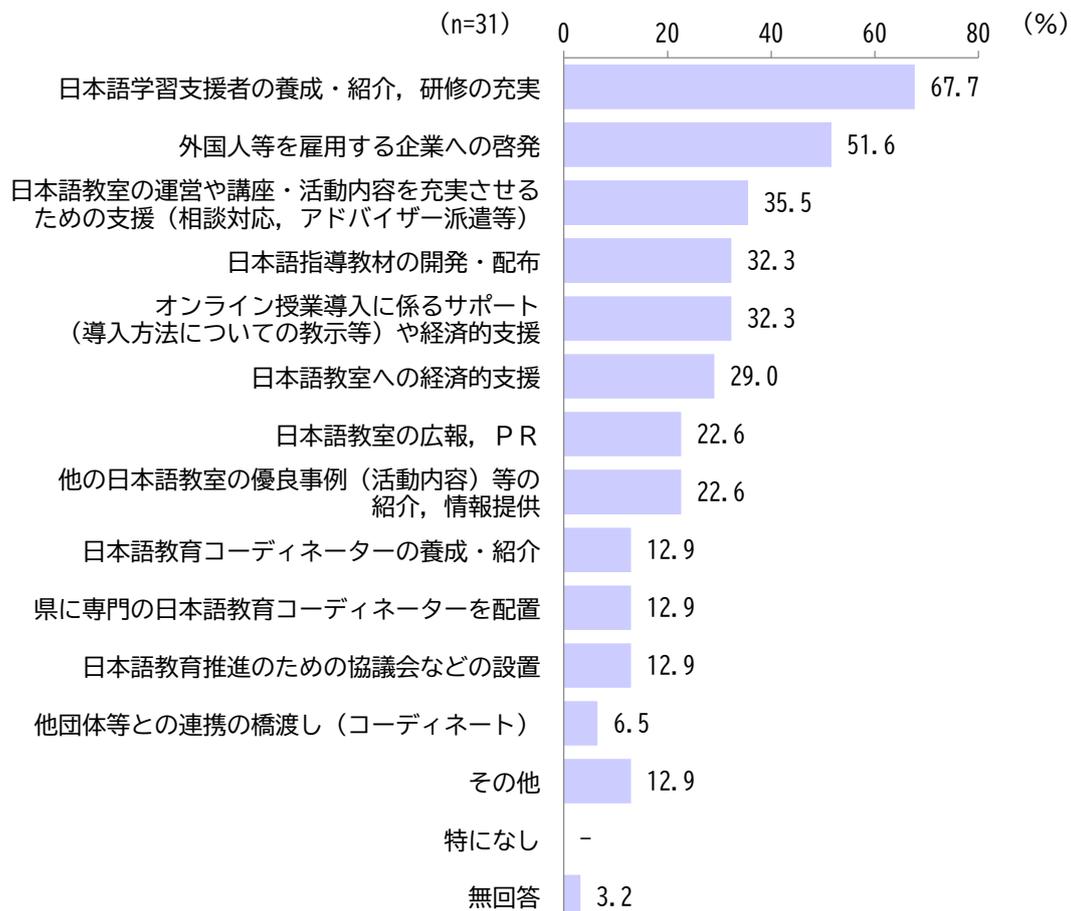


(6) 地域の日本語教育事業の実施にあたり県に望むこと

問12 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

「日本語学習支援者の養成・紹介，研修の充実」が67.7%で最も多く，次いで，「外国人等を雇用する企業への啓発」が51.6%，「日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援（相談対応，アドバイザー派遣等）」が35.5%となっている。



(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等

問14 その他，日本語教育事業に関して，県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にお書きください。（自由記述）

[記載内容の一部抜粋]

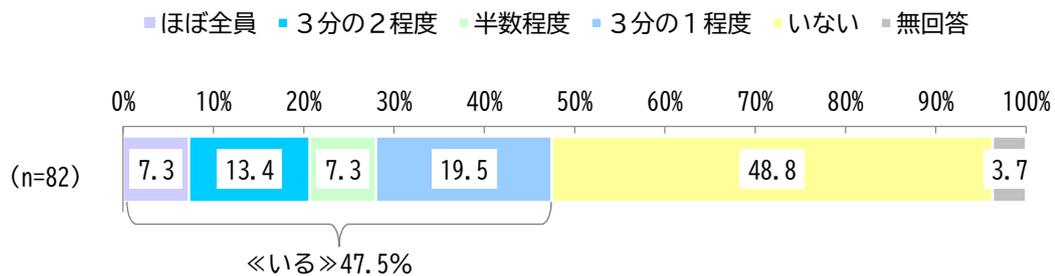
- ◇多文化共生時と不可分であるため，日本語教育事業だけでなく，総合的な方針を決める必要がある。現場をよく知っていて，地域日本語教育の知識があるコーディネーターの設置。
- ◇今後外国人住民が増えることが予想されるので，ボランティア日本語学習支援者が大幅に不足していると思います。また，現状は高齢者に片寄っている傾向にあります。若い世代のボランティア日本語学習支援者を増やす支援が必要。
- ◇外国籍の就学児が多くなっている現状を踏まえ，子供向け日本語指導ボランティアが必要となっている。そのための講座開設をお願いします。子供の指導にあたっている方々とのネットワーク会議も是非設けて頂きたいです。

第9章 外国人雇用企業アンケート結果

(1) 日本語能力が足りない外国人労働者の割合

問6 貴事業所で働く外国人の中に、求める日本語能力に届いていない人はどの程度いますか。
(○は1つ)

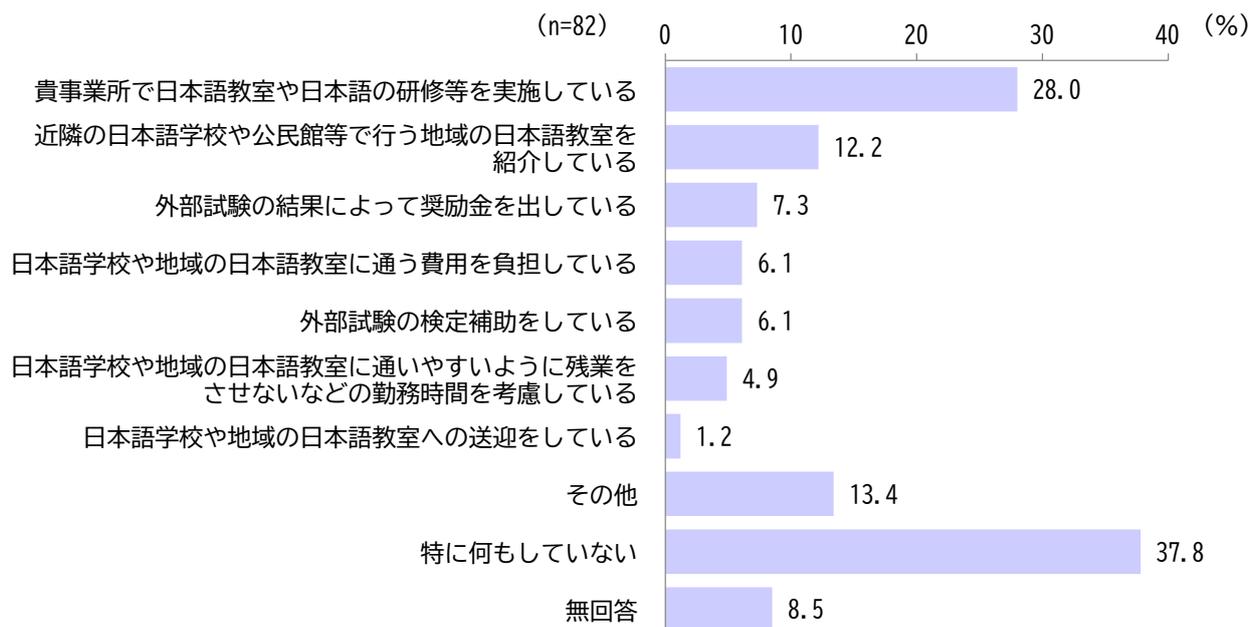
「いない」が最も多く48.8%を占めている。「いる」と答えた中では「3分の1程度」が19.5%で最も多く、次いで、「3分の2程度」が13.4%、「半数程度」が7.3%となっており、それらを合わせた《いる》は47.5%となっている。



(2) 外国人労働者に対する日本語学習支援

問7 貴事業所で働く求める日本語能力に届いていない外国人に対して、日本語学習の支援をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

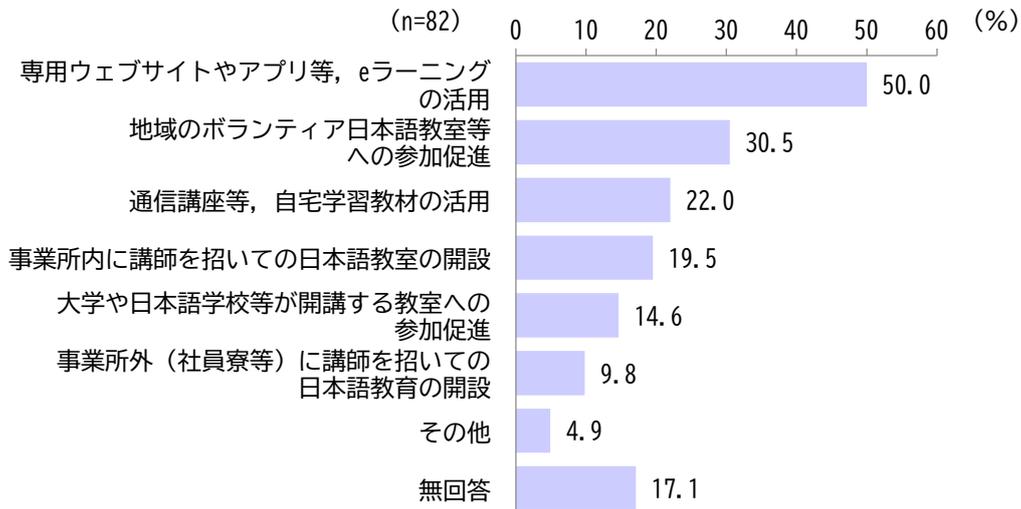
「貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している」が28.0%で最も多く、次いで、「近隣の日本語学校や公民館等で行う地域の日本語教室を紹介している」が12.2%となっている。一方、「特に何もしていない」は37.8%であった。



(3) 日本語教育を充実させるために必要な学習形態

問9 今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、どのような形態での学習機会があればよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

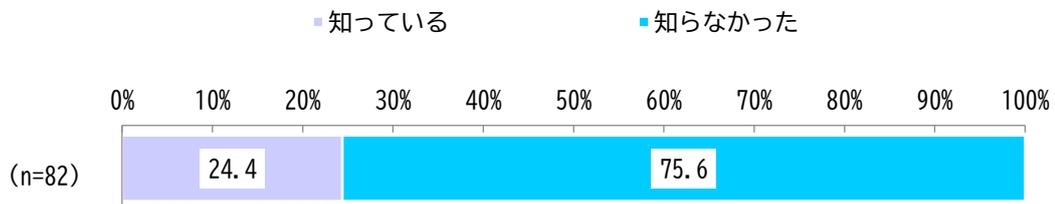
「専用ウェブサイトやアプリ等、eラーニングの活用」が50.0%で最も多く、次いで、「地域のボランティア日本語教室等への参加促進」が30.5%、「通信講座等、自宅学習教材の活用」が22.0%となっている。



(4) 「茨城県外国人向け日本語学習支援e-ラーニングシステム」の無償提供の認知

問10 茨城県が県内在住の外国人を雇用している茨城県内の企業へ無償で提供している「茨城県外国人向け日本語学習支援e-ラーニングシステム」を知っていますか。(○は1つ)

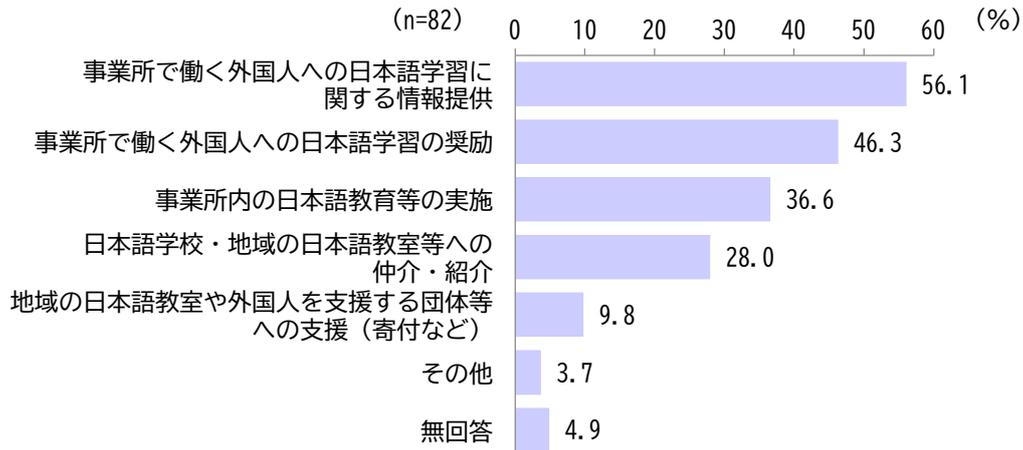
「知っている」が24.4%、「知らなかった」が75.6%となっている。



(5) 日本語教育における事業所の役割

問14 外国人が働く事業所は、日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

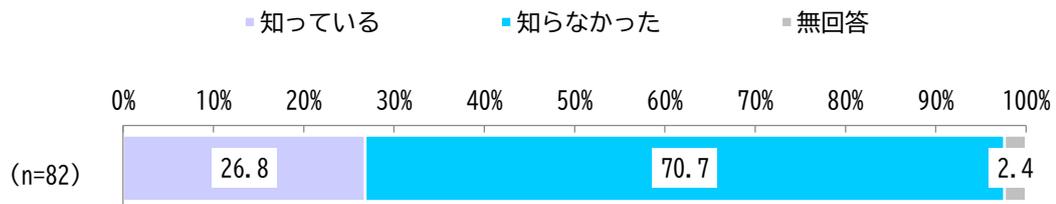
「事業所で働く外国人への日本語学習に関する情報提供」が56.1%で最も多く、次いで、「事業所で働く外国人への日本語学習の奨励」が46.3%、「事業所内の日本語教育等の実施」が36.6%となっている。



(6) 「日本語教育推進法」における企業の責務についての認知

問15 「日本語教育推進法」において、企業には雇用する外国人やその家族に対する日本語学習の機会の提供その他の日本語学習に関する支援に努める責務があると定められていることを知っていますか。(○は1つ)

「知っている」が26.8%、「知らなかった」が70.7%となっている。



(7) 日本語教育事業に関する意見・提案等

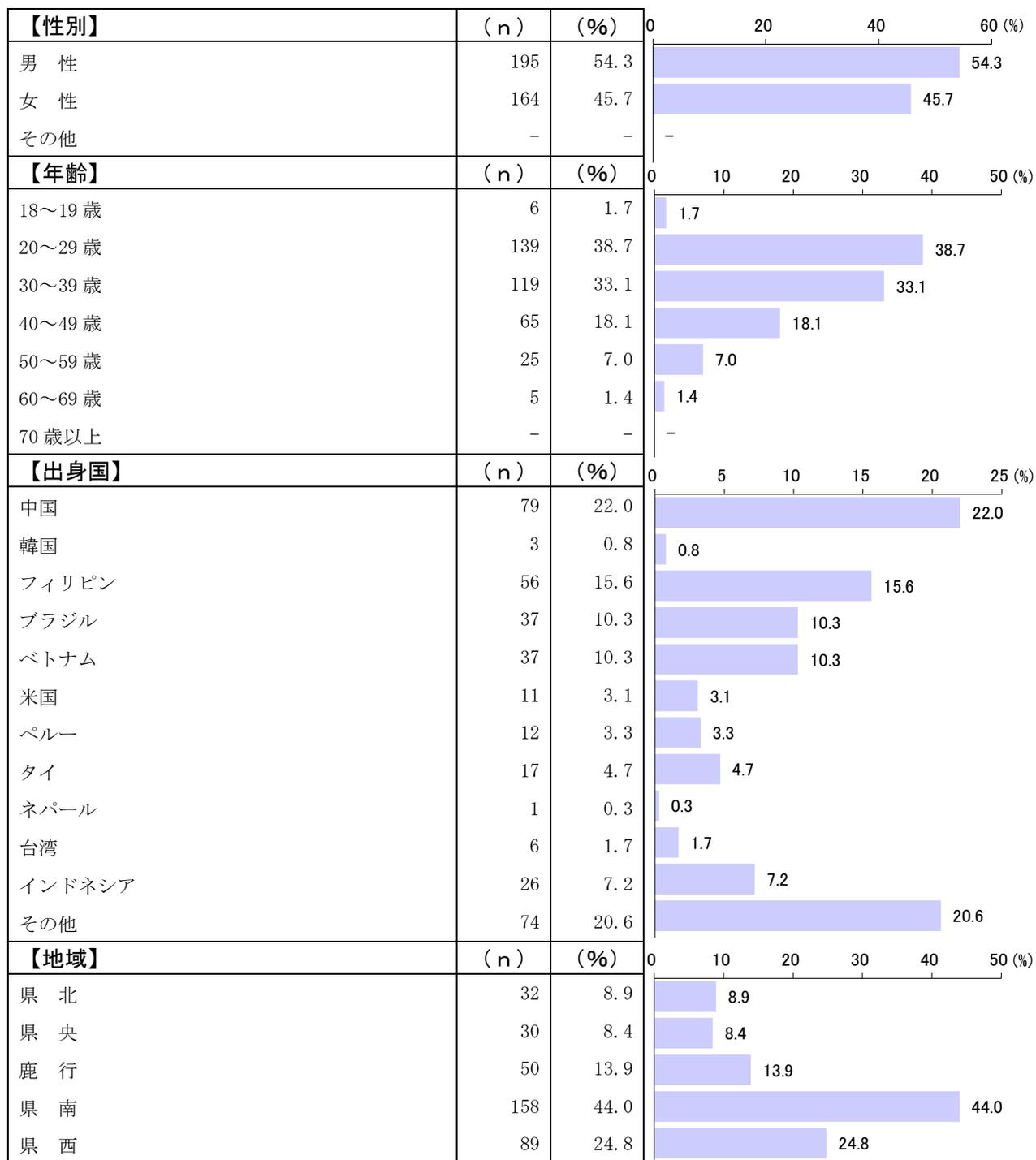
問16 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にお書きください。(自由記述)

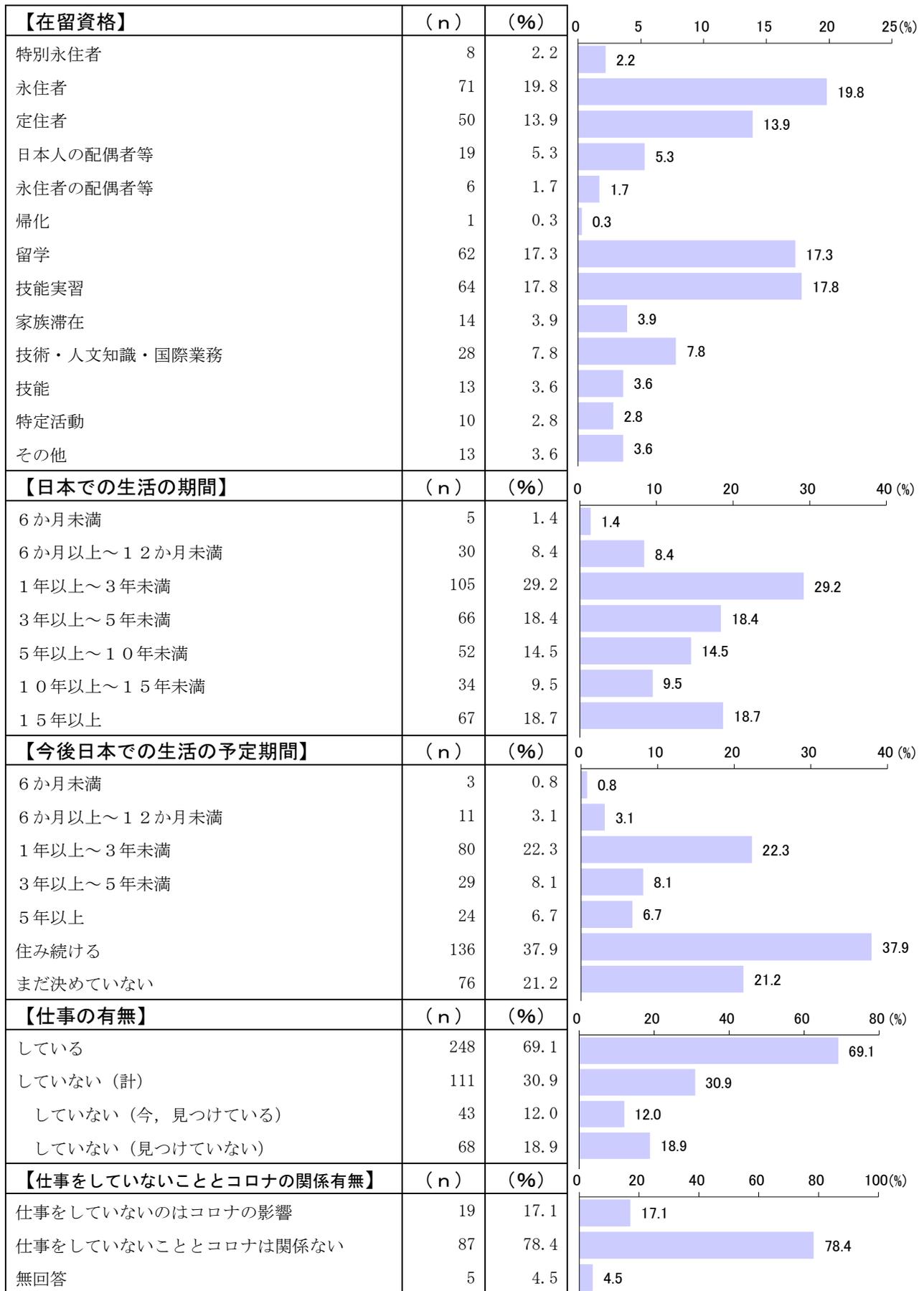
[記載内容の一部抜粋]

- ◇今後、中小企業においてもダイバーシティ経営が重要ポイントの1つとなる。その中で人材のグローバル化、外国人材の戦力化は必須課題。日本語教育においても、中長期視点での育成計画が必要。
 - ◇県が主催で、Webを利用して教室を開いて頂けると良いと思います。近隣で日本語教室はありますが、送迎の負担があり対応が難しいので、在宅で利用できるものが大変助かります。宜しくお願い致します。
 - ◇今のところは企業の努力による持ち出しで教育支援（日本語学校での講座受講の資金援助と紹介）などを行なっているが、現実的にはかなりきびしい状況にある。県が率先して、学習支援を行なっていただければ、外国人材の質の向上にもつながっていくと思われる。入国後の支援にもっと目を向けてもらいたい。
-

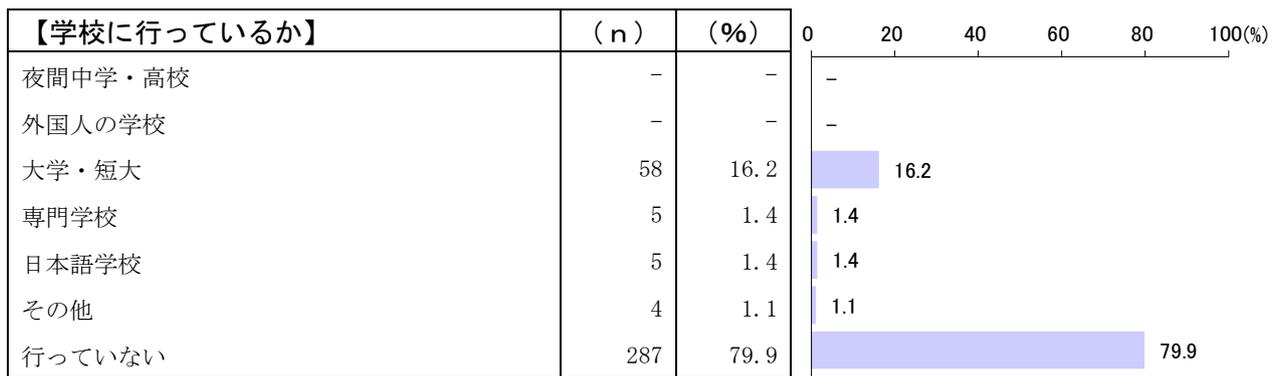
第10章 県内在住外国人アンケート結果

1. 調査対象者の属性





第10章 県内在住外国人アンケート結果



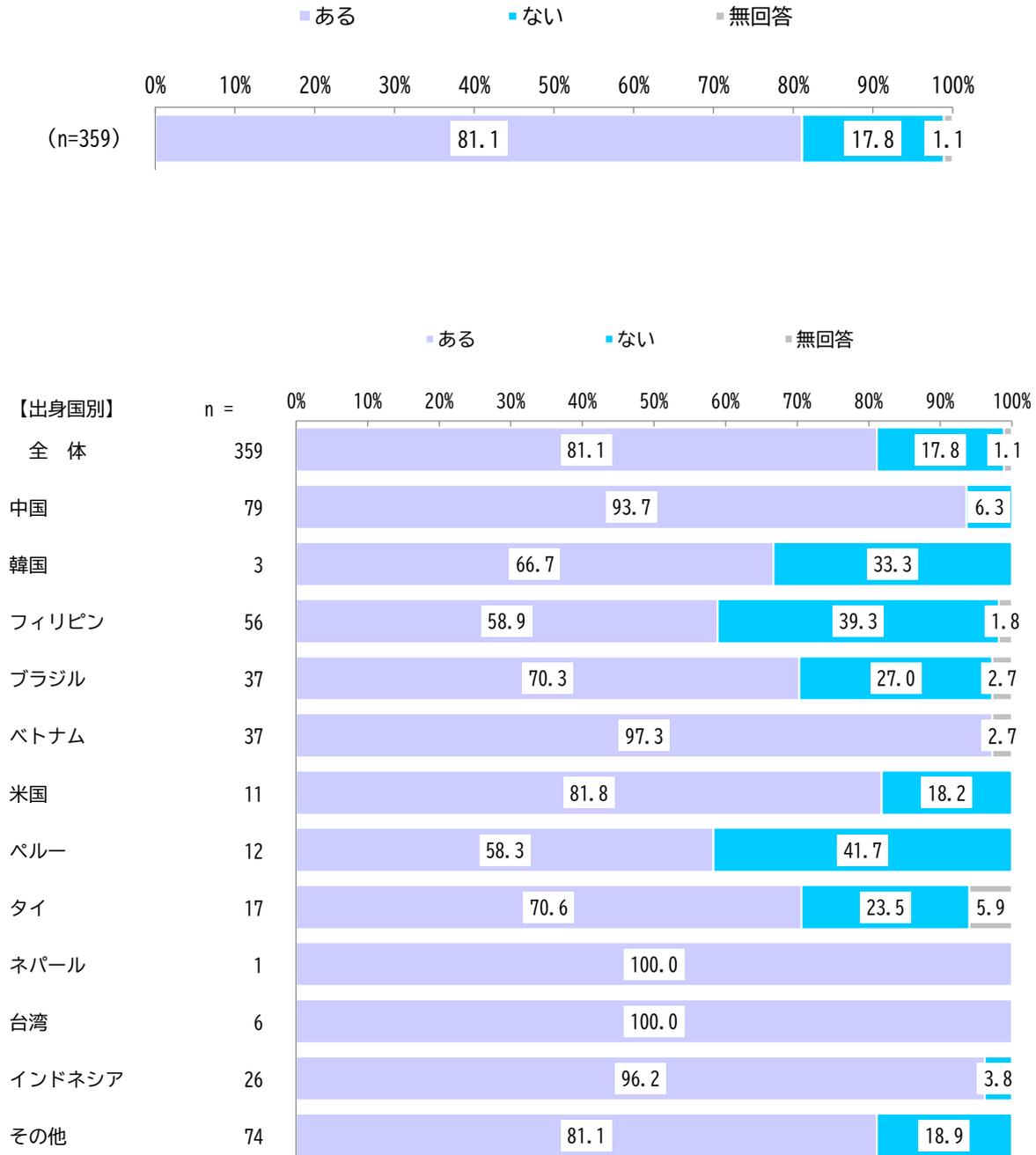
2. 日本語の勉強について

(1) 日本語の勉強経験の有無

[2] 問1 あなたは日本語を勉強したことがありますか。(○は1つ)

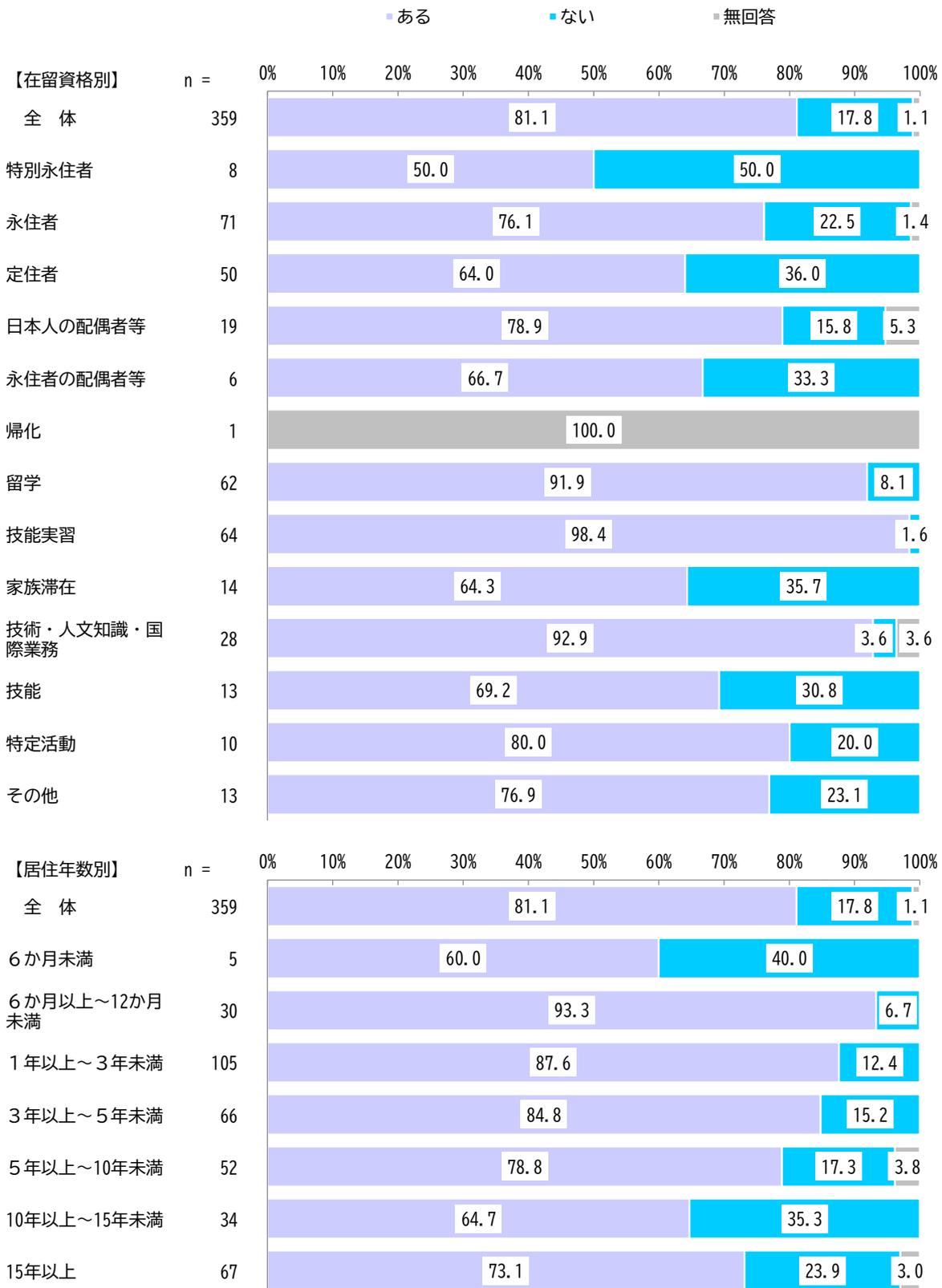
勉強したことが「ある」が81.1%、「ない」が17.8%となっている。

出身国別で見ると、「ある」は、中国で93.7%、ベトナムで97.3%、インドネシアで96.2%となっている。



在留資格別でみると、「ある」は、留学で91.9%、技能実習で98.4%、技術・人文知識・国際業務で92.9%となっている。

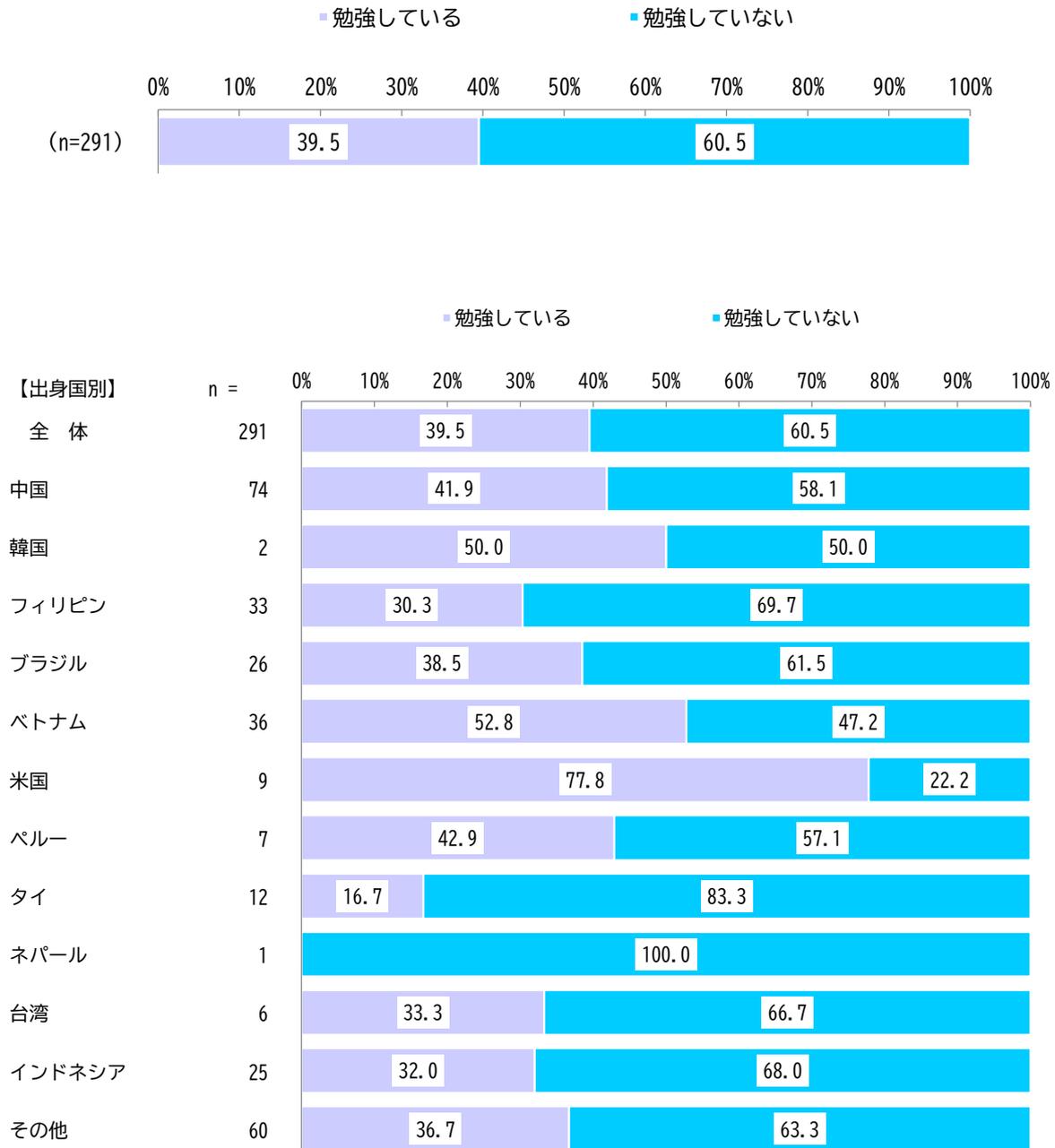
居住年数別でみると、「ある」は、6か月以上～12か月未満で93.3%と最も高く、居住年数が長いほど割合が低くなっている。



(2) 現在の日本語の勉強の有無

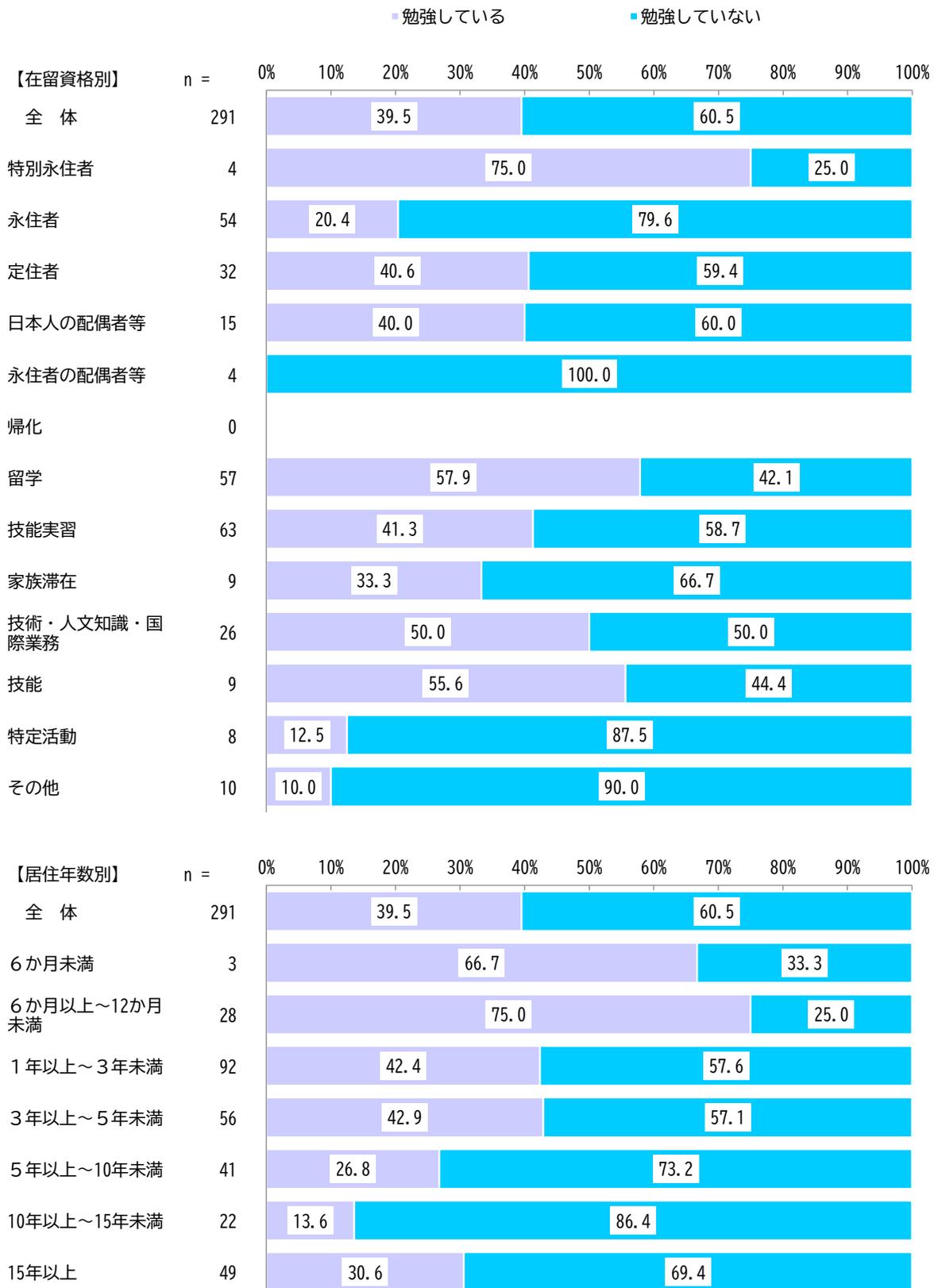
[2] 問3 あなたは、今、日本語を勉強していますか。(〇は1つ)

「勉強している」が39.5%、「勉強していない」が60.5%となっている。
 出身国別で見ると、「勉強している」は、ベトナムで52.8%と最も高くなっている。



在留資格別でみると、「勉強している」は、留学で57.9%、「勉強していない」は、永住者で79.6%と、それぞれ最も高くなっている。

居住年数別でみると、「勉強している」は、6か月以上～12か月未満で75.0%、「勉強していない」は、5年以上～10年未満で73.2%と、それぞれ最も高くなっている。

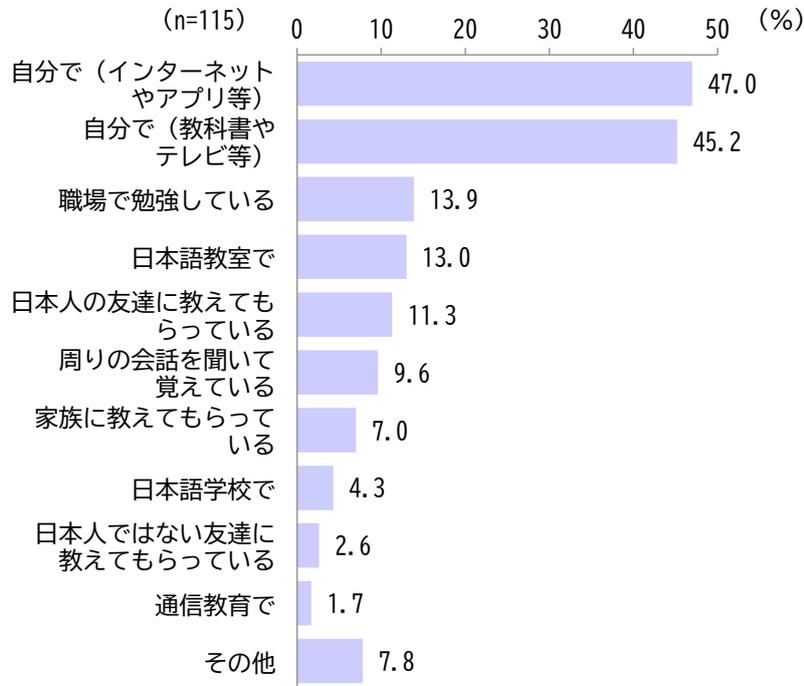


(3) 現在の日本語の勉強方法

[2] 問4 あなたは今、どうやって日本語を勉強していますか。(いくつ答えてもいいです)

「自分で（インターネットやアプリ等）」が47.0%で最も多く、次いで、「自分で（教科書やテレビ等）」が45.2%となっている。

出身国別でみると、「自分で（教科書やテレビ等）」は、中国で61.3%と最も高くなっている。



	調査数	割合 (%)											
		自分で（インターネットやアプリ等）	自分で（教科書やテレビ等）	職場で勉強している	日本語教室で	日本人の友達に教えてもらっている	周りの会話を聞いて覚えている	家族に教えてもらっている	日本語学校で	日本人ではない友達に教えてもらっている	通信教育で	その他	
全体	115	47.0	45.2	13.9	13.0	11.3	9.6	7.0	4.3	2.6	1.7	7.8	
出身国別	中国	31	41.9	61.3	6.5	12.9	19.4	9.7	6.5	-	-	6.5	9.7
	韓国	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	フィリピン	10	50.0	10.0	20.0	-	10.0	-	10.0	10.0	-	-	10.0
	ブラジル	10	80.0	30.0	-	20.0	10.0	20.0	20.0	-	-	-	-
	バトナム	19	52.6	42.1	15.8	10.5	5.3	-	5.3	5.3	-	-	5.3
	米国	7	28.6	71.4	-	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-
	パルー	3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	タイ	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ネパール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	台湾	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	インドネシア	8	37.5	75.0	50.0	-	12.5	37.5	-	-	25.0	-	12.5
	その他	22	45.5	27.3	18.2	22.7	9.1	9.1	4.5	9.1	-	-	4.5

在留資格別でみると、「自分で（教科書やテレビ等）」は、技能実習で57.7%と最も高くなっている。

居住年数別でみると、「自分で（インターネットやアプリ等）」は、1年以上～3年未満で59.0%と最も高くなっている。居住年数が短いほど、独学で勉強している割合が概ね高い。

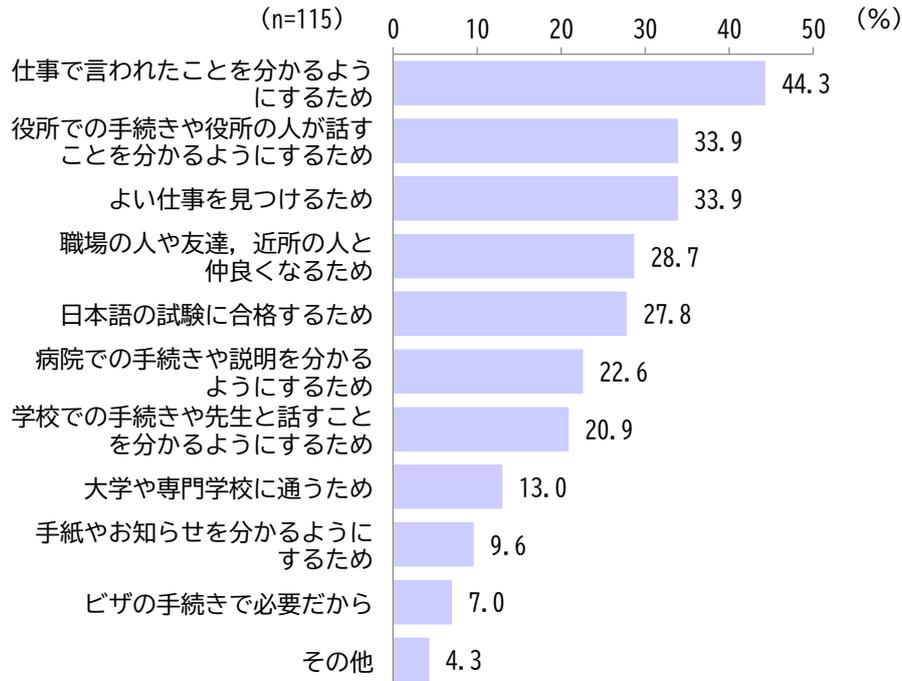
		(%)											
		調査数	自分で（インターネットやアプリ等）	自分で（教科書やテレビ等）	職場で勉強している	日本語教室で	日本人の友達に教えてもらっている	周りの会話を聞いて覚えている	家族に教えてもらっている	日本語学校で	日本人ではない友達に教えてもらっている	通信教育で	その他
全体		115	47.0	45.2	13.9	13.0	11.3	9.6	7.0	4.3	2.6	1.7	7.8
在留資格別	特別永住者	3	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	永住者	11	45.5	36.4	18.2	18.2	18.2	9.1	27.3	18.2	-	-	9.1
	定住者	13	38.5	15.4	23.1	15.4	-	7.7	7.7	7.7	-	-	7.7
	日本人の配偶者等	6	50.0	50.0	-	33.3	-	16.7	16.7	-	-	-	-
	永住者の配偶者等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	帰化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	留学	33	45.5	48.5	3.0	15.2	21.2	9.1	3.0	3.0	-	6.1	18.2
	技能実習	26	53.8	57.7	15.4	-	7.7	11.5	-	-	7.7	-	3.8
	家族滞在	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-
	技術・人文知識・国際業務	13	46.2	53.8	30.8	15.4	-	-	-	-	-	-	-
技能	5	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-	
特定活動	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住年数別	6か月未満	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	6か月以上～12か月未満	21	57.1	61.9	4.8	9.5	28.6	14.3	4.8	-	4.8	4.8	-
	1年以上～3年未満	39	59.0	41.0	10.3	12.8	10.3	7.7	-	2.6	2.6	-	12.8
	3年以上～5年未満	24	33.3	41.7	25.0	12.5	4.2	-	-	4.2	4.2	-	-
	5年以上～10年未満	11	18.2	45.5	18.2	27.3	-	18.2	27.3	9.1	-	9.1	18.2
	10年以上～15年未満	3	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	15年以上	15	46.7	40.0	13.3	13.3	13.3	13.3	20.0	13.3	-	-	6.7

(4) 日本語の勉強を始めた理由

[2] 問5 あなたはどうして日本語を勉強していますか。(いくつ答えてもいいです)

「仕事で言われたことを分かるようにするため」が44.3%で最も多く、次いで、「役所での手続きや役所の人が話すことを分かるようにするため」、「よい仕事を見つけるため」が33.9%となっている。

出身国別でみると、「日本語の試験に合格するため」は、中国で51.6%と最も高くなっている。



	調査数	(%)											
		仕事で言われたことを分かるようにするため	役所での手続きや役所の人が話すことを分かるようにするため	よい仕事を見つけるため	職場の人や友達、近所の人と仲良くなるため	日本語の試験に合格するため	病院での手続きや説明を分かるようにするため	学校での手続きや先生と話すことを分かるようにするため	大学や専門学校に通うため	手紙やお知らせを分かるようにするため	ビザの手続きで必要だから	その他	
全体	115	44.3	33.9	33.9	28.7	27.8	22.6	20.9	13.0	9.6	7.0	4.3	
出身国別	中国	31	35.5	19.4	29.0	25.8	51.6	9.7	29.0	32.3	3.2	-	3.2
	韓国	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-
	フィリピン	10	50.0	30.0	30.0	40.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-
	ブラジル	10	30.0	40.0	70.0	30.0	30.0	30.0	30.0	10.0	20.0	-	-
	ベトナム	19	47.4	26.3	36.8	21.1	21.1	10.5	-	-	5.3	10.5	5.3
	米国	7	42.9	57.1	28.6	42.9	28.6	57.1	42.9	14.3	28.6	-	14.3
	バレー	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
	タイ	2	100.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	ネパール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	台湾	2	50.0	100.0	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	インドネシア	8	87.5	25.0	37.5	12.5	37.5	25.0	25.0	-	-	25.0	12.5
	その他	22	40.9	50.0	27.3	36.4	13.6	27.3	13.6	4.5	9.1	13.6	4.5

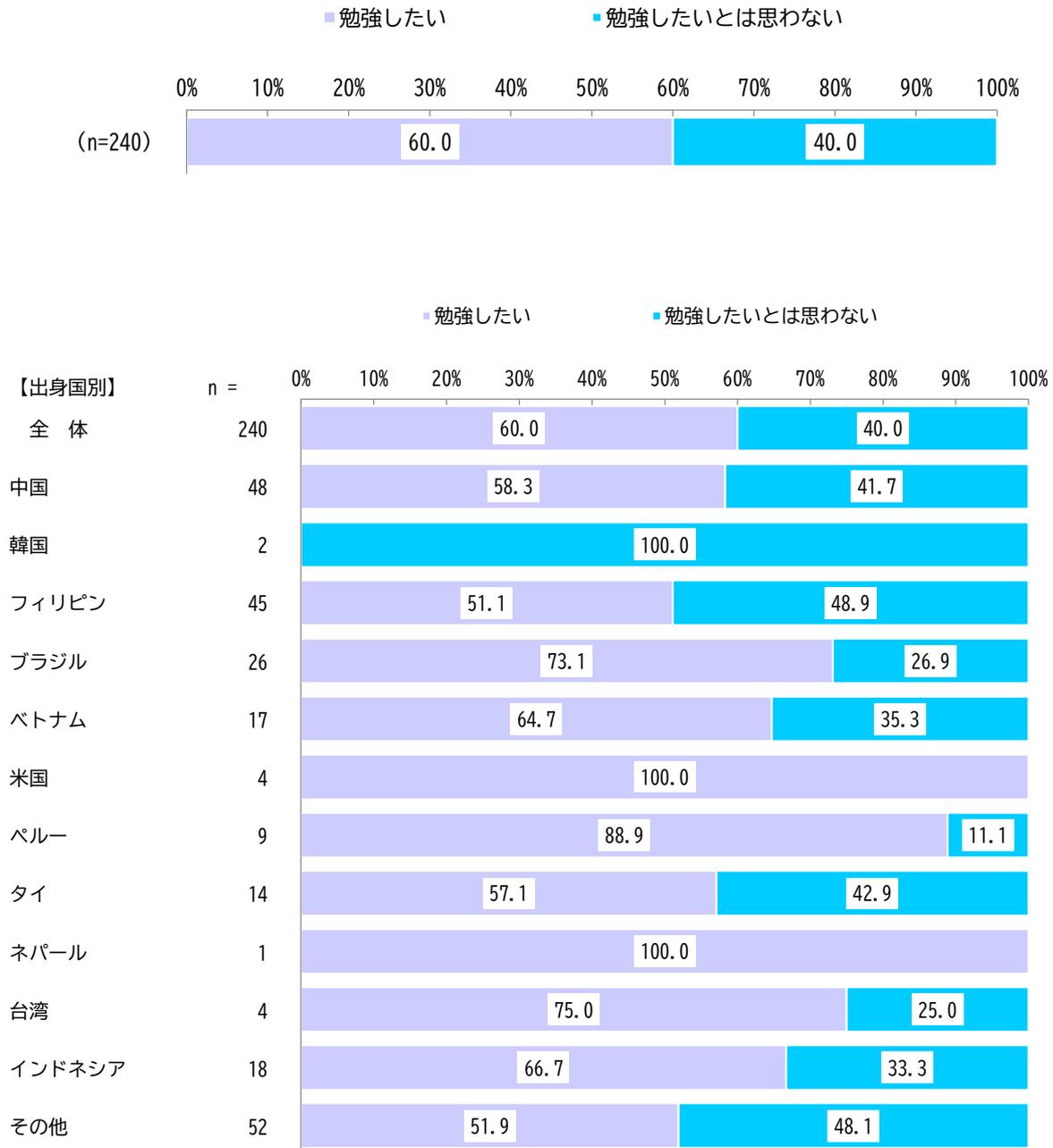
在留資格別でみると、「仕事で言われたことを分かるようにするため」は、技能実習で73.1%と最も高くなっている。また、「よい仕事を見つけるため」は留学で45.5%と最も高くなっている。

		(%)											
		調査数	仕事で言われたことを分かるようにするため	役所での手続きや役所の人に話すことを分けるようにする	よい仕事を見つけるため	職場の人や友達、近所の人と仲良くなるため	日本語の試験に合格するため	病院のように手続きや説明を分かるようにするため	学校での手続きや先生と話すことを分かるようにするため	大学や専門学校に通うため	手紙やお知らせを分かるようにするため	ビザの手続きで必要だから	その他
全体		115	44.3	33.9	33.9	28.7	27.8	22.6	20.9	13.0	9.6	7.0	4.3
在留資格別	特別永住者	3	33.3	100.0	-	33.3	-	66.7	33.3	-	33.3	-	-
	永住者	11	27.3	45.5	45.5	18.2	9.1	36.4	9.1	18.2	9.1	-	9.1
	定住者	13	53.8	46.2	30.8	46.2	23.1	38.5	15.4	-	23.1	23.1	7.7
	日本人の配偶者等	6	33.3	16.7	50.0	50.0	16.7	16.7	33.3	-	33.3	16.7	-
	永住者の配偶者等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	帰化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	留学	33	21.2	24.2	45.5	15.2	42.4	12.1	36.4	36.4	6.1	-	-
	技能実習	26	73.1	15.4	19.2	23.1	26.9	11.5	7.7	-	3.8	11.5	3.8
	家族滞在	3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	技術・人文知識・国際業務	13	53.8	53.8	23.1	69.2	30.8	23.1	-	7.7	-	7.7	-
	技能	5	80.0	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	-	20.0	-	20.0
特定活動	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	1	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	

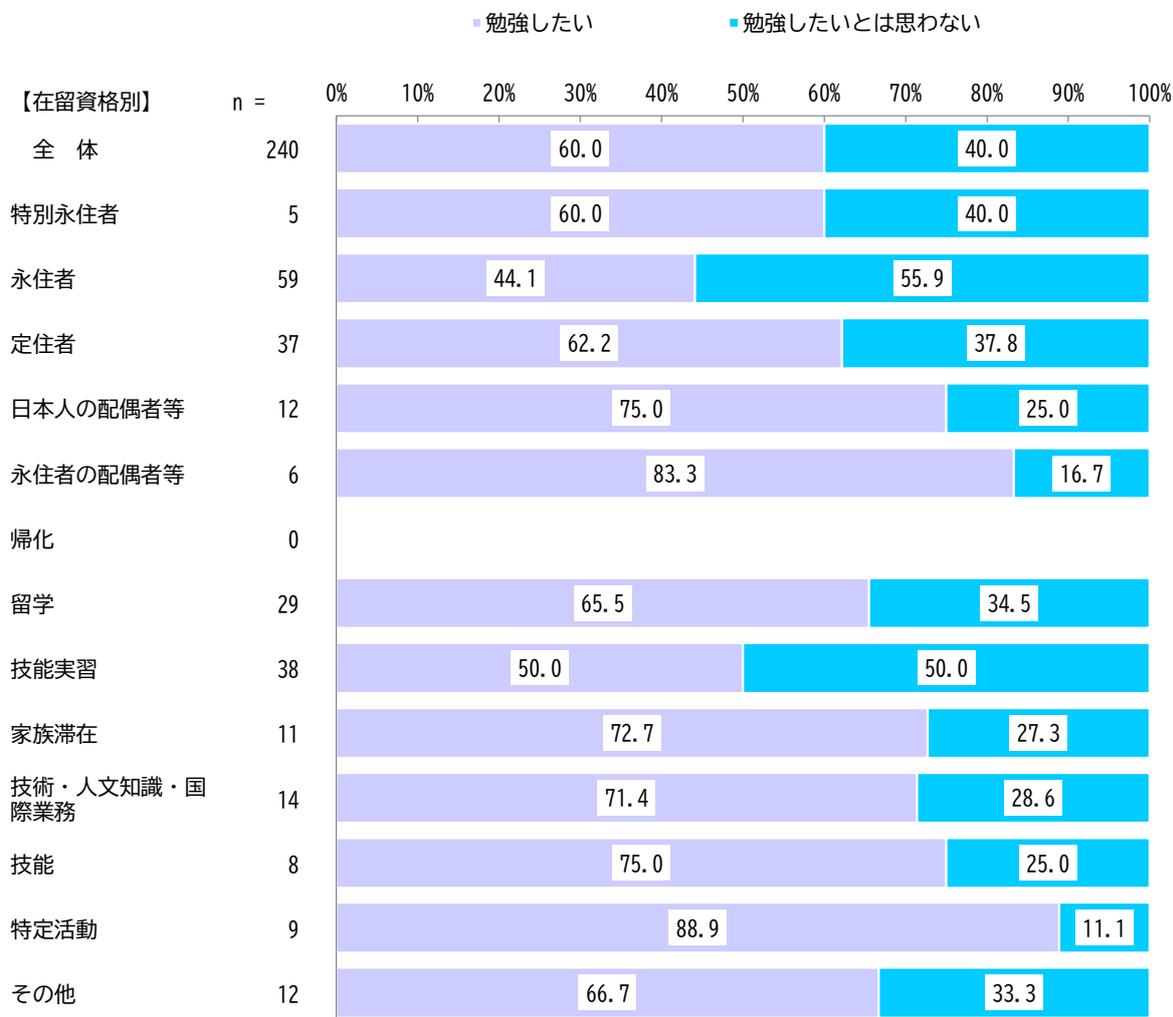
(5) 日本語の勉強意向

[2] 問6 日本語を勉強したいですか。(○は1つ)

「勉強したい」が60.0%、「勉強したいとは思わない」が40.0%となっている。
 出身国別でみると、「勉強したい」は、ブラジルで73.1%と最も高くなっている。



在留資格別で見ると、「勉強したい」は、留学で65.5%と最も高くなっている。一方、「勉強したいとは思わない」は、永住者で55.9%と最も高くなっている。

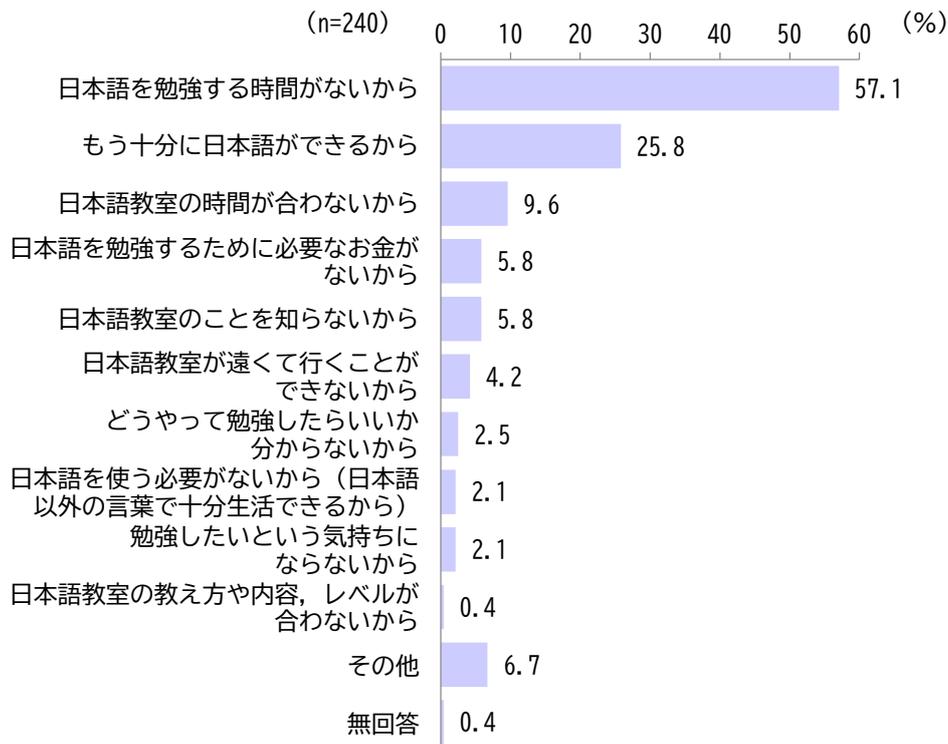


(6) 日本語を勉強していない理由

[2] 問7 今、日本語を勉強していないのはどうしてですか。(いくつ答えてもいいです)

「日本語を勉強する時間がないから」が57.1%で最も多く、次いで、「もう十分に日本語ができるから」が25.8%となっている。

年齢別でみると、「日本語を勉強する時間がないから」は、20代で64.5%、30代で64.0%と高くなっている。「もう十分に日本語ができるから」は、40代で34.6%と最も高くなっている。



		調査数	日本語を勉強する時間がないから	もう十分に日本語ができるから	日本語教室の時間が合わないから	日本語を勉強するために必要なお金がないから	日本語教室のことを知らないから	日本語教室が遠くて行くことができないから	どうやって勉強したらいいかわからないから	日本語を使う必要がないから (日本語以外の言葉で十分生活できるから)	勉強したいという気持ちにならないから	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	その他	無回答
全体		240	57.1	25.8	9.6	5.8	5.8	4.2	2.5	2.1	2.1	0.4	6.7	0.4
年齢別	18~19歳	4	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳	76	64.5	18.4	7.9	2.6	5.3	6.6	3.9	2.6	5.3	1.3	3.9	-
	30~39歳	86	64.0	20.9	9.3	10.5	4.7	3.5	-	-	-	-	10.5	1.2
	40~49歳	52	44.2	34.6	13.5	5.8	9.6	1.9	5.8	3.8	1.9	-	3.8	-
	50~59歳	18	22.2	61.1	11.1	-	5.6	-	-	5.6	-	-	5.6	-
	60~69歳	4	75.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-
	70歳~	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出身国別でみると、「もう十分に日本語ができるから」は、フィリピンで35.6%、「日本語教室の時間が合わないから」は、ブラジルで30.8%と最も高くなっている。

在留資格別でみると、「もう十分に日本語ができるから」は、永住者で44.1%、「日本語を勉強する時間がないから」は、技能実習で78.9%と最も高くなっている。

仕事の有無別でみると、「日本語を勉強するために必要なお金がないから」は、していない(今、見つけている)で17.9%と最も高くなっている。

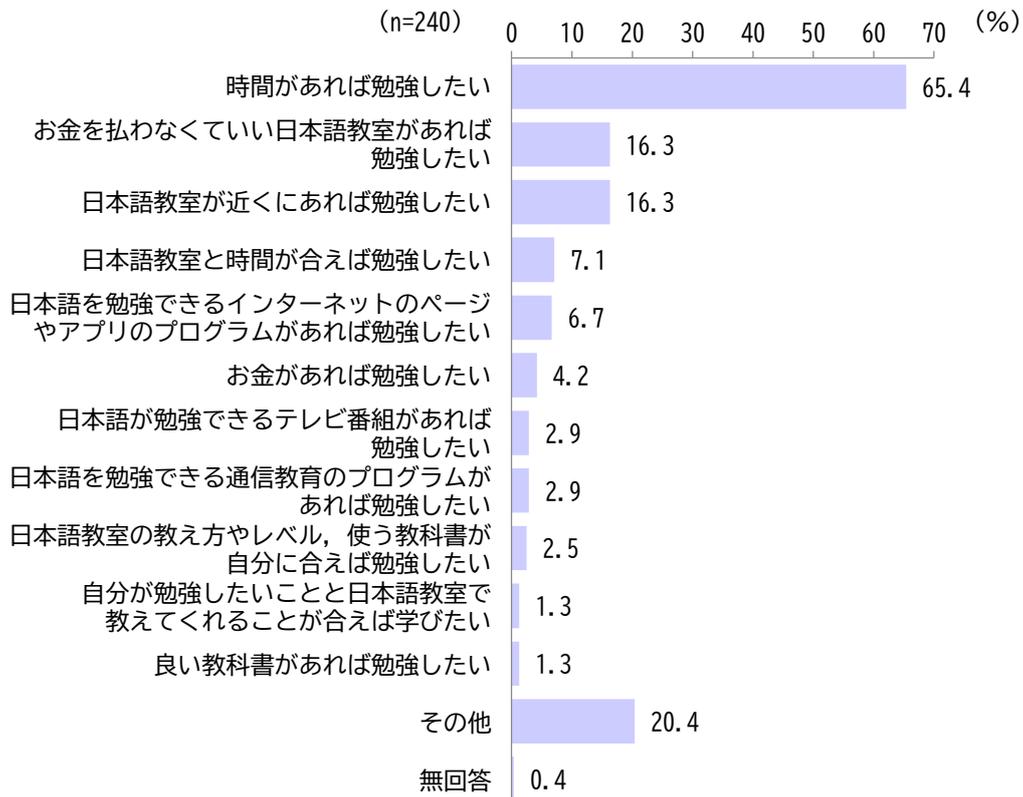
		調査数	日本語を勉強する時間がないから	もう十分に日本語ができるから	日本語教室の時間が合わないから	日本語を勉強するために必要なお金がないから	日本語教室のことを知らないから	日本語教室が遠くて行くことができないから	日本語教室から勉強したらいいかわからないから	日本語以外の言葉で十分生活できるから	日本語を使う必要がないから	勉強したいという気持ちにならないから	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	その他	無回答	(%)	
全体		240	57.1	25.8	9.6	5.8	5.8	4.2	2.5	2.1	2.1	2.1	0.4	6.7	0.4		
出身国別	中国	48	58.3	25.0	8.3	2.1	4.2	2.1	2.1	2.1	2.1	4.2	2.1	8.3	2.1		
	韓国	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	フィリピン	45	55.6	35.6	6.7	6.7	6.7	2.2	2.2	2.2	-	-	-	6.7	-		
	ブラジル	26	38.5	19.2	30.8	11.5	11.5	3.8	3.8	-	-	-	-	3.8	-		
	ベトナム	17	94.1	-	5.9	5.9	-	11.8	5.9	5.9	-	-	-	-	-		
	米国	4	75.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	
	パルー	9	44.4	33.3	22.2	-	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	-		
	タイ	14	64.3	35.7	-	7.1	-	7.1	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	
	ネパール	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	台湾	4	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	インドネシア	18	72.2	16.7	5.6	5.6	5.6	-	5.6	5.6	-	-	-	-	5.6	-	
その他	52	50.0	26.9	7.7	7.7	5.8	3.8	-	1.9	5.8	-	-	-	9.6	-		
在留資格別	特別永住者	5	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-		
	永住者	59	45.8	44.1	6.8	3.4	5.1	1.7	-	3.4	1.7	-	-	5.1	1.7		
	定住者	37	62.2	24.3	5.4	5.4	8.1	5.4	8.1	2.7	-	-	-	-	-		
	日本人の配偶者等	12	58.3	25.0	16.7	-	-	8.3	-	-	-	-	-	8.3	-		
	永住者の配偶者等	6	83.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-		
	帰化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	留学	29	55.2	24.1	3.4	-	3.4	-	3.4	3.4	-	-	-	-	17.2	-	
	技能実習	38	78.9	2.6	13.2	13.2	5.3	10.5	2.6	2.6	5.3	2.6	5.3	5.3	-		
	家族滞在	11	27.3	63.6	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	
	技術・人文知識・国際業務	14	35.7	21.4	21.4	-	14.3	7.1	-	-	14.3	-	-	7.1	-		
	技能	8	62.5	-	12.5	50.0	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-		
特定活動	9	66.7	11.1	11.1	-	22.2	-	-	-	-	-	-	11.1	-			
その他	12	75.0	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-		
仕事の有無別	している	173	60.1	26.6	10.4	4.6	5.8	4.0	2.9	2.3	2.9	0.6	3.5	0.6			
	していない(計)	67	49.3	23.9	7.5	9.0	6.0	4.5	1.5	1.5	-	-	14.9	-			
	していない(今、見つけている)	28	46.4	17.9	10.7	17.9	7.1	10.7	-	-	-	-	14.3	-			
	していない(見つけていない)	39	51.3	28.2	5.1	2.6	5.1	-	2.6	2.6	-	-	15.4	-			

(7) 日本語を勉強したいと思える環境

[2] 問8 どのような環境があれば、日本語を勉強したいですか。(いくつ答えてもいいです)

「時間があれば勉強したい」が65.4%で最も多く、次いで、「お金を払わなくていい日本語教室があれば勉強したい」、「日本語教室が近くにあれば勉強したい」が16.3%となっている。

出身国別でみると、ブラジルでは、「日本語教室が近くにあれば勉強したい」が30.8%、「日本語を勉強できるインターネットのページやアプリのプログラムがあれば勉強したい」が23.1%と高くなっている。



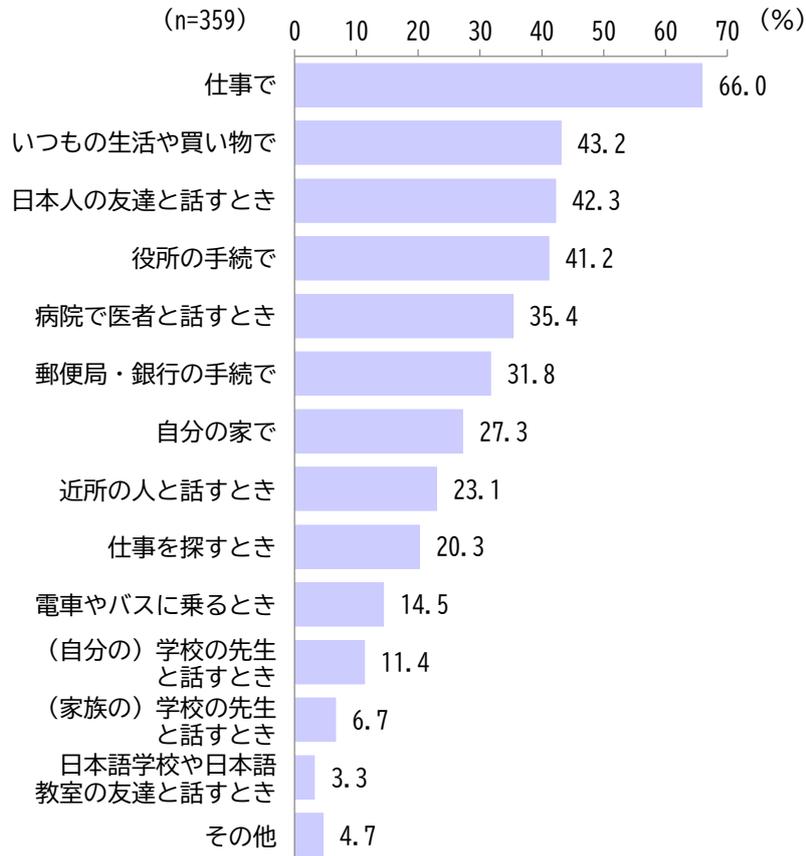
		調査数	時間があれば勉強したい	お金を払わなくていい日本語教室があれば勉強したい	日本語教室が近くにあれば勉強したい	日本語教室と時間が合えば勉強したい	日本語を勉強できるインターネットのページやアプリのプログラムがあれば勉強したい	お金があれば勉強したい	日本語が勉強できるテレビ番組があれば勉強したい	日本語を勉強できる通信教育のプログラムがあれば勉強したい	日本語教室の教え方やレベル、使う教科書が自分に合えば勉強したい	自分が勉強したいことと日本語教室で教えてくれることが合えば学びたい	良い教科書があれば勉強したい	その他	無回答
全体		240	65.4	16.3	16.3	7.1	6.7	4.2	2.9	2.9	2.5	1.3	1.3	20.4	0.4
出身国別	中国	48	68.8	6.3	4.2	4.2	10.4	4.2	4.2	6.3	-	-	-	22.9	2.1
	韓国	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	フィリピン	45	60.0	20.0	17.8	8.9	2.2	6.7	-	-	4.4	-	2.2	24.4	-
	ブラジル	26	57.7	23.1	30.8	15.4	23.1	7.7	7.7	11.5	3.8	-	-	15.4	-
	バトナム	17	82.4	23.5	17.6	11.8	-	-	11.8	5.9	-	-	-	-	-
	米国	4	100.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-
	ペルー	9	66.7	22.2	22.2	-	11.1	-	11.1	-	-	-	-	11.1	-
	タイ	14	78.6	28.6	14.3	-	7.1	-	-	-	7.1	-	-	21.4	-
	ネパール	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	台湾	4	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	インドネシア	18	66.7	16.7	22.2	11.1	5.6	-	-	-	-	-	-	16.7	-
	その他	52	57.7	11.5	17.3	5.8	1.9	5.8	-	-	1.9	3.8	1.9	26.9	-

(8) 日本語を使う場面

[2] 問9 どういうとき、あなたは日本語を使いますか。(いくつ答えてもいいです)

「仕事で」が66.0%で最も多く、次いで、「いつもの生活や買い物で」が43.2%、「日本人の友達と話すとき」が42.3%、「役所の手続で」が41.2%となっている。

年齢別でみると、「仕事で」は、40代で78.5%と最も高くなっている。「日本人の友達と話すとき」は、40代で47.7%、50代で52.0%と高くなっている。



		調査数	仕事で	いつもの生活や買い物	日本人の友達と話すとき	役所の手続で	病院で医者と話すととき	郵便局・銀行の手続で	自分の家で	近所の人と話すととき	仕事を探すととき	電車やバスに乗るとき	(自分の)学校の先生と話すととき	(家族の)学校の先生と話すととき	日本語学校や日本語教室の友達と話すととき	その他
全体		359	66.0	43.2	42.3	41.2	35.4	31.8	27.3	23.1	20.3	14.5	11.4	6.7	3.3	4.7
年齢別	18～19歳	6	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	33.3	-	16.7	-	-	-
	20～29歳	139	59.0	41.0	45.3	36.7	28.1	21.6	19.4	15.8	15.8	14.4	20.9	4.3	4.3	5.8
	30～39歳	119	66.4	43.7	33.6	44.5	37.0	37.0	20.2	25.2	19.3	10.9	5.9	6.7	2.5	5.9
	40～49歳	65	78.5	47.7	47.7	47.7	43.1	41.5	43.1	30.8	29.2	23.1	4.6	7.7	3.1	3.1
	50～59歳	25	64.0	40.0	52.0	36.0	40.0	32.0	68.0	36.0	20.0	16.0	4.0	16.0	4.0	-
	60～69歳	5	100.0	20.0	20.0	40.0	80.0	40.0	20.0	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-
	70歳～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出身国別でみると、「病院で医者と話すととき」は、ブラジルで62.2%と最も高くなっている。「仕事で」は、ベトナムで78.4%、インドネシアで80.8%となっている。

在留資格別でみると、「仕事で」は、技能実習で90.6%、技術・人文知識・国際業務で92.9%となっている。

居住年数別でみると、15年以上では、「仕事で」が85.1%、「日本人の友達と話すととき」が64.2%、「自分の家で」が64.2%と高くなっている。

仕事の有無別でみると、「仕事で」は、しているで85.1%、「仕事を探すとき」は、していない（今、見つけている）で41.9%と最も高くなっている。

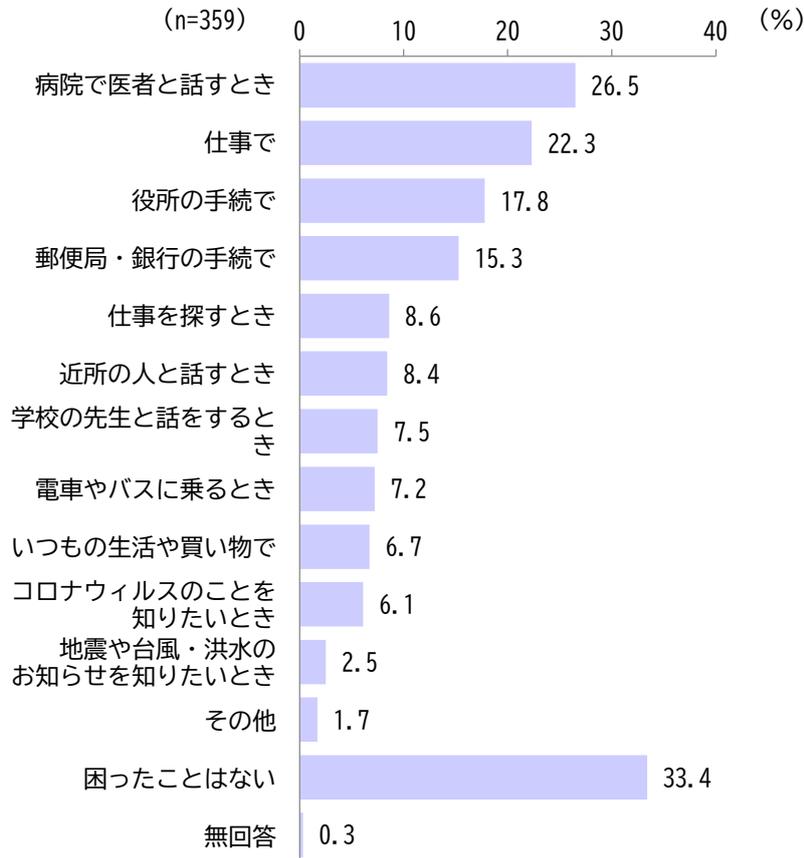
		調査数	仕事で	いつもの生活や買い物	日本人の友達と話すと	役所の手続で	病院で医者と話すと	郵便局・銀行の手続で	自分の家で	近所の人と話すと	仕事を探すとき	電車やバスに乗るとき	（自分の）学校の先生と話すと	（家族の）学校の先生と話すと	日本語学校や日本語教室の友達と話すと	その他	
全体		359	66.0	43.2	42.3	41.2	35.4	31.8	27.3	23.1	20.3	14.5	11.4	6.7	3.3	4.7	
出身国別	中国	79	41.8	49.4	44.3	48.1	36.7	36.7	19.0	16.5	13.9	7.6	31.6	6.3	2.5	7.6	
	韓国	3	33.3	66.7	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	
	フィリピン	56	75.0	41.1	32.1	33.9	33.9	33.9	44.6	19.6	23.2	19.6	7.1	3.6	1.8	7.1	
	ブラジル	37	73.0	43.2	48.6	59.5	62.2	48.6	40.5	37.8	35.1	27.0	5.4	21.6	2.7	-	
	ベトナム	37	78.4	35.1	32.4	27.0	21.6	10.8	16.2	21.6	18.9	10.8	2.7	-	2.7	-	
	米国	11	63.6	54.5	54.5	54.5	45.5	27.3	27.3	36.4	9.1	36.4	27.3	9.1	18.2	9.1	
	ペルー	12	91.7	41.7	41.7	50.0	50.0	25.0	33.3	16.7	41.7	8.3	8.3	8.3	8.3	-	
	タイ	17	82.4	47.1	41.2	52.9	35.3	35.3	35.3	29.4	29.4	17.6	-	-	5.9	-	
	ネパール	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	台湾	6	66.7	33.3	66.7	66.7	50.0	66.7	50.0	50.0	66.7	33.3	33.3	33.3	16.7	-	
	インドネシア	26	80.8	34.6	38.5	34.6	38.5	26.9	19.2	19.2	19.2	15.4	3.8	3.8	-	-	
その他	74	63.5	43.2	44.6	32.4	23.0	27.0	18.9	23.0	12.2	8.1	1.4	5.4	2.7	8.1		
在留資格別	特別永住者	8	37.5	25.0	50.0	25.0	25.0	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5	-	12.5	-	-	
	永住者	71	81.7	53.5	53.5	43.7	53.5	47.9	46.5	40.8	31.0	18.3	12.7	11.3	4.2	-	
	定住者	50	70.0	34.0	28.0	42.0	34.0	28.0	36.0	20.0	16.0	16.0	-	2.0	-	10.0	
	日本人の配偶者等	19	78.9	31.6	36.8	52.6	42.1	47.4	78.9	36.8	31.6	15.8	5.3	15.8	-	-	
	永住者の配偶者等	6	83.3	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	-	-	16.7	-	
	帰化	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	
	留学	62	21.0	51.6	62.9	58.1	37.1	38.7	22.6	14.5	24.2	14.5	41.9	9.7	8.1	14.5	
	技能実習	64	90.6	31.3	31.3	12.5	12.5	10.9	4.7	12.5	3.1	4.7	-	1.6	-	-	
	家族滞在	14	28.6	28.6	42.9	50.0	50.0	21.4	7.1	21.4	28.6	7.1	14.3	-	-	-	
	技術・人文知識・国際業務	28	92.9	71.4	39.3	50.0	35.7	35.7	17.9	17.9	21.4	21.4	3.6	7.1	-	-	
	技能	13	61.5	38.5	46.2	69.2	30.8	30.8	-	23.1	23.1	30.8	15.4	7.7	15.4	7.7	
	特定活動	10	50.0	40.0	30.0	40.0	40.0	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-	-	-	-	
	その他	13	46.2	38.5	7.7	30.8	15.4	15.4	15.4	-	-	7.7	7.7	-	-	7.7	15.4
居住年数別	6か月未満	5	-	40.0	20.0	60.0	-	-	-	-	40.0	-	40.0	20.0	-	20.0	
	6か月以上～12か月未満	30	36.7	53.3	46.7	46.7	26.7	26.7	20.0	13.3	13.3	3.3	36.7	3.3	3.3	3.3	
	1年以上～3年未満	105	62.9	35.2	40.0	29.5	26.7	21.0	12.4	12.4	8.6	9.5	7.6	2.9	1.9	3.8	
	3年以上～5年未満	66	72.7	40.9	36.4	33.3	33.3	30.3	16.7	27.3	22.7	19.7	10.6	9.1	9.1	4.5	
	5年以上～10年未満	52	63.5	48.1	38.5	57.7	36.5	40.4	34.6	23.1	25.0	11.5	9.6	5.8	-	11.5	
	10年以上～15年未満	34	64.7	44.1	23.5	47.1	41.2	26.5	20.6	20.6	26.5	14.7	11.8	5.9	-	5.9	
	15年以上	67	85.1	49.3	64.2	47.8	53.7	50.7	64.2	43.3	31.3	25.4	6.0	11.9	4.5	-	
仕事の有無別	している	248	85.1	43.1	38.7	36.7	34.3	30.6	27.4	24.6	18.5	15.7	4.0	6.5	2.4	2.0	
	していない（計）	111	23.4	43.2	50.5	51.4	37.8	34.2	27.0	19.8	24.3	11.7	27.9	7.2	5.4	10.8	
	していない（今、見つけている）	43	41.9	34.9	44.2	53.5	34.9	30.2	25.6	20.9	41.9	14.0	11.6	4.7	9.3	2.3	
	していない（見つけていない）	68	11.8	48.5	54.4	50.0	39.7	36.8	27.9	19.1	13.2	10.3	38.2	8.8	2.9	16.2	

(9) 日本語ができなくて困ったこと

[2] 問11 下のようなとき、あなたは日本語ができなくて、困ったことがありますか。この1年間に困ったことがあるものを選んでください。(いくつ答えてもいいです)

「病院で医者と話するとき」が26.5%で最も多く、次いで、「仕事で」が22.3%、「役所の手続きで」が17.8%となっている。一方で「困ったことはない」が33.4%となっている。

年齢別で見ると、「病院で医者と話するとき」は、40代で33.8%と最も高くなっている。



		調査数	病院で医者と話するとき	仕事で	役所の手続きで	郵便局・銀行の手続きで	仕事を探すとき	近所の人と話するとき	学校の先生と話をするとき	電車やバスに乗るとき	いつもの生活や買い物で	コロナウィルスのことを知りたいとき	地震や台風・洪水のお知らせを知りたいとき	その他	困ったことはない	無回答
全体		359	26.5	22.3	17.8	15.3	8.6	8.4	7.5	7.2	6.7	6.1	2.5	1.7	33.4	0.3
年齢別	18～19歳	6	-	50.0	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	50.0	-
	20～29歳	139	26.6	24.5	15.1	17.3	11.5	5.8	12.2	10.8	7.2	7.9	1.4	2.2	25.2	0.7
	30～39歳	119	24.4	25.2	21.8	15.1	5.0	11.8	6.7	5.9	5.9	7.6	3.4	0.8	35.3	-
	40～49歳	65	33.8	15.4	16.9	15.4	9.2	6.2	1.5	6.2	9.2	-	1.5	3.1	36.9	-
	50～59歳	25	28.0	4.0	12.0	8.0	-	12.0	4.0	-	4.0	4.0	8.0	-	56.0	-
	60～69歳	5	-	40.0	40.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	40.0	-
70歳～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出身国別でみると、「病院で医者と話すとき」は、ブラジルで40.5%と最も高くなっている。
 在留資格別でみると、「仕事で」は、技能実習で32.8%、技術・人文知識・国際業務で39.3%となっている。

居住年数別でみると、「病院で医者と話すとき」は、6か月以上～12か月未満で36.7%、10年以上～15年未満で38.2%となっている。

仕事の有無別でみると、していない（今、見つけている）では、「役所の手続で」が37.2%、「仕事を探すとき」が30.2%と高くなっている。

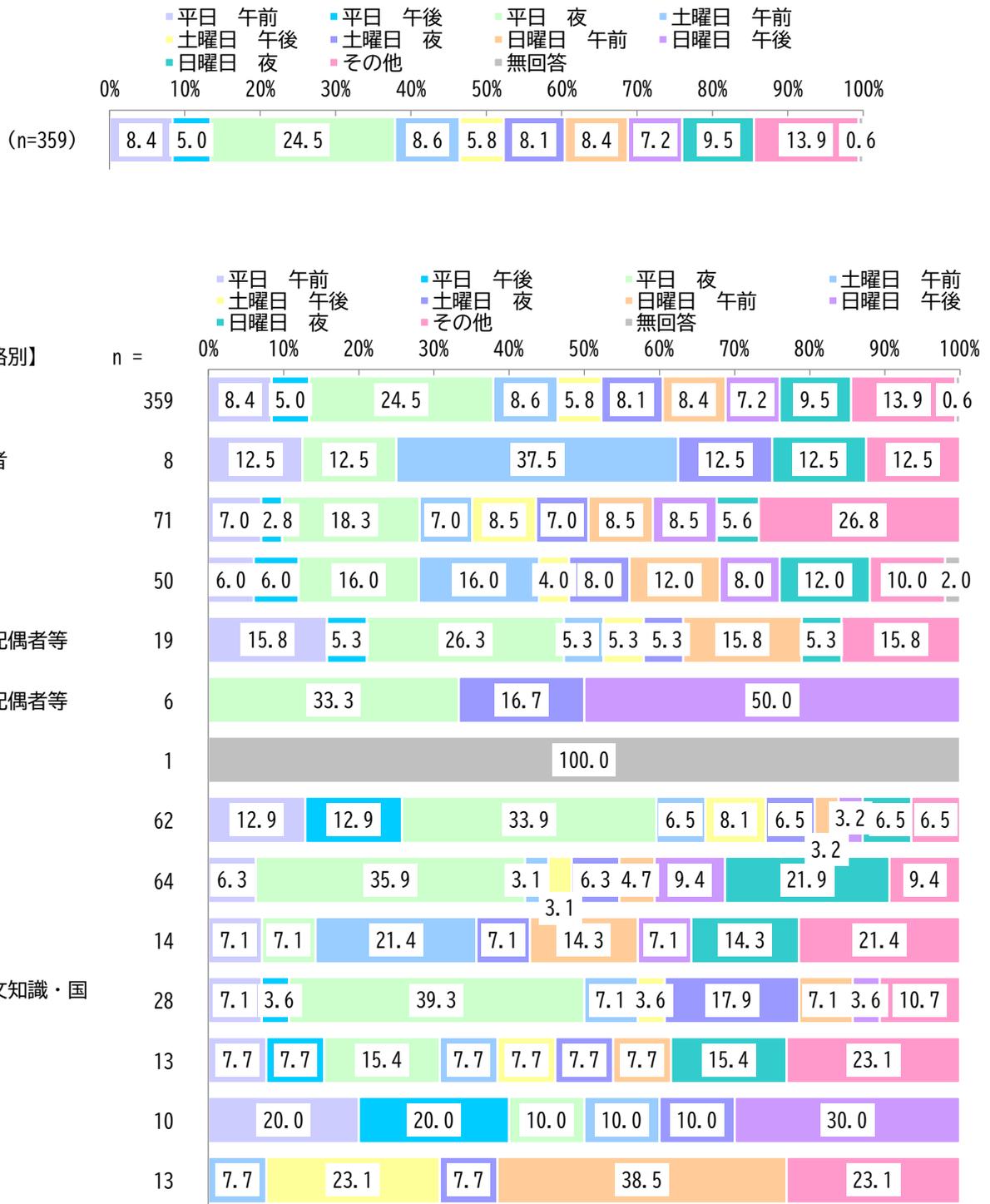
		調査数	病院で医者と話すとき	仕事で	役所の手続で	郵便局・銀行の手続で	仕事を探すとき	近所の人と話すとき	学校の先生と話をするとき	電車やバスに乗るとき	いつもの生活や買い物を知りたいとき	コロナウイルスのことを知りたいとき	地震や台風・洪水のお知らせを知りたいとき	その他	困ったことはない	無回答	(%)	
全体		359	26.5	22.3	17.8	15.3	8.6	8.4	7.5	7.2	6.7	6.1	2.5	1.7	33.4	0.3		
出身国別	中国	79	25.3	20.3	13.9	15.2	7.6	7.6	19.0	3.8	7.6	-	-	3.8	21.5	1.3		
	韓国	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-		
	フィリピン	56	23.2	17.9	28.6	10.7	8.9	8.9	3.6	7.1	12.5	7.1	-	1.8	39.3	-		
	ブラジル	37	40.5	21.6	10.8	21.6	16.2	5.4	13.5	13.5	5.4	5.4	8.1	2.7	35.1	-		
	ベトナム	37	32.4	29.7	10.8	10.8	8.1	-	-	16.2	5.4	13.5	-	-	27.0	-		
	米国	11	18.2	9.1	27.3	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	9.1	45.5	-		
	ペルー	12	25.0	25.0	33.3	16.7	8.3	-	-	-	8.3	-	-	-	33.3	-		
	タイ	17	23.5	35.3	23.5	11.8	5.9	5.9	-	5.9	5.9	5.9	11.8	-	41.2	-		
	ネパール	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	台湾	6	-	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	83.3	-	
	インドネシア	26	26.9	23.1	19.2	30.8	3.8	7.7	3.8	3.8	7.7	11.5	7.7	-	26.9	-		
その他	74	24.3	23.0	16.2	14.9	9.5	16.2	5.4	8.1	4.1	9.5	2.7	-	36.5	-			
在留資格別	特別永住者	8	25.0	25.0	-	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	37.5	-		
	永住者	71	26.8	15.5	21.1	11.3	8.5	8.5	5.6	2.8	4.2	5.6	4.2	2.8	49.3	-		
	定住者	50	24.0	28.0	18.0	10.0	8.0	10.0	4.0	10.0	12.0	10.0	4.0	2.0	36.0	-		
	日本人の配偶者等	19	21.1	26.3	21.1	15.8	5.3	5.3	5.3	-	5.3	-	5.3	-	47.4	-		
	永住者の配偶者等	6	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	33.3	-		
	帰化	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-		
	留学	62	21.0	8.1	11.3	19.4	12.9	12.9	24.2	6.5	4.8	-	-	3.2	24.2	1.6		
	技能実習	64	29.7	32.8	12.5	23.4	1.6	4.7	1.6	9.4	6.3	14.1	1.6	-	21.9	-		
	家族滞在	14	14.3	14.3	21.4	7.1	28.6	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	-	-	50.0	-		
	技術・人文知識・国際業務	28	32.1	39.3	10.7	7.1	7.1	-	-	17.9	10.7	7.1	-	3.6	35.7	-		
	技能	13	53.8	15.4	30.8	23.1	23.1	7.7	-	-	-	-	7.7	-	7.7	-		
居住年数別	特定活動	10	40.0	10.0	50.0	20.0	10.0	20.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0	-		
	その他	13	7.7	30.8	38.5	7.7	-	-	7.7	15.4	15.4	-	-	-	30.8	-		
	6か月未満	5	-	20.0	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	40.0	-		
	6か月以上～12か月未満	30	36.7	16.7	20.0	16.7	20.0	3.3	33.3	10.0	6.7	10.0	3.3	10.0	3.3	-		
	1年以上～3年未満	105	27.6	23.8	15.2	19.0	5.7	14.3	3.8	10.5	7.6	7.6	2.9	-	26.7	1.0		
	3年以上～5年未満	66	31.8	27.3	21.2	19.7	12.1	4.5	4.5	10.6	7.6	7.6	1.5	1.5	18.2	-		
	5年以上～10年未満	52	26.9	28.8	21.2	7.7	7.7	9.6	9.6	5.8	7.7	3.8	1.9	-	40.4	-		
10年以上～15年未満	34	38.2	29.4	26.5	23.5	5.9	11.8	11.8	2.9	5.9	8.8	8.8	-	29.4	-			
15年以上	67	10.4	9.0	9.0	7.5	6.0	3.0	-	-	1.5	1.5	-	3.0	68.7	-			
仕事の有無別	している	248	28.2	27.0	15.3	14.9	5.6	8.1	3.6	6.9	6.5	7.7	3.6	1.2	34.3	-		
	していない（計）	111	22.5	11.7	23.4	16.2	15.3	9.0	16.2	8.1	7.2	2.7	-	2.7	31.5	0.9		
	していない（今、見つけている）	43	25.6	20.9	37.2	16.3	30.2	11.6	14.0	7.0	14.0	2.3	-	-	30.2	-		
	していない（見つけていない）	68	20.6	5.9	14.7	16.2	5.9	7.4	17.6	8.8	2.9	2.9	-	4.4	32.4	1.5		

(10) 日本語の勉強をする良い時間

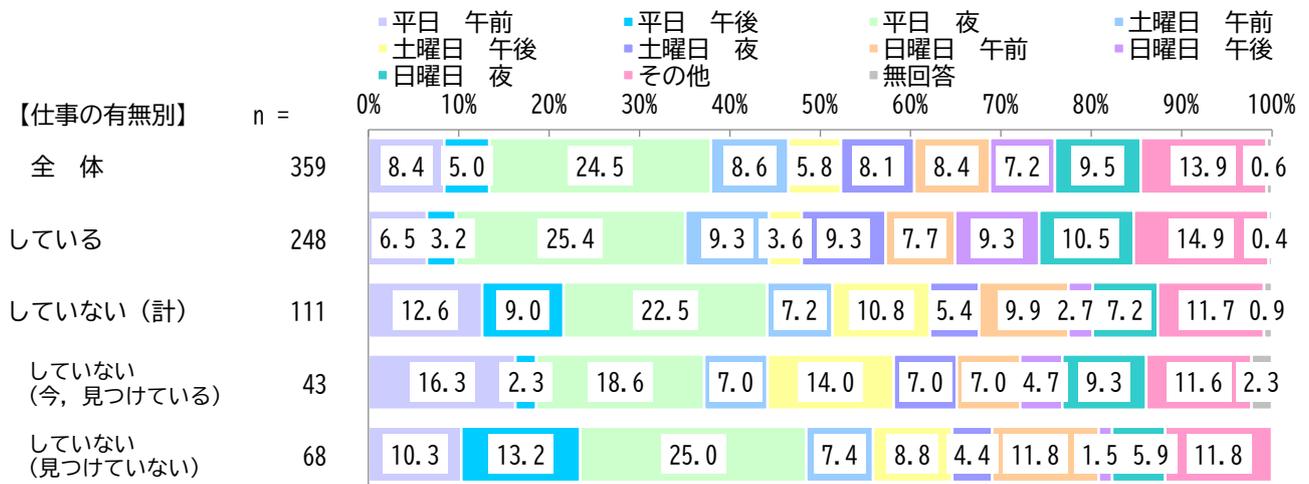
[2] 問17 日本語を勉強するとしたらいつがいいですか。(1番よいところに○)

「平日 夜」が24.5%で最も多く、次いで、「日曜日 夜」が9.5%、「土曜日 午前」が8.6%となっている。

在留資格別でみると、「平日 夜」は、技能実習で35.9%、技術・人文知識・国際業務で39.3%となっている。



仕事の有無別でみると、「平日 夜」は、しているで25.4%，していない（見つけていない）で25.0%、「平日 午前」は、していない（今，見つけている）で16.3%と高くなっている。

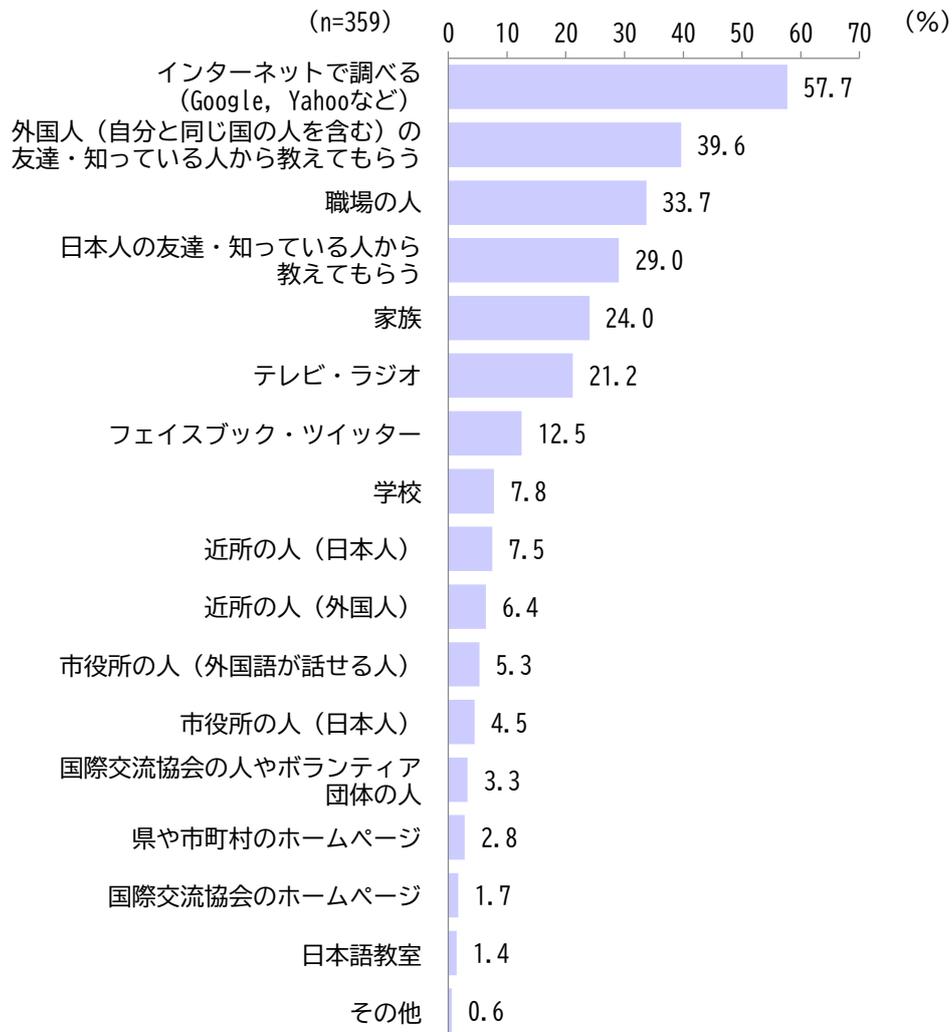


(11) 生活するために知りたいことの入手方法

[2] 問18 生活するために知りたいことは、どうやって知っていますか。

(いくつ答えてもいいです)

「インターネットで調べる (Google, Yahoo など)」が57.7%で最も多く、次いで、「外国人 (自分と同じ国の人を含む) の友達・知っている人から教えてもらう」が39.6%、「職場の人」が33.7%となっている。



出身国別でみると、「日本人の友達・知っている人から教えてもらう」は、中国で40.5%と最も高くなっている。「インターネットで調べる（Google, Yahoo など）」は、ベトナムで78.4%、インドネシアで73.1%となっている。

在留資格別でみると、「インターネットで調べる（Google, Yahoo など）」は、留学で74.2%と最も高くなっている。

居住年数別でみると、「家族」は、15年以上で49.3%と最も高くなっている。

仕事の有無別でみると、「職場の人」は、しているで45.6%、「外国人（自分と同じ国の人を含む）の友達・知っている人から教えてもらう」は、していない（今、見つけている）で53.5%、「インターネットで調べる（Google, Yahoo など）」は、していない（見つけていない）で76.5%と最も高くなっている。

	調査数	インターネットで調べる（Google, Yahoo など）	外国人（自分と同じ国の人を含む）の友達・知っている人から教えてもらう	職場の人	日本人の友達・知っている人から教えてもらう	家族	テレビ・ラジオ	フェイスブック・ツイッター	学校	近所の人（日本人）	近所の人（外国人）	市役所の人（外国人が話せる人）	市役所の人（日本人）	国際交流協会の人やボランティア団体の人	県や市町村のホームページ	国際交流協会のホームページ	日本語教室	その他	
全体	359	57.7	39.6	33.7	29.0	24.0	21.2	12.5	7.8	7.5	6.4	5.3	4.5	3.3	2.8	1.7	1.4	0.6	
出身国別	中国	79	63.3	41.8	25.3	40.5	11.4	21.5	3.8	22.8	8.9	12.7	1.3	1.3	2.5	-	-	-	
	韓国	3	66.7	-	-	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	フィリピン	56	46.4	39.3	33.9	14.3	41.1	19.6	12.5	-	12.5	3.6	3.6	3.6	1.8	1.8	-	1.8	1.8
	ブラジル	37	59.5	40.5	37.8	35.1	35.1	32.4	24.3	10.8	10.8	10.8	21.6	10.8	5.4	8.1	2.7	2.7	-
	ベトナム	37	78.4	35.1	29.7	18.9	13.5	16.2	10.8	-	2.7	-	5.4	-	2.7	8.1	-	2.7	-
	米国	11	54.5	45.5	54.5	45.5	36.4	27.3	18.2	-	-	-	-	-	-	9.1	18.2	9.1	-
	ペルー	12	75.0	33.3	25.0	25.0	33.3	25.0	8.3	-	-	-	-	8.3	8.3	-	8.3	-	-
	タイ	17	35.3	41.2	58.8	35.3	41.2	17.6	-	-	11.8	-	-	11.8	-	-	-	-	-
	ネパール	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	台湾	6	100.0	33.3	-	33.3	33.3	16.7	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-
	インドネシア	26	73.1	42.3	30.8	19.2	11.5	23.1	26.9	3.8	7.7	3.8	-	-	-	-	-	-	-
その他	74	41.9	39.2	39.2	28.4	17.6	16.2	16.2	6.8	4.1	6.8	8.1	6.8	6.8	2.7	2.7	1.4	-	
在留資格別	特別永住者	8	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0	37.5	-	12.5	-	12.5	25.0	-	-	12.5	-	-	
	永住者	71	56.3	38.0	35.2	29.6	46.5	31.0	15.5	1.4	11.3	1.4	7.0	8.5	7.0	2.8	1.4	1.4	
	定住者	50	36.0	42.0	44.0	16.0	32.0	12.0	10.0	-	10.0	6.0	2.0	2.0	-	2.0	-	2.0	2.0
	日本人の配偶者等	19	57.9	21.1	15.8	26.3	68.4	21.1	5.3	5.3	21.1	-	-	5.3	-	-	5.3	-	-
	永住者の配偶者等	6	66.7	50.0	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	-	-
	帰化	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	留学	62	74.2	54.8	4.8	48.4	6.5	17.7	6.5	35.5	6.5	14.5	1.6	3.2	3.2	1.6	3.2	-	-
	技能実習	64	64.1	46.9	50.0	23.4	3.1	18.8	17.2	-	3.1	4.7	3.1	-	-	3.1	-	1.6	-
	家族滞在	14	85.7	35.7	14.3	7.1	50.0	21.4	14.3	-	-	-	7.1	7.1	7.1	-	-	-	-
	技術・人文知識・国際業務	28	60.7	14.3	53.6	32.1	7.1	32.1	25.0	-	3.6	7.1	10.7	7.1	10.7	3.6	-	-	-
	技能	13	38.5	61.5	76.9	38.5	15.4	23.1	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	-	-	15.4	7.7	15.4	-
特定活動	10	50.0	30.0	30.0	20.0	-	20.0	10.0	20.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	
その他	13	46.2	15.4	30.8	23.1	15.4	-	7.7	-	7.7	15.4	23.1	-	-	-	-	-	7.7	
居住年数別	6か月未満	5	40.0	60.0	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	
	6か月以上～12か月未満	30	63.3	36.7	13.3	40.0	10.0	30.0	23.3	33.3	10.0	16.7	10.0	-	3.3	3.3	-	3.3	
	1年以上～3年未満	105	62.9	45.7	34.3	23.8	10.5	11.4	12.4	7.6	4.8	9.5	2.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.0	
	3年以上～5年未満	66	54.5	42.4	40.9	34.8	13.6	19.7	18.2	4.5	4.5	6.1	10.6	6.1	3.0	7.6	1.5	-	
	5年以上～10年未満	52	53.8	44.2	38.5	23.1	38.5	19.2	7.7	7.7	7.7	5.8	-	1.9	3.8	-	1.9	3.8	
	10年以上～15年未満	34	55.9	32.4	38.2	29.4	26.5	26.5	11.8	2.9	5.9	-	11.8	8.8	5.9	-	2.9	-	2.9
15年以上	67	55.2	26.9	31.3	31.3	49.3	32.8	7.5	1.5	14.9	-	3.0	9.0	4.5	3.0	1.5	1.5	1.5	
仕事の有無別	している	248	53.6	36.7	45.6	27.4	23.0	22.2	13.7	2.0	7.7	4.0	6.9	4.8	2.8	3.2	1.6	2.0	0.4
	していない(計)	111	66.7	45.9	7.2	32.4	26.1	18.9	9.9	20.7	7.2	11.7	1.8	3.6	4.5	1.8	1.8	-	0.9
	していない(今、見つけている)	43	51.2	53.5	16.3	30.2	34.9	20.9	16.3	7.0	4.7	2.3	4.7	4.7	2.3	2.3	-	-	-
	していない(見つけていない)	68	76.5	41.2	1.5	33.8	20.6	17.6	5.9	29.4	8.8	17.6	-	2.9	5.9	1.5	2.9	-	1.5

(12) 日本語学習に関する要望・意見等

◇その他、日本語を勉強するために、茨城県にお願いしたいこと・言いたいことなどがあれば教えてください。(自由記述)

147人から、のべ175件の回答が得られた。ここでは、記述内容から各項目へと分類し、その件数を掲載する。なお、一人の記述内容が複数の項目にわたる場合には、複数回答として、それぞれの項目に分類している。

項目	件数
日本語学校・教室が無料(安価)であれば行きたい	38
日本語学校・教室が近くにほしい	30
オンラインで学習したい	18
忙しくて勉強できない	16
日本語学校・教室の内容次第では行きたい	12
交流の機会がほしい	11
日本語学校・教室で希望する時間帯に学習したい	7
日本語学校・教室の内容を充実してほしい	5
動画・TVを見て学習したい	5
勉強方法が知りたい・わからない	4
日本語学校・教室を増やしてほしい	3
勉強したくない	3
職場で学習したい	3
その他	11
特にない	9

第11章 調査票及び単純集計結果

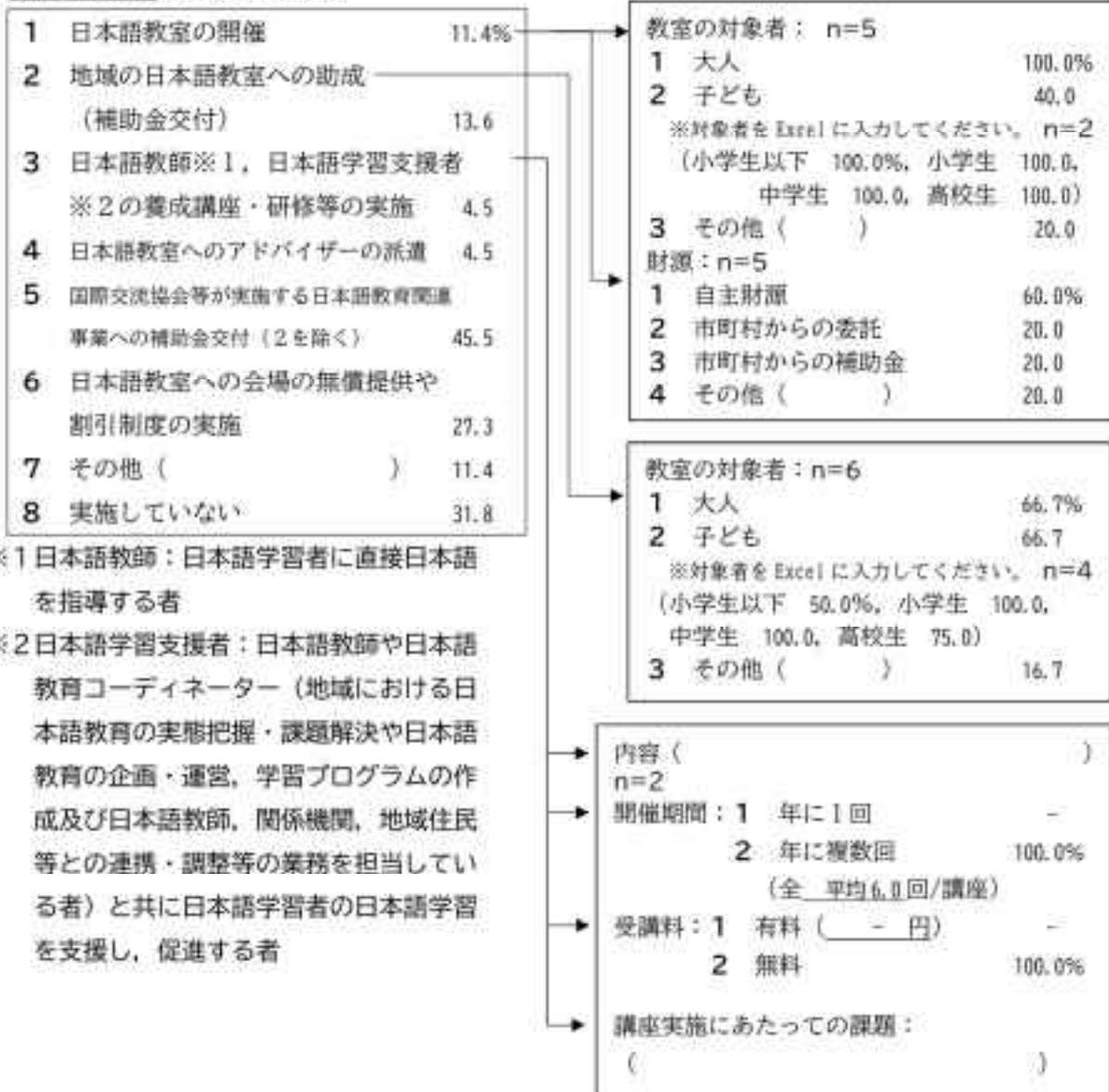
1. 市町村国際化推進主管課アンケート

市町村用アンケート

基数表示のないものは、n=44である。

市町村名	
担当課名	
担当者名	
TEL	
Email	

問1 貴団体では令和2年度に、日本語教育に関し、どのような事業（市町村教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く）を実施（予定を含む）しますか。（あてはまる番号すべてをExcelに入力）



問5 在住外国人に対する日本語教育における市町村の役割にはどのようなものがあると考えますか。(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	日本語教室の設置（直営又は委託）	18.2%
2	教室を設置する団体等への助成金や補助金の交付	65.9
3	教室を設置する団体等への運営サポート（広報、会場確保、指導者の紹介等）	86.4
4	学習希望者への教室や学習方法の紹介	54.5
5	日本語学習支援教室を運営する人材（指導者、ボランティア）の養成	31.8
6	その他（ ）	-

問6 貴市町村における日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあると考えますか。(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	日本語教室がない	22.7%
2	日本語教室が不足している	9.1
3	日本語教育コーディネーターがいない（日本語教育について施策立案できる人材がいないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない）	20.5
4	外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない	61.4
5	市町村、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会・学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない	18.2
6	日本語教育を実施する関係機関の連携ができていない	6.8
7	日本語教育に係る予算を確保できない、または、十分に確保できない	13.6
8	その他（ ）	6.8
9	特になし	11.4

問6で「1」「2」を回答した方は、「問7-1」「問7-2」もお答えください。それ以外の方は問8にお進みください。

問7-1 貴市町村として教室の開設（増設）の必要性と今後の予定について、教えてください。(あてはまる番号1つを Excel に入力) n=14

1	開設（増設）する必要性を認識しており、その予定もある	28.6%
2	開設（増設）する必要性を認識していないが、その予定がある	-
3	開設（増設）する必要性は認識しているが、その予定はない	50.0
4	開設（増設）する必要性を認識しておらず、その予定もない	21.4

問7-1で「3」「4」を回答した方は、その理由を選択してください。(あてはまる番号すべてを Excel に入力) n=10

1	外国人住民が少ない	20.0%
2	地域のボランティアによる日本語教室がある	20.0
3	外国人住民のニーズを把握していない	80.0
4	その他（ ）	20.0

問 7-2 貴市町村が教室開設（増設）を検討すると仮定した場合の課題は何ですか。（あてはまる番号すべてを Excel に入力） n=14

1	開設（増設）するためのノウハウがない	64.3%
2	開設（増設）に必要な人材（指導者等）がいない	85.7
3	外国人住民のニーズが把握できていない	64.3
4	開設（増設）に必要な予算が確保できない	71.4
5	その他（)	-

問 8 地域の日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。重要だと考えているものを4つ、優先順位が高い順に Excel に入力してください。

() 1	外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得	97.7%
() 2	外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得	15.9
() 3	外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得	95.5
() 4	外国人住民の居場所づくり	72.7
() 5	日本人住民と外国人住民の交流	88.6
() 6	日本人住民の地域活動参加の機会提供	29.5
() 7	その他（)	-

問 9 今後の貴市町村における日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのような支援があるとよいと考えていますか。（あてはまる番号すべてを Excel に入力）

1	日本語教室の企画・立案	31.8%	2	関係団体等とのネットワーキング	47.7
3	日本語学習ニーズの把握方法	45.5	4	日本語能力の把握方法	4.5
5	日本語指導者の募集・育成	43.2	6	外国人への教室の周知	29.5
7	日本語教材の選定・活用方法	20.5	8	国の日本語教育政策・法律の紹介	22.7
9	ICT・通信教育等教室以外の学習機会の提供				9.1
10	他教室等の先行事例等の紹介				43.2
11	財政的支援・外部資金の情報提供				36.4
12	自然災害や感染症発生時の情報提供の方法				43.2
13	その他（)				2.3

問 10 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由に Excel に入力してください。（自由記述）

問 11 別添日本語教室一覧を確認し、貴市町村において、一覧に記載のない日本語教室を把握している場合は、団体代表者情報を Excel に入力してください。

No	団体名	代表者名	連絡先		
			住所	電話	メール
1					
2					
3					

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2. 市町村国際交流協会等アンケート

国際交流協会用アンケート

基数表示のないものは、n=21 である。

協会名	
担当部署名	
担当者名	
TEL	
Email	

問1 貴団体では令和2年度に、日本語教育に関し、どのような事業（市町村教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く）を実施（予定を含む）しますか。（あてはまる番号すべてを Excel に入力）

1	日本語教室の開催	57.1%	教室の対象者： n=12 1 大人 83.3% 2 子ども 66.7% ※対象者を Excel に入力してください。 n=8 （小学生以下 37.5%、小学生 100.0、 中学生 100.0、高校生 62.5） 3 その他（ ） 8.3 財源： n=12 1 自主財源 50.0% 2 市町村からの委託 - 3 市町村からの補助金 83.3 4 その他（ ） 8.3 無回答 8.3
2	地域の日本語教室への助成 （補助金交付）	23.8	
3	日本語教師※1、日本語学習支援者 ※2の養成講座・研修等の実施	38.1	
4	日本語教室へのアドバイザーの派遣	9.5	
5	日本語教室への会場の無償提供や 割引制度の実施	23.8	
6	その他（ ）	23.8	
7	実施していない	23.8	

※1日本語教師：日本語学習者に直接日本語を指導する者
 ※2日本語学習支援者：日本語教師や日本語教育コーディネーター（地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語教師、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者）と共に日本語学習者の日本語学習を支援し、促進する者

教室の対象者： n=5	
1 大人	80.0%
2 子ども	60.0
※対象者を Excel に入力してください。 n=3 （小学生以下 66.7、小学生 100.0、 中学生 100.0、高校生 100.0）	
3 その他（ ）	20.0

内容（ n=8 ）	
開催期間：1 年に1回	37.5%
2 年に複数回	62.5
（全 平均4.2回/講座）	
受講料：1 有料（平均1,400.0円）	50.0%
2 無料	87.5
講座実施にあたっての課題： （ ）	

問2 貴団体における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の予算・財源について教えてください。

(1) 令和2年度の日本語教育に関する事業（現時点での増額見込み分も含む）の予算額を Excel に入力してください。

表中の数値は、いずれも平均 ※日本語教育に関する額のみを回答することが困難な市町村は「0千円」として集計

予算総額	平均 317.0 千円
------	-------------

【内訳】

自主財源	市町村からの委託	市町村からの補助金	国からの委託	国からの補助金	その他（ ）
85.3 千円	7.7 千円	249.9 千円	0.0 千円	0.0 千円	0.0 千円

(2) 入管法の改正(H31.4)や日本語教育推進法の施行(R1.6)を受け、今後、日本語教育に関する事業予算の増額や事業の新設を検討していますか。(あてはまる番号1つを Excel に入力)

1 はい 19.0%	2 いいえ 81.0
------------	------------

問3 地域の日本語教室の運営者からの相談にはどのようなものがありますか。

(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1 生徒の募集や告知方法がわからない	-
2 広報をしてほしい	28.6%
3 外国人の学習ニーズを知りたい	9.5
4 学習プログラム（教室運営、講座内容）の作成方法を知りたい	-
5 どのような教材を使えばいいのを知りたい	-
6 日本語教師や日本語学習支援者が不足している	66.7
7 助成金や補助金について知りたい	14.3
8 会場がない	9.5
9 その他（ ）	9.5
10 管内に日本語教室はあるが、特に相談はない	9.5
11 管内に日本語教室がないので、相談はない	14.3

問4 外国人住民（大人）からの日本語教育に関する相談には、どのようなものがありますか。

(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1 日本語教室に通いたいですが、どこに、どんな教室があるのか分からない	66.7%
2 挨拶等の基本的な日本語のコミュニケーションを学びたい	42.9
3 日本語の読み書きを学びたい	57.1
4 日本語能力試験の勉強をしたい	38.1
5 個人的に日本語を教えてくれる人を紹介してほしい	19.0
6 就職のための日本語を学びたい	28.6
7 その他（ ）	14.3
8 日本語教育に関する相談はあまり聞いたことがない	19.0

問5 貴団体には日本語教育コーディネーター、もしくはそのような業務を担当されている方はいますか。(あてはまる番号1つを Excel に入力)

1	日本語教育コーディネーターがいる	9.5%										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">n=2</td> </tr> <tr> <td>雇用形態：1</td> <td>正規雇用 (-) 人 -</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>非正規雇用 (-) 人 -</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>その他 () 100.0%</td> </tr> </table>	n=2		雇用形態：1	正規雇用 (-) 人 -	2	非正規雇用 (-) 人 -	3	その他 () 100.0%			
n=2												
雇用形態：1	正規雇用 (-) 人 -											
2	非正規雇用 (-) 人 -											
3	その他 () 100.0%											
2	日本語教育コーディネーターではないが、類似業務を担当している者がいる	33.3										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">仕事内容：()</td> </tr> <tr> <td colspan="2">n=7</td> </tr> <tr> <td>雇用形態：1</td> <td>正規雇用 (1.3) 人 57.1%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>非正規雇用 (1.5) 人 28.6</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>その他 () 42.9</td> </tr> </table>	仕事内容：()		n=7		雇用形態：1	正規雇用 (1.3) 人 57.1%	2	非正規雇用 (1.5) 人 28.6	3	その他 () 42.9	
仕事内容：()												
n=7												
雇用形態：1	正規雇用 (1.3) 人 57.1%											
2	非正規雇用 (1.5) 人 28.6											
3	その他 () 42.9											
3	いない	57.1										

問6 地域における日本語教育の課題等にはどのようなものがあると認識されていますか。(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	日本語教室がない	19.0%
2	日本語教室が不足している	38.1
3	日本語教育コーディネーターがいない(日本語教育について施策立案できる人材がいないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない)	33.3
4	外国人住民の日本語教育に対するニーズを把握できていない	47.6
5	市町村、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会・学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない	33.3
6	日本語教育を実施する関係機関の連携ができていない	19.0
7	日本語教育に係る予算を確保できない、又は十分に確保できない	19.0
8	その他 ()	28.6
9	特になし	9.5

問7 日本語教育に関して他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)と連携、交流を行っていますか。(あてはまる番号1つを Excel に入力し、1を入力した場合は、その内容も入力してください)

(例) 連携・交流先：市町村多文化共生担当課

連携・交流内容：ボランティア研修会を共同開催

1	連携・交流している	71.4%		
	<table border="1"> <tr> <td>連携・交流先 ()</td> </tr> <tr> <td>連携・交流内容 ()</td> </tr> </table>	連携・交流先 ()	連携・交流内容 ()	
連携・交流先 ()				
連携・交流内容 ()				
2	連携していない	28.6		

問8 地域の日本語教育における国際交流協会等の役割にはどのようなものがあると思われますか。

(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	日本語教室の設置（直営又は委託）	71.4%	
2	日本語教室の設置や運営に係る相談窓口	61.9	
3	助成金や補助金の交付	33.3	
4	日本語教室の運営サポート（会場確保や日本語指導者の紹介等）	57.1	
5	学習者からの相談窓口	71.4	
6	日本語教師からの相談窓口	38.1	
7	日本語教師や日本語学習支援者の養成	61.9	
8	市町村内外の有益な情報やリソースの提供	38.1	
9	市町村内の企業、日本語教育機関、日本語教室等の連携促進	38.1	
10	その他（	）	14.3
11	日本語教育事業は国際交流協会等が行う必要はない	-	

問9 今後、県は地域の日本語教育に係るとどのような施策を実施すべきだと思いますか。

(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援（相談対応、アドバイザー派遣等）	76.2%	
2	日本語教室への経済的支援	52.4	
3	日本語教師、日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実	76.2	
4	日本語教育コーディネーターの養成・紹介	28.6	
5	日本語指導教材の開発・配布	33.3	
6	日本語教室の広報、PR	38.1	
7	他の日本語教室の優良事例（活動内容）等の紹介、情報提供	47.6	
8	他団体等との連携の橋渡し（コーディネート）	28.6	
9	県に専門の日本語教育コーディネーターを配置	19.0	
10	日本語教育推進のための協議会などの設置	19.0	
11	外国人等を雇用する企業への啓発（例：雇用する外国人等及びその家族に対し、日本語学習支援に努める啓発）	47.6	
12	その他（	）	14.3
13	特になし	-	

問 10 問 9 で「4」「8」「9」を選んだ方にお尋ねします。日本語教育コーディネーターに期待する役割を Excel に入力してください。(自由記述)

--

問 11 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由に Excel に入力してください。(自由記述)

--

問 12 別添日本語教室一覧を確認し、貴団体において、一覧に記載のない日本語教室を把握している場合は、団体代表者情報を Excel に入力してください。

No	団体名	代表者名	連絡先		
			住所	電話	メール
1					
2					
3					

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3. 市町村教育委員会アンケート

市町村教育委員会用アンケート

基数表示のないものは、n=44である。

市町村名	
担当部署名	
担当者名	
TEL	
Email	

問1 貴教育委員会が管轄する小・中学校に、令和2年7月1日時点で、日本語指導が必要な児童生徒（以下：在籍児童生徒）が在籍していますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力）

- | | |
|-------|---------------------------|
| 1 はい | 84.1% |
| 2 いいえ | 15.9% → 問4～問7についてお答えください。 |

問2-1 学校の教員等から、在籍児童生徒の保護者とのコミュニケーションにおいて、日本語が伝わらず意思疎通に困っているという声を聞いたことがありますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力） n=37

- | | | | | | |
|------|--------|------|---|---------|---|
| 1 ある | 100.0% | 2 ない | - | 3 分からない | - |
|------|--------|------|---|---------|---|

問2-1で「1 ある」と回答された方は、その内容を下表から選択してください。（あてはまる番号すべてをExcelに入力） n=37

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1 学校からの各種お知らせ（文書）のやり取り | 97.3% |
| 2 欠席連絡等、電話での会話 | 75.7 |
| 3 三者面談・家庭訪問等、対面での会話 | 91.9 |
| 4 PTA活動等、学校行事への参加場面での会話 | 48.6 |
| 5 その他（ | ） 21.6 |

問2-2 在籍児童生徒の保護者から、学校の教員や保護者間でのコミュニケーションにおいて、日本語が分からず意思疎通に困っているという声を聞いたことがありますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力） n=37

- | | | | | | |
|------|-------|------|------|---------|-----|
| 1 ある | 43.2% | 2 ない | 48.6 | 3 分からない | 8.1 |
|------|-------|------|------|---------|-----|

問2-2で「1 ある」と回答された方は、その内容を下表から選択してください。（あてはまる番号すべてをExcelに入力） n=16

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1 学校からの各種お知らせ（文書）のやり取り | 87.5% |
| 2 欠席連絡等、電話での会話 | 62.5 |
| 3 三者面談・家庭訪問等、対面での会話 | 81.3 |
| 4 PTA活動等、学校行事への参加場面での会話 | 81.3 |
| 5 その他（ | ） 12.5 |

問3-1 貴教育委員会で実施している日本語指導が必要な児童生徒の日本語学習支援に関する全ての施策（国・県の施策も含む）について、下表の選択肢から当てはまる番号を回答欄にご記入ください。（あてはまる番号すべてを Excel に入力）

--

問3-2 問3-1で選んだ施策のうち、貴教育委員会が独自に行っている施策について、下表の選択肢から当てはまる番号を回答欄にご記入ください。（あてはまる番号すべてを Excel に入力）

--

〈選択肢〉 括弧外の数値は問3-1、括弧内の数値は問3-2

①	日本語指導目標の提示	13.5% (-)
②	加配教員（日本語指導が必要な児童生徒が一定数在籍する学校に配置される）の配置	48.6 (-)
③	非常勤講師（一校あるいは複数校で日本語指導をする）の配置	- (-)
④	支援員（報酬を得て教員の補助者として日本語指導に協力する者）の配置	37.8 (35.1)
⑤	通訳者の配置	16.2 (13.5)
⑥	上記②～⑤以外の日本語・通訳ボランティア（報酬なしで日本語指導等に協力する者）の配置	32.4 (24.3)
⑦	担当教員対象の日本語学習支援に関する研修	29.7 (13.5)
⑧	支援員（報酬を得て教員の補助者として日本語指導に協力する者）対象の研修	5.4 (5.4)
⑨	日本語指導教材の選定・予算措置	5.4 (5.4)
⑩	日本語指導教材の開発	5.4 (2.7)
⑪	多言語の補助教材の開発	2.7 (-)
⑫	受入れに際し、特別な配慮を行っている学校（拠点校、センター校など）の指定	- (-)
⑬	研究協力校（地域）の指定	- (-)
⑭	就学・教育相談ガイダンス等の実施	24.3 (2.7)
⑮	外国語の保護者用ガイドブック（就学案内等）の作成・配付	16.2 (2.7)
⑯	お知らせ類の多言語化	8.1 (-)
⑰	学校HPの多言語化	2.7 (2.7)
⑱	その他（Excel の回答欄に具体的な内容をご記入ください）	27.0 (24.3)
⑲	現在のところ、行っていない	5.4 (13.5)
	無回答	- (5.4)

問3-3 問3-2で⑥を選択した教育委員会にお聞きします。どちらに依頼していますか。

(あてはまる番号すべてを Excel に入力) n=9

1	国際交流協会へ依頼 (県 - ・市町村 100.0% ※該当を Excel に入力してください)	33.3%
2	地域の日本語教室へ依頼	-
3	民間の日本語学校へ依頼	-
4	教育委員会で公募・登録した人へ依頼	44.4
5	学校が独自に行っている (保護者への依頼等)	22.2
6	その他 ()	33.3

問4 貴教育委員会は、今後、学校における日本語学習支援に関して、地域の人材を活用する予定/希望はありますか。(あてはまる番号1つを Excel に入力)

1	はい	70.5%
2	いいえ	29.5

問5 問4の回答の理由や、具体的な内容について、ご意見を Excel に入力してください。(自由記述)

問6 地域の日本語教育※における学校の役割はどのようなものだとお考えですか。(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	外国人児童生徒が学習に必要な日本語を身につける場	86.4%
2	外国人児童生徒が日常生活に必要な日本語を身につける場	81.8
3	外国人児童生徒が日本の文化を理解する場	77.3
4	外国人児童生徒にとっての問題解決 (日本語の習得、居場所づくり等) の場	65.9
5	外国人児童生徒と地域との接点となる場 (地域との交流の機会提供、地域の支援者紹介等)	43.2
6	外国人住民に生涯学習としての日本語教育を実施する場	20.5
7	地域との連携の充実 (地域での居場所作り・行事参加への支援等)	22.7
8	その他 ()	2.3
9	地域の日本語教育における役割を担う必要はない	-

※地域の日本語教育：外国人等が日本語を習得するために行われる教育その他の活動 (外国人等に対して行われる日本語の普及を図るための活動を含む) をいう。

4. 大学アンケート

大学用アンケート

基数表示のないものは、n=7である。

大学名	
担当部署	
ご担当者	
TEL	
Email	

このアンケートにおいて、用語の定義は以下のとおりです。

- 日本語教師：日本語学習者に直接日本語を指導する者
- 日本語学習支援者：日本語教師や日本語教育コーディネーターと共に日本語学習者の日本語学習を支援し、促進する者
- 日本語教育コーディネーター：地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語学習支援者、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者

問1 現在、貴大学で留学生の日本語教育に携わっている日本語教師数について教えてください。

(あてはまる番号すべてを Excel に入力し、それぞれ人数を入力)

1 常勤日本語教師 (平均2.7) 人	100.0%
2 非常勤日本語教師 (平均6.0) 人	100.0

問2 貴大学で行われている日本語教育の主な目的・目標について、教えてください。(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1 講義・文献の理解向上	71.4%	2 日本文化理解	71.4	3 就職	42.9
4 進学	14.3	5 資格の取得	28.6		
6 その他 ()	28.6	無回答	14.3		

問3 貴大学に在籍する留学生(在留資格「留学」を持つ外国人)についてお尋ねします。国籍別人数を分かる範囲で Excel に入力してください。(令和2年5月1日現在)

表中の数値は、いずれも平均(単位：人)

	留学生日本語別科等	大学	大学院	研究生等※1
中国	0.0	19.6	169	39.3
台湾	0.0	3.7	10.2	4.3
韓国	0.0	13.3	9.8	3.5
ネパール	0.0	0.4	1.0	0.0

	留学生日本語別科等	大学	大学院	研究生等※1
ミャンマー	0.0	0.5	1.7	0.2
タイ	0.0	2.5	3.7	0.7
ベトナム	0.0	4.2	9.7	2.0
フィリピン	0.0	1.7	2.0	0.5
インドネシア	0.0	3.8	12.3	1.0
スリランカ	0.0	0.2	2.7	0.2
ブラジル	0.0	0.7	4.2	0.5
ペルー	0.0	0.3	1.5	0.5
その他国籍※2 ()	0.0	21.5	61.0	26.8

※1：研究生等：科目等履修生，特別聴講生（交換留学生）等，研究生に準じる留学生も含む。

※2：その他国籍：Excel の該当欄にその他の国籍を入力し，その他国籍者の合計人数を入力してください。

問4 貴大学では，令和2年度に，公開講座等で一般の外国人住民（「留学」以外の在留資格を持つ外国人等）が受講できる日本語講座を実施していますか。（あてはまる番号1つを Excel に入力）

1 実施している・実施予定（留学生と同じ講座を受講できる場合も含む）	-
2 実施していない	100.0%

問4で「1 実施している・実施予定」と回答した団体は，「問4-1～問4-2」をお答えください。

問4-1 貴大学で講座・講義を受講する「留学」以外の在留資格を持つ一般の外国人住民の国籍別人数を分かる範囲で Excel に入力してください。（令和2年5月1日現在） n=0

国籍	人数
中国	-人
台湾	-人
韓国	-人
ネパール	-人
ミャンマー	-人
タイ	-人
ベトナム	-人
フィリピン	-人
インドネシア	-人
スリランカ	-人
ブラジル	-人
ペルー	-人
その他国籍※ ()	-人
不明	-人
合計	-人

※その他国籍：Excel の該当欄にその他の国籍を入力し，その他国籍者の合計人数を入力してください。

問4-2 一般の外国人住民（「留学」以外の在留資格を持つ外国人等）が受講できる日本語講座には、どのような講座がありますか。Excelに入力してください。（留学生と同じ講座を受講できる場合は、その講座も入力願います。）

（令和2年度開講（予定）の講座）

No	講座名	内容	開催形態	開催期間
例	●●講座等	日本語能力試験対策、会話力養成、作文力養成、就職面接対策等	土曜●時～●時等	3か月間、1年等
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

問5 貴大学において、現在（令和2年度）日本語教師を養成するための講座を実施していますか。（あてはまる番号1つをExcelに入力）

1	実施している → 問5-1、問5-2に回答後、問6へ	42.9%
2	現在実施していないが、今後、実施を検討する → 問5-1に回答後、問6へ	14.3
3	現在実施していないが、過去に実施していた → 問5-2に回答後、問6へ	-
4	今までも実施しておらず、今後も実施の予定はない → 問6へ	42.9

*問5で「1 実施している」「2 実施を検討する」と回答した方にお聞きします。

問5-1 どのような日本語教員を養成したいと考えていますか。Excelに入力してください。（自由記述）

*問5で「1 実施している」「3 過去に実施していた」と回答した方にお聞きします。

問5-2 令和2年3月31日までに、貴大学において、日本語教員養成課程を修了した人数（把握できる範囲でおおよその数）を教えてください。（あてはまる番号1つをExcelに入力し、それぞれ人数を入力） n=3

1	修了生がいる 約 平均299.0人 → うち、令和元年度修了生 平均16.3人	100.0%
2	不明	-
3	まだ修了生がいない	-

問6 貴大学における留学生に対する日本語教育の課題があれば Excel に入力してください。(自由記述)

問7 現在又は過去に、日本語教育に関して他の団体（県、市町村、国際交流協会、企業、NPO、日本語学校、日本語教室等）と連携、交流を行っていますか。(あてはまる番号1つを Excel に入力)

1 行っている（団体名： _____ ）	42.9%
2 行っていない	57.1

問7で「1 行っている」と回答した団体は、「問7-1」「問7-2」をお答えください。

問7-1 他団体との連携・交流に関して大学又は教職員の関わりを教えてください。
(あてはまる番号すべてを Excel に入力) n=3

1 事業企画	33.3%	2 事業運営	33.3	3 指導者養成	33.3	4 教材作成	-
5 カリキュラム作成	-	6 学習者紹介	33.3	7 日本語能力判定	-		
8 外国人に日本語を教える講師の派遣・紹介	-						
9 日本語の教え方を教える講師の派遣・紹介	33.3	10 その他（ _____ ）					66.7

問7-2 地域活動に関する留学生の関わりを教えてください。(あてはまる番号すべてを Excel に入力) n=3

1 ボランティア活動への参加	66.7%	2 イベント等への参加	100.0
3 国際理解講座等の講師	100.0	4 通訳・翻訳	-
5 その他（ _____ ）	-		

問8 日本語教育に関して、今後、他の団体（県、市町村、国際交流協会、企業、NPO、日本語学校、日本語教室等）から連携や交流、もしくは何らかの協力依頼があった場合、応じることは可能ですか。(あてはまる番号1つを Excel に入力)

1 可能	14.3%
2 内容によっては可能	57.1
3 あまり連携や交流、協力については考えていない	14.3
4 不可	14.3

問9 地域の日本語教育※における大学の役割にどのようなものがあるとお考えですか。(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	留学生が確実に学習研究に必要な日本語能力を身につけることができる場	85.7%
2	留学生が日常生活に必要な日本語を身につける場	57.1
3	留学生と地域社会との接点となる場	57.1
4	留学生・外国人住民の情報交換の場	-
5	留学生・外国人住民が日本の文化を理解する場	28.6
6	実践的な日本語教師を育成する場	42.9
7	専門家としての日本語教師を育成する場	28.6
8	地域における日本語教育人材を育成する場	42.9
9	外国人住民に生涯学習としての日本語教育を実施する場	-
10	その他()	28.6
11	地域の日本語教育における役割を担う必要はない	-

※地域の日本語教育：外国人等が日本語を習得するために行われる教育その他の活動（外国人等に対して行われる日本語の普及を図るための活動を含む。）をいう。

問10 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと考えますか。

(あてはまる番号すべてを Excel に入力)

1	日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援（相談対応、アドバイザー派遣等）	42.9%
2	日本語教室への経済的支援	57.1
3	日本語教師、日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実	57.1
4	日本語教育コーディネーターの養成・紹介	42.9
5	日本語指導教材の開発・配布	28.6
6	日本語教室の広報、PR	57.1
7	他の日本語教室の優良事例（活動内容）等の紹介、情報提供	42.9
8	他団体等との連携の横渡し（コーディネート）	57.1
9	県に専門の日本語教育コーディネーターを配置	42.9
10	日本語教育推進のための協議会などの設置	42.9
11	外国人等を雇用する企業への啓発（例：雇用する外国人等及びその家族に対し、日本語学習支援に努める啓発）	71.4
12	その他()	28.6
13	特になし	-

問 11 貴大学による日本語教育に関する事業の内容が分かるウェブサイトがありますか。(あてはまる番号1つを Excel に入力し、1 を入力した場合は、その URL も入力してください。)

1 ある → URL ()	28.6%
2 ない		71.4

問 12 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由に Excel に入力してください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

5. 日本語学校アンケート

日本語学校用アンケート

基数表示のないものは、n=4である。

学校名	
ご担当者名	
TEL	
Email	

問1 現在、貴校に登録されている日本語教師数について教えてください。(人数を Excel に入力)

1 常勤日本語教師 (平均3.3) 人	100.0%
2 非常勤日本語教師 (平均4.5) 人	100.0

問2 貴校で行われている日本語教育の主な目的・目標について教えてください。(あてはまる番号すべてを Excel に入力し、それぞれ人数を入力)

1 日本の大学・短期大学・専門学校等への進学準備	100.0%
2 日本での就職・就業の準備 (技能実習生・特定技能ビザ取得等)	75.0
3 短期間での日本語能力向上	25.0
4 日本文化体験	25.0
5 その他 ()	-

問3 貴校の日本語課程 (コース) の対象及び対象者数について Excel に入力してください。
(全講座合計 / 令和2年2月末現在)

1 留学生 (在留資格「留学」を持つ外国人) (平均50.3) 名	100.0%
2 定住者・永住者 (平均1.5) 名	50.0
3 短期滞在者 (-) 名	-
4 技能実習生 (-) 名	-
5 その他 (対象: , 平均3.0名)	25.0

問4 在留資格が「留学」である外国人についてお尋ねします。国籍別人数を分かる範囲で Excel に入力してください。(令和2年2月末現在) 表中の数値は、いずれも平均

国籍	人数
中国	2.0 人
台湾	0.3 人
韓国	0.7 人
ネパール	10.5 人
ミャンマー	0.0 人
タイ	0.5 人
ベトナム	30.5 人
フィリピン	0.3 人
インドネシア	0.5 人
スリランカ	3.8 人
ブラジル	0.0 人
ペルー	0.0 人
その他国籍※ ()	1.8 人

※その他国籍：Excel の該当欄にその他の国籍を入力し、その他国籍者の合計人数を入力してください。

問5 貴校では、令和元年度に、「留学」以外の在留資格を持つ外国人等が受講できる日本語講座を実施しましたか。(あてはまる番号1つを Excel に入力)

1 実施した(留学生と同じ講座を受講できる場合も含む)	100.0%
2 実施していない	-

問5で「1 実施した」と回答した方は、「問5-1」「問5-2」をお答えください。

問5-1 貴校に通う「留学」以外の在留資格を持つ外国人等の国籍別人数を分かる範囲で Excel に入力してください。(令和元年度実績) 表中の数値は、いずれも平均

国籍	人数
中国	1.0人
台湾	0.0人
韓国	0.0人
ネパール	0.0人
ミャンマー	0.0人
タイ	0.0人
ベトナム	3.0人
フィリピン	0.0人
インドネシア	0.5人
スリランカ	0.0人
ブラジル	0.0人
ペルー	0.0人
その他国籍※()	1.5人
不明	0.0人
合計	2.5人

※その他国籍：Excel の該当欄にその他の国籍を入力し、その他国籍者の合計人数を入力してください。

問5-2 「留学」以外の在留資格を持つ外国人等が受講できる日本語講座にはどのような講座がありますか。Excel に入力してください。(留学生と同じ講座を受講できる場合は、その講座も入力願います。)

(令和2年度開講(予定)の講座)

No	内容	開催期間
例	日本語能力試験対策、会話力養成、作文力養成、就職面接対策等	3か月間、1年等
1		
2		
3		
4		
5		

問6 貴校において、現在（令和2年度）日本語教師を養成するための講座を実施していますか。
（あてはまる番号1つを Excel に入力）

1 実施している → 問6-1, 問6-2へ	-
2 現在実施していないが、今後、実施を検討する → 問6-1へ	25.0%
3 現在実施していないが、過去に実施していた → 問6-2へ	-
4 今までも実施しておらず、今後も実施の予定はない	75.0

*問6で「1 実施している」「2 実施を検討する」と回答した方にお聞きします。

問6-1 日本語教師に求める能力や姿勢などについて教えてください。（あてはまる番号3つまでを Excel に入力） n=1

1 日本語教師の資格	-	2 日本語の教授能力	-
3 日本語を教えた経験の豊富さ	-	4 日本語に関する専門的な知識	100.0%
5 外国人や多文化共生についての知識	-	6 日本語以外の語学力	-
7 外国人と信頼関係を築ける態度	100.0		
8 オンライン授業へ対応できるITスキル	100.0		
9 熱心さ	-	10 協調性	-
11 その他（		）	-

*問6で「1 実施している」「3 過去に実施していた」と回答した方にお聞きします。

問6-2 令和2年3月31日までに、貴校において、日本語教師を養成するための講座を修了した人数（把握できる範囲でおおよその数）を教えてください。（あてはまる番号1つを Excel に入力し、それぞれ人数を入力） n=0

1 修了生がいる 約 -人 → うち、令和元年度修了生 -人	-
2 不明	-
3 まだ修了生がない	-

問7 貴校における日本語教育の課題等があれば Excel に入力してください。（自由記述）

問 8 現在又は過去に他の団体（県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等）との関わりがありますか。（あてはまる番号1つを Excel に入力）

1	ある（団体名： _____ ）	50.0%
2	ない	50.0

問 8 で「1 ある」と回答した団体は、「問 8-1」「問 8-2」をお答えください。

問 8-1 日本語教育に関する、学校又は教職員の関わりを教えてください。（あてはまる番号すべてを Excel に入力） n=2

1	事業企画	-	2	事業運営	50.0%	3	指導者養成	-	4	教材作成	50.0
5	カリキュラム作成	50.0	6	学習者紹介	-	7	日本語能力判定	50.0			
8	外国人に日本語を教える講師の派遣・紹介										-
9	日本語の教え方を教える講師の派遣・紹介										50.0
10	その他（ _____ ）										50.0

問 8-2 地域活動に関する、外国人学生の関わりを教えてください。（あてはまる番号すべてを Excel に入力） n=2

1	ボランティア活動への参加	50.0%	2	イベント等への参加	100.0
3	国際理解講座等の講師	-	4	通訳・翻訳	-
	5 その他（ _____ ）				-

問 9 日本語教育に関して、今後、他の団体（県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等）から連携や交流、もしくは何らかの協力依頼があった場合、応じることは可能ですか。（あてはまる番号1つを Excel に入力）

1	可能	-
2	内容によっては可能	100.0%
3	あまり連携や交流、協力については考えていない	-
4	不可	-

問 10 地域の日本語教育における日本語学校の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。（あてはまる番号すべてを Excel に入力）

1	外国人が確実に日本語能力を身につけることができる場	50.0%
2	外国人が日常生活に必要な日本語を身につける場	75.0
3	外国人と地域社会との接点となる場	50.0
4	外国人の情報交換の場	25.0
5	外国人が日本の文化を理解する場	100.0
6	実践的な日本語を指導できる日本語教師を育成	25.0
7	その他（ _____ ）	-
8	地域の日本語教育における役割を担う必要はない	-

問 11 貴校における日本語教育に関する事業内容が分かるウェブサイトがありますか。(あてはまる番号1つを Excel に入力し、1 を入力した場合は、その URL も入力してください)

1	ある → URL ()	100.0%
2	ない	-

※ウェブサイトがない場合は、貴校が実施する日本語教育に関する事業の報告書やパンフレットがありましたら、茨城県女性活躍・県民協働課までご送付いただけますと幸いです。

【送付先】〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978 番 6 茨城県女性活躍・県民協働課 宛て

問 12 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由に Excel に入力してください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

6. 日本語教室アンケート

日本語教室用アンケート

基数表示のないものは、n=31である。

団体名	
記入者名	
TEL	
Email	

◆貴団体について御記入ください。

*選択肢がある箇所については、あてはまる番号に○をつけてください。

*人数、予算は分かる範囲でおおよその数値を御記入ください。

団体名							
住所（代表者住所でも可）	〒						
TEL / FAX	TEL:				/ FAX:		
Email							
URL							
代表者氏名							
調査票記入者氏名							
日本語教育コーディネーター ^(※1) 数	平均0.64人（内訳：有償 平均0.0人）						
日本語学習支援者 ^(※2) 登録者数	合計 平均15.1人 内訳：1 日本語学習支援者 平均15.17人 2 事務員等 平均0.24人						
日本語学習支援者の年代別人数	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明
	4.3%	6.1	9.2	13.1	42.3	25.0	0.0
日本語学習支援者の日本語支援経験年数	1年 以下	2～5 年	6～10 年	11～15 年	16～20 年	21年 以上	不明
	13.7%	24.9	16.0	17.0	6.7	8.6	13.0
日本語教育有資格者数 ^(※3)	平均4.08人						
日本語学習支援者の謝金	1 有償				6.5%		
	2 無償				93.5		
教室の運営費	【予算】 1 大人向け事業の予算額（平均363.6）千円 16.1% 2 子ども向け事業の予算額（-）千円 - ※市町村教育委員会委託等により学校教育課程内で実施される事業は除く 3 上記区別がない場合 全体予算額（平均167.1）千円 64.5 無回答 19.4						

教室の運営費	【財源】(あてはまる番号すべてに○)	
	1 国からの委託	-
	2 国からの補助金	-
	3 市町村からの委託	12.9%
	4 市町村からの補助金	41.9
	5 国際交流協会からの助成金	22.6
	6 会員会費(平均1333.33円/人・年)	54.8
	7 学習者からの授業料徴収(平均2304.55円/人・年)	35.5
	8 学習者からの教材費徴収(平均300.0円/人・年)	16.1
	9 企業などからの寄付	19.4
	10 その他()	9.7
	無回答	3.2
学習者募集方法 (あてはまる番号すべてに○)	1 教室のインターネット媒体(HP, ブログ, SNS)	38.7%
	2 自治体の広報やHP	74.2
	3 外国人向けのスーパーやお店にチラシを配架	6.5
	4 外国人向けインターネットサイトに情報提供	-
	5 チラシ配布	29.0
	6 学習者からの紹介	74.2
	7 口コミ	61.3
	8 その他()	16.1
教室の活動を紹介するウェブサイト, SNS	1 有り(URL:)	48.4%
	2 無し	45.2
	無回答	6.5

※1：日本語教育コーディネーター

地域における日本語教育の実態把握・課題解決や日本語教育の企画・運営、学習プログラムの作成及び日本語学習支援者、関係機関、地域住民等との連携・調整等の業務を担当している者

※2：日本語学習支援者

日本語学習者に直接日本語を指導する者やそのサポートをする者

※3：日本語教育有資格者(日本語教育機関の告示基準「出入国在留管理庁」より抜粋)

下記①～⑤のいずれかに該当する人

①大学(短期大学を除く。以下この号において同じ。)又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者

②大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者

③公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者

④学士の学位を有し、かつ、日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420単位時間以上受講し、これを修了した者

⑤その他①から④までに掲げる者と同等以上の能力があると認められる者

問1 教室活動の目的について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

※教室が複数ある場合は、() に該当する教室数を記入してください。

1	外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得	(合計 17 室)	100.0%
2	外国人住民の日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得	(合計 18 室)	71.0
3	外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得	(合計 24 室)	58.1
4	外国人住民の居場所づくり	(合計 17 室)	48.4
5	日本人住民と外国人住民の交流	(合計 11 室)	58.1
6	日本人住民の地域活動参加の機会提供	(合計 4 室)	25.8
7	その他	(合計 2 室)	3.2

問2 地域の日本語教室に求められている役割とはどのようなものだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	外国人が身近に日本語を学べる場	93.5%
2	外国人と地域社会との接点となる場	71.0
3	外国人同士の情報交換の場	58.1
4	外国人と日本人の情報交換の場・外国人の情報収集の場	61.3
5	外国人が日本の文化を理解する場	80.6
6	外国人にとっての問題解決の場	41.9
7	外国人の居場所の提供	58.1
8	日本語教室のボランティアなどの活躍や経験を積む場	45.2
9	日本人が外国人の文化や生活を理解する場	61.3
10	その他 ()	6.5

問3 日本語学習支援者の人材育成のために教室として行っていることがあれば教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1	講座の開催	41.9%																											
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">内容 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">n=13</td> </tr> <tr> <td>開催期間:</td> <td>1 年に1回</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 年に複数回 (全 平均 8.4 回/講座)</td> <td>53.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無回答</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>受講料:</td> <td>1 有料 (平均 2500.0 円)</td> <td>15.4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 無料</td> <td>69.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無回答</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td colspan="3">講座実施にあたっての課題: ()</td> </tr> </table>	内容 ()			n=13			開催期間:	1 年に1回	38.5%		2 年に複数回 (全 平均 8.4 回/講座)	53.8		無回答	7.7	受講料:	1 有料 (平均 2500.0 円)	15.4%		2 無料	69.2		無回答	15.4	講座実施にあたっての課題: ()			
内容 ()																													
n=13																													
開催期間:	1 年に1回	38.5%																											
	2 年に複数回 (全 平均 8.4 回/講座)	53.8																											
	無回答	7.7																											
受講料:	1 有料 (平均 2500.0 円)	15.4%																											
	2 無料	69.2																											
	無回答	15.4																											
講座実施にあたっての課題: ()																													
2	県国際交流協会の日本語教育アドバイザー派遣事業の活用	38.7																											
3	市町村や市町村国際交流協会が開催する養成講座を活用	51.6																											
4	その他 ()	22.6																											
5	実施していない	16.1																											
	無回答	3.2																											

問4 日本語学習支援者のスキルアップのためであると望ましいと思うものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	スタッフ研修用の教材、マニュアル	64.5%
2	行政又は国際交流協会主催の研修	58.1
3	他団体等（他日本語教室、大学、日本語学校、専門家等）との連携や他団体等からの支援（例：情報共有、講師やアドバイザーの派遣等）	51.6
4	その他（)	22.6
5	特になし	6.5

問5 日本語学習支援者に求める能力や姿勢などについて教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1	日本語学習支援者の資格	22.6%
2	日本語を教えた経験の豊富さ	58.1
3	外国人や多文化共生についての知識	64.5
4	日本語以外の語学力	16.1
5	外国人との信頼関係が築ける態度	90.3
6	熱心さ	74.2
7	オンライン授業等に対応できるITスキル	22.6
8	その他（)	19.4
9	特になし	-

問6 日本語指導で困っていることはありますか。(自由記述)

(例) 学習者の日本語レベルに格差があり、どのように指導してよいか分からない。

問7 日本語教室の運営で困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	運営費用（予算）の確保ができない	6.5%
2	教室の会場の確保が難しい	19.4
3	日本語教育コーディネーターがいない	16.1
4	日本語学習支援者の不足、確保が困難	61.3
5	日本語学習支援者等の人材育成ができない	41.9
6	学習者のニーズが把握できていない	12.9
7	日本語教室の企画・運営方法が分からない	3.2
8	十分な広報ができない	9.7
9	技能実習生の申し込みが増加し、その他在留資格の外国人の受入れが困難	3.2
10	技能実習生等受入れ企業・組合との連携が困難	19.4
11	その他（)	19.4
12	特になし	6.5
	無回答	3.2

問8 貴団体に日本語学習支援者として入会する際、日本語教育の経験等、条件にしていることはありますか。(〇は1つ)

1 ある 例：ボランティア養成講座を受講したことがある など	54.8%
(ある場合の条件：)	
2 ない	45.2

問9 日本語教育に関して他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)と連携、交流を行っていますか。(〇は1つ)

(例) 連携・交流先：他の日本語教室 連携・交流内容：情報交換・イベントの合同開催

1 連携・交流している	71.0%
連携・交流先 ()	
連携・交流内容 ()	
2 連携していない	29.0

問10 自治体や企業から依頼があった場合に、日本語学習支援者の派遣は可能ですか。(〇は1つ)

1 はい →問10-1へ 41.9%	2 いいえ →問10-2へ 58.1
--------------------	--------------------

問10で「1 はい」と回答された方は、「問10-1」にお答えください。

問10-1 問10で「1 はい」と答えた方にお尋ねします。派遣する場合は、どのような条件が必要でしょうか。(自由記述)

問10で「2 いいえ」と回答された方は、「問10-2」にお答えください。

問10-2 問10で「2 いいえ」と答えた方にお尋ねします。理由をご教示ください。(自由記述)

問11 今後、教室を発展させたいと思いますか。(〇は1つ)

1 はい 62.7%	2 いいえ (現状維持) →問12へ 22.6	無回答 9.7
------------	-------------------------	---------

問11で「1 はい」と回答された方は、「問11-1」にお答えください。

問11-1 今後、教室をどのようにしていきたいですか。(あてはまる番号すべてに〇) n=21

1 学習者数を増やしたい	28.6%
2 学習者の日本語能力をアップさせたい	57.1
3 日本語学習支援者を増やしたい	90.5
4 日本語学習支援者のレベルアップを図りたい	66.7
5 講座内容を充実させたい	28.6
6 教室の会場や施設を確保したい	23.8
7 地域との交流を図りたい	28.6
8 その他 ()	23.8

問12 今後、県は地域の日本語教育に係るどのような施策を実施すべきだと思いますか。(あてはまる番号すべてに〇)

1 日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援 (相談対応、アドバイザー派遣等)	35.5%
2 日本語教室への経済的支援	29.0
3 日本語学習支援者の養成・紹介、研修の充実	67.7
4 日本語教育コーディネーターの養成・紹介 →問13へ	12.9
5 日本語指導教材の開発・配布	32.3
6 日本語教室の広報、PR	22.6
7 他の日本語教室の優良事例 (活動内容) 等の紹介、情報提供	22.6
8 他団体等との連携の橋渡し (コーディネート) →問13へ	6.5
9 県に専門の日本語教育コーディネーターを配置 →問13へ	12.9
10 オンライン授業導入に係るサポート (導入方法についての教示等) や経済的支援	32.3
11 日本語教育推進のための協議会などの設置	12.9
12 外国人等を雇用する企業への啓発 (例: 雇用する外国人等及びその家族に対し、日本語学習支援に努める啓発)	51.6
13 その他 ()	12.9
14 特になし	-
無回答	3.2

問13 問12で「4」「8」「9」を選んだ方にお尋ねします。日本語教育コーディネーターに期待する役割を教えてください。(自由記述)

問14 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(別紙様式)

基数表示のないものは、n=42である。

○開催している教室の概要を御記入ください

- *選択肢がある箇所については、あてはまる番号に○をつけてください。
- *複数開催している場合は、こちらの様式を必要数コピーして調査票と併せてご返送ください。
- *教室を複数運営している場合は、1教室につき一つの様式に御記入ください。また1教室の中で、全く形態の異なるクラス(大人対象クラスと子ども対象クラス等)を実施している場合も、様式を分けて記載願います。
- *学習者数、在留資格の割合は分かる範囲でおおよその数値を御記入ください。
- *令和元年度の実績で御記入ください。

教室名							
会場(活動場所)	施設等の名称： (所在地：)						
対象	1 大人 83.3% 2 子ども 52.4 (小学生以下 18.2%、小学生 54.5、中学生 54.5、高校生 50.0、無回答 22.7) 3 その他() 2.4						
在留資格による参加制限	1 有り(参加不可の資格：) 4.8% 2 無し 92.9 無回答 2.4						
開催日時	① _____ 曜日 _____ 時 _____ 分～ _____ 時 _____ 分 ② _____ 曜日 _____ 時 _____ 分～ _____ 時 _____ 分						
参加費	1 有り(金額：平均738.33円) 71.4% 2 無し 26.2 無回答 2.4						
日本語学習支援者・ボランティア数	1回あたりの動員数：約 <u>平均8.83人</u>						
学習者数	登録者数：平均 <u>31.00人</u> 1回あたりの参加者数：約 <u>平均14.66人</u>						
登録している学習者の国籍別・年齢別の概数	国籍 \ 歳	～15歳	16～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳～	不明
	ブラジル	9.5%	4.8	57.1	14.3	9.5	4.8
	フィリピン	9.4%	7.1	56.5	27.1	0.0	0.0
	中国	4.1%	2.9	57.6	33.1	1.2	1.2
	台湾	0.0%	3.0	39.4	48.5	9.1	0.0
	ベトナム	0.0%	2.7	94.6	2.0	0.0	0.7
	韓国	3.2%	0.0	61.3	25.8	9.7	0.0
	バレー	20.0%	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	インドネシア	1.4%	4.1	86.5	8.1	0.0	0.0
	ネパール	3.8%	23.1	42.3	30.8	0.0	0.0
	その他	5.1%	7.0	59.9	23.3	1.4	3.3

学習者の在留資格の割合（100%） 表中の数値は、合算値の内訳の割合		・身分に基づく資格（永住者、定住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等）及び帰化による日本国籍：27.0% ・技能実習生、特定技能：15.9% ・技能実習生・特定技能以外の就労可能な資格：10.8% ・その他（文化活動、短期滞在、留学、研修、家族滞在）：19.3% ・不明：27.1%
教室	学習形態 （あてはまる番号すべてに○）	1 マンツーマン 52.4% 2 講義形式（日本語教師・日本語学習支援者1人 対 生徒複数） 100.0 └──┬──┐ 1 レベル別クラス有 47.6% 2 レベル別クラス無 14.3 無回答 38.1 3 交流・参加型（イベント・対話形式） 16.7 4 その他（ ） 2.4
	学習内容 （あてはまる番号すべてに○）	1 生活に必要な日本語を学ぶ 97.6% 2 仕事に必要な日本語を学ぶ 64.3 3 学校での勉強に必要な日本語を学ぶ 23.8 4 日本人との交流 47.6 5 日本の文化を学ぶ 50.0 6 日本語能力試験対策 59.5 7 その他（ ） 2.4
内容	テキスト	1 有り 97.6% →有りの場合、以下にもお答えください。 ○テキストは何をお使いですか。 n=41 ①市販（テキスト名： ） 100.0% ②独自に作成（作成者： ） 4.9 ③その他（ ） 29.3 2 無し 2.4
	カリキュラム策定の有無等	1 有り 40.5% →有りの場合、以下にもお答えください。 ○カリキュラム学習内容の策定者はどなたですか。 n=17 ①日本語教育コーディネーター 35.3% ②日本語学習支援者 64.7 ③その他（ ） - 無回答 5.9 2 無し 59.5
教室実施期間		1 有り（1期あたり：平均6.00ヶ月） 16.7% 2 特に期間はなし。いつでも入会可。 83.3

学習者の日本語の上達度合いの判断方法	
教室修了の基準	1 有り (基準：) 7.1% 2 無し 92.9
過去1年間の学習者数 (H30年度との比較)	1 増加 42.9% 2 変わらない 28.6 3 減少 26.2 無回答 2.4

～ご協力ありがとうございました～

7. 外国人雇用企業アンケート

外国人雇用企業用アンケート

基数表示のないものは、n=124である。

会社名	
部署名	
担当者名	
TEL	
Email	

問1 貴事業所の総従業員数（パート、派遣労働者を含む）をお答えください。（〇は1つ）

1 1人～19人	8.9%	2 20人～49人	16.9	3 50人～99人	22.6
4 100人～299人	29.8	5 300人以上	21.8		

問2 貴事業所の業種をお答えください。（〇は1つ）

1 製造業	40.3%	2 サービス業	10.5	3 卸・小売業	3.2
4 宿泊・飲食サービス	3.2	5 教育・学習支援	1.6	6 農業関連	0.8
7 その他（ ）	38.7	無回答	1.6		

問3 貴事業所では、現在、外国人が働いていますか。（〇は1つ）

1 働いている（正社員、契約社員、パート・アルバイト、技能実習生、派遣労働者等）	66.1%
2 働いていない → 以上でアンケートは終了です。ありがとうございました。	33.9

問3で「1 働いている」と回答された方は、以降の設問にお答えください。

問4-1 貴事業所で働く外国人について、雇用形態ごとの人数をお答えください。

（令和2年7月1日現在） n=82 表中の数値は、いずれも平均

雇用形態	人数
正社員	3.00人
契約社員	0.57人
パート・アルバイト	2.85人
技能実習生	3.40人
派遣労働者	2.64人
その他（ ）	0.23人
合計	12.70人

問4-2 貴事業所で働く外国人について、上位3位までの国籍とその人数をお答えください。

(令和2年7月1日現在) n=82 表中の数値は、国籍別の合計人数と内訳割合

	国籍		人数
1位	ベトナム	44.3%	305人
2位	フィリピン	17.9	123人
3位	中国	7.0	48人

問4-3 貴事業所で働く外国人の在留資格について、下記の番号から上位3位までお答えください。

(令和2年7月1日現在) n=82 表中の数値は、1位から3位までの選出割合

1位 2位 3位

① 永住者	29.3%	② 特別永住者	1.2
③ 定住者	9.8	④ 日本人の配偶者等	19.5
⑤ 永住者の配偶者等	6.1	⑥ 技能実習	39.0
⑦ 帰化	1.2	⑧ 専門的・技術的分野の在留資格	30.5
⑨ その他()	15.9	無回答	3.7

問5 貴事業所で働く外国人に求める日本語能力について、各技能(聞く、話す、読む、書く)の該当するレベルを教えてください。(各々について○は1つ)

【聞く①(一般的な日本語)】 n=82

1 テレビのニュースを聞いて、理解できる	18.3%
2 相手の話す日本語を聞いて、だいたい理解できる	47.6
3 相手が日本語をゆっくり話せば、理解できる	28.0
4 単語だけ聞き取れる	3.7
5 ほとんど聞き取れなくても良い	- 無回答 2.4

【聞く②(職場での日本語)】 n=82

1 職場での指示がほぼ間違いなく聞き取れる	35.4%
2 職場での指示がだいたい聞き取れる	56.1
3 職場での指示が少し聞き取れる(単語が聞き取れる)	7.3
4 ほとんど聞き取れなくても良い	- 無回答 1.2

【話す①(一般的な日本語)】 n=82

1 自分の言いたいことが、問題なく話せる	24.4%
2 自分の言いたいことが、だいたい話せる	50.0
3 簡単な日常会話ができる	20.7
4 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	2.4
5 ほとんど話せなくても良い	- 無回答 2.4

【話す②（職場での日本語）】 n=82

1	仕事の進捗状況について報告ができる	31.7%
2	仕事の進捗状況についてだいたい報告ができる	48.8
3	仕事の進捗状況について少し報告ができる（単語で言える）	15.9
4	ほとんど話せなくても良い	- 無回答 3.7

【読む①（一般的な日本語）】 n=82

1	役所や職場、子どもの学校からのお知らせ等を読んで、理解できる	15.9%
2	漢字にふりがながついていれば、役所や職場、子どもの学校からのお知らせ等を読んで、理解できる	40.2
3	漢字にふりがながついていれば、広告や駅の案内板などを読んで理解できる	35.4
4	絵のついた簡単な日本語の指示（ごみの捨て方、料理の作り方など）が分かる	6.1
5	ほとんど読めなくても良い	-
	無回答	2.4

【読む②（職場での日本語）】 n=82

1	作業指示書が読める	29.3%	2	作業指示書がだいたい読める	39.0
3	作業指示書が少し読める（単語が読める）	25.6	4	ほとんど読めなくても良い	3.7
	無回答	2.4			

【書く①（一般的な日本語）】 n=82

1	仕事の報告書、子どもの学校の連絡帳、料理の作り方などの文章を書くことができる	22.0%
2	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	24.4
3	簡単なメモなどを書くことができる	39.0
4	名前や国名、住所などが書ける	4.9
5	ほとんど書けなくても良い	2.4
	無回答	7.3

書く①で「1～4 書くことができる」と回答された方にお聞きします。外国人に求める書く能力について、以下の該当する番号に○をつけてください。（○は1つ） n=74

1	漢字、ひらがな、カタカナをつかって、日本語を書くことができる	52.7%
2	ひらがな、カタカナをつかって、日本語を書くことができる	44.6
	無回答	2.7

【書く②（職場での日本語）】 n=82

1	仕事の報告書が書ける	24.4%	2	仕事の報告書がだいたい書ける	32.9
3	仕事の報告書が少し書ける（単語で書ける）	31.7	4	ほとんど書けなくても良い	7.3
	無回答	3.7			

問6 貴事業所で働く外国人の中に、求める日本語能力に届いていない人はどの程度いますか。(〇は1つ) n=82

1 ほぼ全員	7.3%	2 3分の2程度	13.4	3 半数程度	7.3
4 3分の1程度	19.5	5 いない	48.8	無回答	3.7

問7 貴事業所で働く求める日本語能力に届いていない外国人に対して、日本語学習の支援をしていますか。(あてはまる番号すべてに〇) n=82

1 貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している	28.0%
2 近隣の日本語学校や公民館等で行う地域の日本語教室を紹介している	12.2
3 日本語学校や地域の日本語教室に通う費用を負担している	6.1
4 日本語学校や地域の日本語教室への送迎をしている	1.2
5 日本語学校や地域の日本語教室に通いやすいように残業をさせないなどの勤務時間を考慮している	4.9
6 外部試験の結果によって奨励金を出している	7.3
7 外部試験の検定補助をしている	6.1
8 その他()	13.4
9 特に何もしていない → 問8へ	37.8 無回答 8.5

問7で「1 貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している」と回答された方は、「問7-1～問7-4」もお答えください。

問7-1 貴事業所の日本語教室や日本語の研修(以下、「日本語教室等」といいます。)は、どのように実施していますか。(あてはまる番号すべてに〇) n=23

1 事業所内で対応(社員が日本語を教えている)	52.2%
2 外部に委託し、事業所内の会議室等で実施 [委託先名(個人講師含む):]	39.1
3 外部に委託し、事業所外で実施 [委託先名(個人講師含む):]	8.7
4 その他()	4.3 無回答 13.0

問7-2 日本語教室等の実施回数、曜日、時間、1回あたりの平均参加人数、実施内容を教えてください。 n=23

1か月あたり	月 平均3.61回
曜日・時間	
参加人数	平均8.53人
実施内容	
使用しているテキスト	市販(テキスト名:) 独自に作成(作成者:) その他()

問7-3 貴事業所で実施している日本語教室等で特徴的な取組があれば教えてください。(自由記述)

問7-4 貴事業所で日本語教室を実施した際に苦労したことや問題になったこと、課題があれば教えてください。(自由記述)

問7で「9 特に何もしていない」と回答された方は、「問8」もお答えください。

問8 問7で「9 特に何もしていない」と回答した方にお聞きします。その理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○) n=31

1	コミュニケーションに課題はあるが、支援方法が分からない	3.2%
2	コミュニケーションに課題はあるが、行うための人材がいない	12.9
3	コミュニケーションに課題はあるが、行うための予算がない	9.7
4	希望者がいない	22.6
5	その他 ()	64.5

問9 今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、どのような形態での学習機会があればよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○) n=82

1	事業所内に講師を招いての日本語教室の開設	19.5%
2	事業所外(社員寮等)に講師を招いての日本語教育の開設	9.8
3	大学や日本語学校等が開講する教室への参加促進	14.6
4	地域のボランティア日本語教室等への参加促進	30.5
5	専用ウェブサイトやアプリ等、eラーニングの活用	50.0
6	通信講座等、自宅学習教材の活用	22.0
7	その他 ()	4.9
	無回答	17.1

問10 茨城県が県内在住の外国人を雇用している茨城県内の企業へ無償で提供している「茨城県外国人向け日本語学習支援eラーニングシステム」を知っていますか。(〇は1つ) n=82

1 知っている	24.4%
2 知らなかった	75.6

問11 日本語でのコミュニケーションが困難な外国人従業員の家族(外国人配偶者や子)を対象とした日本語教育の必要性について教えてください。(〇は1つ) n=82

1 必要性を強く感じている	15.9%
2 必要性を少し感じている	15.9
3 あまり必要性を感じていない	28.0
4 まったく必要性を感じていない	-
5 日本に家族が住んでいる従業員はいない	20.7
6 よく分からない	17.1
無回答	2.4

→ 問11-1 問11で、1又は2と回答した方は、その理由を教えてください。(〇は1つ) n=26

1 従業員が家族の通訳(病院等)のため休むことがある	15.4%
2 地域に馴染めず孤立してしまうことが心配	65.4
3 教育や子育て支援制度を理解していないと感じている	7.7
4 その他()	3.8
無回答	7.7

問12 日本語教育に関して、他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)と連携、交流は行っていますか。(〇は1つ) n=82

(例) 連携・交流先: 県国際交流協会 連携・交流内容: 社内の日本語教室への講師受け入れ

1 連携・交流している	17.1%
連携・交流先()	
連携・交流内容()	
2 連携していない	82.9

問13 日本語教育に関して、他の団体(県、市町村、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語学校、日本語教室等)の情報があれば、積極的に活用し、連携や交流をしたいと考えますか。また、その理由をお聞かせください。(〇は1つ) n=82

1 はい(理由:)	48.8%
2 いいえ(理由:)	43.9
無回答	7.3

問14 外国人が働く事業所は、日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと考えますか。

(あてはまる番号すべてに○) n=82

1	事業所内の日本語教育等の実施	36.6%
2	事業所で働く外国人への日本語学習の奨励	46.3
3	事業所で働く外国人への日本語学習に関する情報提供	56.1
4	日本語学校・地域の日本語教室等への仲介・紹介	28.0
5	地域の日本語教室や外国人を支援する団体等への支援（寄付など）	9.8
6	その他（)	3.7
	無回答	4.9

問15 「日本語教育推進法」において、企業には雇用する外国人やその家族に対する日本語学習の機会の提供その他の日本語学習に関する支援に努める責務があると定められていることを知っていますか。(○は1つ) n=82

1	知っている	26.8%
2	知らなかった	70.7
	無回答	2.4

問16 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご提案等がありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

8. 県内在住外国人アンケート

基数表示のないものは、n=359である。

がいこくじん 外国人向けアンケート

調査日	/	時間	:	地点	調査員	No.
-----	---	----	---	----	-----	-----

みなさんが日本語を勉強したいと思ったときに勉強できるようにするために、みなさんが日本語を勉強したいと思っているが、どうやって勉強しているかなどを聞きたいのでアンケートに答えてください。よろしくお願ひします。

[1]外国人の属性等に関する項目

①あなたのことを教えてください

問1 あなたの性別はどれですか。

① 男 54.3%	② 女 45.7	③ その他 -
-----------	----------	---------

問2 あなたの年齢は。

① 18～19歳 1.7%	② 20～29歳 38.7	③ 30～39歳 33.1	④ 40～49歳 18.1
⑤ 50～59歳 7.0	⑥ 60～69歳 1.4	⑦ 70歳～ -	

問3 あなたの出身はどこですか。

① 中国 22.0%	② 韓国 0.8	③ フィリピン 15.6	④ ブラジル 10.3	⑤ ベトナム 10.3	⑥ 米国 3.1
⑦ ペルー 3.3	⑧ タイ 4.7	⑨ ネパール 0.3	⑩ 台湾 1.7	⑪ インドネシア 7.2	⑫ その他() 20.6

問4 あなたが今住んでいるところはどこですか。

茨城県 (県北地域 8.9%・県中央地域 8.4・鹿行地域 13.9・県南地域 44.0・県西地域 24.8) 市・町・村

問5 あなたの在留資格は下のどれですか。

① 特別永住者 2.2%	② 永住者 19.8	③ 定住者 13.0	④ 日本人の配偶者等 5.3
⑤ 永住者の配偶者等 1.7	⑥ 帰化 0.3	⑦ 留学 17.3	⑧ 技能実習 17.8
⑨ 家族滞在 1.9	⑩ 技術・人文知識・国際業務 7.8	⑪ 技能 3.6	
⑫ 特定活動 2.8	⑬ その他() 3.6		

問6 あなたはどのくらい日本で生活していますか。

① 6か月未満 1.4%	② 6か月以上～12か月未満 8.4	③ 1年以上～3年未満 28.2	④ 3年以上～5年未満 18.4
⑤ 5年以上～10年未満 14.5	⑥ 10年以上～15年未満 9.5	⑦ 15年以上 18.7	

問7 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。

① 6か月未満 0.8%	② 6か月以上～12か月未満 3.1	③ 1年以上～3年未満 22.3	④ 3年以上～5年未満 8.1
⑤ 5年以上 6.7	⑥ 住み続ける 37.9	⑦ まだ決めていない 21.2	

100

問8 あなたは仕事をしていますか。

① している →問9へ	69.1%	②③ と答えた人に聞きます。仕事をしていないのはコロナが関係ありますか。n=111		
② していない(今、見つけている)	12.0	はい	いいえ	無回答
③ していない(見つけていない)	18.9	17.1	78.4	4.5

問9 あなたは学校に行っていますか。

① 夜間中学・高校	-	② 外国人の学校	-	③ 大学・短大	16.2%
④ 専門学校	1.4	⑤ 日本語学校	1.4	⑦ 行っていない	79.9
⑥ その他()	1.1				

[2]日本語の勉強について

②あなたの日本語について

(1)日本語の勉強について

※みんな答えてください。

問1 あなたは日本語を勉強したことがありますか。

① ある	81.1%	② ない	17.8(→問6へ)	無回答	1.1
------	-------	------	------------	-----	-----

問2 あなたが1番日本語を勉強したところはどこですか。n=291

① 自分の国	54.3%	② 日本(日本語学校・日本語教室・ひとりで勉強した)	43.3	③ その他()	2.4
--------	-------	----------------------------	------	----------	-----

問3 あなたは、今、日本語を勉強していますか。n=291

① 勉強している	39.5%(→問4へ)	② 勉強していない	60.5(→問6へ)
----------	-------------	-----------	------------

(2)日本語を勉強している人の日本語を勉強している状況

※日本語を勉強している人だけ答えてください。

問4 あなたは今、どうやって日本語を勉強していますか。(いくつ答えてもいいです) n=115

① 自分で(教科書やテレビ等)	45.2%	② 自分で(インターネットやアプリ等)	47.0	③ 通信教育で	1.7
④ 日本語教室で	13.0	⑤ 家族に教えてもらっている	7.0	⑥ 職場で勉強している	13.9
⑦ 日本人の友達に教えてもらっている	11.3	⑧ 日本人ではない友達に教えてもらっている	2.6		
⑨ 周りの会話を聞いて覚えている	9.6	⑩ 日本語学校で	4.3	⑪ その他()	7.8

問5 あなたはどのように日本語を勉強していますか。(いくつ答えてもいいです) n=115

① 役所での手続きや役所の人と話することを分かるようにするため	33.9%	② 学校での手続きや先生と話すことを分かるようにするため	20.9
③ 病院での手続きや説明を分かるようにするため	22.6	④ 仕事で言われたことを分かるようにするため	44.3
⑤ よい仕事を見つけるため	33.9	⑥ 日本語の試験に合格するため	27.8
⑦ 手紙やお知らせを分かるようにするため	9.6	⑧ ビザの手続きで必要だから	7.0
⑨ 職場の人や友達、近所の人と仲良くなるため	28.7	⑩ 大学や専門学校に通うため	13.0
⑪ その他()			4.1

→問9へ

(3)日本語を勉強していない人が日本語の勉強をどう思っているか

※日本語を勉強していない人だけ答えてください

問6 日本語を勉強したいですか。 n=240

- ① 勉強したい 60.0% ② 勉強したいとは思わない 40.0

問7 今、日本語を勉強していないのはどうしてですか。(いくつ答えてもいいです) n=240

① もう十分に日本語ができるから	25.8%	② 日本語を使う必要がないから(日本語以外の言葉で十分生活ができるから)	2.1
③ 日本語を勉強する時間がないから	57.1	④ 日本語を勉強するために必要なお金がないから	5.8
⑤ 日本語教室のことを知らないから	5.8	⑥ 日本語教室の時間が合わないから	9.6
⑦ 日本語教室が遠くて行くことができないから	4.2	⑧ 日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	0.4
⑨ どうやって勉強したらいいかわからないから	2.5	⑩ 勉強したいという気持ちにならないから	2.1
⑪ その他()	6.7	無回答	0.4

問8 どのような環境があれば、日本語を勉強したいですか。(いくつ答えてもいいです) n=240

① 時間があれば勉強したい	65.4%	② お金があれば勉強したい	4.2
③ お金を払わなくていい日本語教室があれば勉強したい	16.3	④ 日本語教室と時間が合えば勉強したい	7.1
⑤ 日本語教室が近くにあれば勉強したい	15.3	⑥ 自分が勉強したいことと日本語教室で教えてくれることが合えば学びたい	1.3
⑦ 日本語教室の教え方やレベル、使う教科書が自分に合えば勉強したい	2.5	⑧ 良い教科書があれば勉強したい	1.3
⑨ 日本語が勉強できるテレビ番組があれば勉強したい	2.9	⑩ 日本語を勉強できるインターネットのページやアプリのプログラムがあれば勉強したい	6.7
⑪ 日本語を勉強できる通信教育のプログラムがあれば勉強したい	2.9	⑫ その他()	20.4
		無回答	0.4

(4)日本語をどれくらい使っているかについて

※みんな答えてください。

問9 どういうとき、あなたは日本語を使いますか。(いくつ答えてもいいです)

- | | | | | | |
|------------------------|-------|--------------------|------|--------------------|------|
| ① 自分の家で | 27.3% | ② 日本人の友達と話するとき | 42.3 | ③ 近所の人と話するとき | 23.1 |
| ④ 役所の手続きで | 41.2 | ⑤ 仕事で | 66.0 | ⑥ いつもの生活や買い物で | 43.2 |
| ⑦ 仕事を探するとき | 20.3 | ⑧ 電車やバスに乗るとき | 14.5 | ⑨ 郵便局・銀行の手続きで | 31.8 |
| ⑩ 病院で医者と話するとき | 35.4 | ⑪ (自分の)学校の先生と話するとき | 11.4 | ⑫ (家族の)学校の先生と話するとき | 6.7 |
| ⑬ 日本語学校や日本語教室の友達と話するとき | 3.3 | ⑭ その他() | | | 4.7 |

問10 あなたは1日にどのくらい日本語を話しますか。

- | | | | |
|-----------------------|-------|-------------------------------|------|
| ① ほぼ1日話す | 29.8% | ② ほとんど話さない(ほとんど自分の国の言葉を使って生活) | 21.2 |
| ③ 日本語と自分の国の言葉が半分ずつくらい | 49.0 | | |

問11 下のようなとき、あなたは日本語ができなくて、困ったことがありますか。

この1年間に困ったことがあるものを選んでください。(いくつ答えてもいいです)

- | | | | | | |
|---------------------|------|------------------------|------|----------------|-----|
| ① 近所の人と話するとき | 8.4% | ② 電車やバスに乗るとき | 7.2 | ③ いつもの生活や買い物で | 6.7 |
| ④ 役所の手続きで | 17.8 | ⑤ 郵便局・銀行の手続きで | 15.3 | ⑥ 仕事を探するとき | 8.6 |
| ⑦ 仕事で | 22.3 | ⑧ 病院で医者と話するとき | 26.5 | ⑨ 学校の先生と話をするとき | 7.5 |
| ⑩ コロナウィルスのことを知りたいとき | 6.1 | ⑪ 地震や台風・洪水のお知らせを知りたいとき | 2.5 | | |
| ⑫ その他() | 1.7 | ⑬ 困ったことはない | 33.4 | 無回答 | 0.3 |

問12 あなたはいつも日本語のテレビやインターネットの動画を見ますか。

【テレビ】

- | | | | | | | | | | |
|--------|-------|----------|------|-----------|------|-----------|------|-----|-----|
| ① 毎日見る | 27.6% | ② ときどき見る | 28.4 | ③ ほとんど見ない | 21.7 | ④ まったく見ない | 22.0 | 無回答 | 0.3 |
|--------|-------|----------|------|-----------|------|-----------|------|-----|-----|

【インターネット動画】

- | | | | | | | | | | |
|--------|-------|----------|------|-----------|------|-----------|------|-----|-----|
| ① 毎日見る | 37.3% | ② ときどき見る | 26.5 | ③ ほとんど見ない | 38.4 | ④ まったく見ない | 17.5 | 無回答 | 0.3 |
|--------|-------|----------|------|-----------|------|-----------|------|-----|-----|

(5)日本語を勉強するための環境

※みんな答えてください。

問13 あなたは下のものを持っていますか。(いくつ答えてもいいです)

- | | | | | | | | |
|-----------|-------|--------|------|----------|-----|-----|-----|
| ① スマートフォン | 97.2% | ② パソコン | 46.8 | ③ 持っていない | 1.1 | 無回答 | 0.3 |
|-----------|-------|--------|------|----------|-----|-----|-----|

問14 いつもインターネットを使いますか。(いくつ答えてもいいです)

① 自分の家のパソコンで使う	43.7%	② 自分の家ではないところのパソコンで使う	6.4
③ スマートフォンで使う (自分の家でWi-Fiにつないで)	32.3	④ スマートフォンで使う(自分の家や自分の家ではないところでWi-Fiにつなげず)	8.9
⑤ スマートフォンで使う(自分の家ではないところでWi-Fiにつながる場所で)	26.5	⑥ その他()	0.3
⑦ 使わない	1.1		

問15 いつも、どうやって移動することが多いですか。(いくつ答えてもいいです)

① 歩く	23.1%	② 自転車	38.2	③ 電車・バス	12.3
④ バイク	0.3	⑤ 車(自分で運転)	42.6	⑥ 車(家族が運転)	3.1
⑦ 車(自分や家族以外の人が運転)	8.9	⑧ その他()	-	無回答	0.3

問16 自分の家から1番近いバス停や駅までどのくらい距離がありますか。

(バス停 24.0%・駅 72.1)まで 無回答 3.9	約 平均2.56 km
------------------------------	-------------

問17 日本語を勉強するとしたらいつがいいですか。(1番よいところに○)

	午前	午後	夜
平日	① 8.4%	② 5.0	③ 24.5
土曜日	④ 8.6	⑤ 5.8	⑥ 8.1
日曜日	⑦ 8.4	⑧ 7.2	⑨ 9.5

⑩ その他() 13.9 無回答 0.6

問18 生活するために知りたいことは、どうやって知っていますか。(いくつ答えてもいいです)

① 外国人(自分と同じ国の人を含む)の友達・知っている人から教えてもらう	39.6%
② 日本人の友達・知っている人から教えてもらう	29.0
③ 職場の人	31.7
④ 市役所の人(日本人)	4.5
⑤ 市役所の人(外国語が話せる人)	5.3
⑥ 国際交流協会の人やボランティア団体の人	1.3
⑦ 県や市町村のホームページ	2.8
⑧ 国際交流協会のホームページ	1.7
⑨ 日本語教室	1.4
⑩ フェイスブック・ツイッター	12.5(※ 下のうち、当てはまるものに○をつけてください) n=45
(a.行政(国・県・市町村)が発信しているもの 4.4 b.外国人の友達が発信しているもの 37.8 c.日本人の友達が発信しているもの 31.1 d.その他() 6.7 無回答 31.1)	
⑪ 学校	7.8
⑫ 家族	24.0
⑬ 近所の人(日本人)	7.5
⑭ 近所の人(外国人)	6.4
⑮ テレビ・ラジオ	21.2
⑯ インターネットで調べる(Google、Yahoo など)	57.7
⑰ その他()	0.6

[3] 日本語がどれくらいできるかについて

③日本語のレベル

問1 あなたは日本語がどのくらいできますか。

[聞く]

① テレビのニュース、ドラマを聞いて分かる	25.6%	② 相手の言うことを聞いてほしい分かる	26.5
③ 相手がゆっくり話せば聞いて分かる	31.5	④ 単語だけなら聞いて分かる	10.6
⑤ ほとんど聞いても分からない	5.8		

[話す]

① 自分の言いたいことが問題なく話せる	21.4%	② 自分の言いたいことがだいたい話せる	23.7
③ 簡単な日常会話ができる	32.9	④ 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	15.6
⑤ ほとんど話せない	6.4		

[読む]

① 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで分かる	24.0%	② 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで少し分かる	8.6
③ 新聞や雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、自分が知りたいことを知ることができる	13.9	④ 絵が書いてある簡単な文(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる	36.5
⑤ ほとんど読めない	17.0		

[書く]

① 仕事の報告書や学校の先生に子供のことを伝える連絡、料理の作り方などを説明する文を書くことができる	16.7%	② いつもの生活や自分のふるさと、自分の経験について文を書くことができる	10.3
③ 職場の人や学校の先生、家族に用事を伝える簡単なメモなどを書くことができる	19.5	④ 名前や国名、住所などが書ける	39.6
⑤ ほとんど書けない	13.9		

問2 [聞く][話す][読む][書く]をあなたができる順番を教えてください。

(得意な順に1から4の番号を書いてください)

聞く: (1位 65.7・2位 22.8・3位 7.8・4位 2.8・無回答 0.8)	話す: (1位 15.6・2位 61.0・3位 11.7・4位 10.9・無回答 0.8)
読む: (1位 15.9・2位 31.1・3位 64.6・4位 11.1・無回答 0.8)	書く: (1位 2.5・2位 7.2・3位 35.0・4位 74.4・無回答 0.8)

問3 日本語検定は持っていますか。持っている場合はレベルも教えてください。(いくつ答えてもいいです)

① 日本語能力試験(JLPT)	31.5%	[N1 21.2・ N2 33.6・ N3 17.7・ N4 11.5・ N5 15.0・無回答 0.9]
② 実用日本語検定(J.TEST)	2.8	[特A級 -・ A級 30.0・ B級 20.0・ 準B級 10.0・ C級 10.0・ D級 10.0・ E級 10.0・ F級 10.0]
③ 日本語Nat-test	0.8	[1級 33.3・ 2級 33.3・ 3級 -・ 4級 -・ 5級 33.3]
④ その他()	0.3	
⑤ 持っていない	65.7	無回答 0.3

その他、日本語を勉強するために、茨城県にお願いしたいこと・言いたいことなどがあれば教えてください。

アンケートは終わりです。ありがとうございました。

茨城県地域日本語教育実態調査
報告書

令和2(2020)年12月

【編集・発行】茨城県県民生活環境部 女性活躍・県民協働課
〒310-8555 水戸市笠原町 978 番 6
TEL 029-301-2174 (直通)